



永遠の家族

教師用手引き

宗教コース 200

コーナーストーンコース

永遠の家族 教師用手引き

宗教200

発行
末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティ

本書に関するご意見，ご提案をお寄せください。誤りのご指摘も含め，以下までお送りください。

Seminaries and Institutes of Religion Curriculum Services

50 E. North Temple St., Floor 8

Salt Lake City, Utah 84150-0008

USA

電子メール：ces-manuals@ldschurch.org

あなたのお名前，住所，ワード名とステーク名をご記入ください。

手引きの題名を必ず明記してください。その後，ご意見・ご提案をお書きください。

© 2015, 2016 Intellectual Reserve, Inc.

All rights reserved.

印刷：日本

第1版 2015, 2016年6月

英語版承認：2014年8月

翻訳承認：2014年8月

原題：**The Eternal Family Teacher Manual**

Japanese

12555 300

目次

永遠の家族 教師用手引き（宗教200）の紹介	v
1 「家族—世界への宣言」の発表	1
2 預言者と使徒による厳粛な宣言	6
3 わたしたちの神聖な可能性	11
4 家族と偉大な幸福の計画	17
5 死すべき状態	22
6 家族は天父の計画の中心を成す	27
7 男女の間の結婚は神によって定められたものである	31
8 性別と永遠の状態	36
9 男性の神聖な役割と責任	41
10 女性の神聖な役割と責任	47
11 永遠の結婚に備える	52
12 神殿の儀式と聖約	57
13 神殿での礼拝を改善する	62
14 シオンの山において救う者となる	67
15 永遠の結婚	72
16 生殖の神聖な力	77
17 「増えよ、地に満ちよ」という戒め	83
18 結婚関係を育む	88
19 キリストを中心とした生活と家庭を築く	92
20 信仰と証を守る	97
21 愛と義をもって子供たちを育てる	102
22 実りある家庭を築く	107
23 物質的に必要なものを与える	113
24 教会のシングルアダルト会員	118
25 家族の困難な状況において信仰を行使する	123
26 神の御前で報告する	128
27 家族に関する預言者の警告	133
28 社会の基本単位である家族の地位を高める	137

永遠の家族 教師用 引き（宗教200）の紹介

宗教教師に求められること

教える準備をするときは、宗教教育セミナー・インスティテュートの目的を理解することが重要です。

「わたしたちの目的は、以下のことができるよう、青少年とヤングアダルトを助けることです。イエス・キリストの教えと贖いについて理解しそれに頼る。神殿の祝福を受ける資格を得る。天の御父とともに永遠の命にあずかるため、自分自身と自分の家族と周りの人々を備える。」（『福音を教え学ぶ—宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用引き』x）

この目的は、イエス・キリストの福音に従って真摯に生活し、生徒に福音を効果的に教え、クラスまたはプログラムを適切に管理運営することによって達成できます。これらの方法によって備え、福音を教えるとき、聖霊の影響を受けるにふさわしい状態となります（教義と聖約42：14参照）。

これは、信仰を強め、改心を深めることができるように、生徒が御霊によって学ぶことを助ける機会です。イエス・キリストの福音の重要な教義と原則を見つけ、理解し、それらが真実であり重要であることを感じ、応用するように生徒を導くとき、生徒がこれらを達成する援助をすることができます。

『福音を教え学ぶ』ハンドブックは、教える過程を理解し、教室で効果的に教える方法を学ぶための必要不可欠な資料です。

本コースの目的

本コース、すなわち、『永遠の家族』（宗教200）は、聖典や現代の預言者によって教えられているように、救いの計画における家族の中心的な役割について研究するものです。このコースにおける教義、テーマ、原則はかなりの頻度で「家族—世界への宣言」から引用されています（『リアホナ』2010年11月号、129）。このコースでは、結婚および家族に関する疑問や問題をイエス・キリストの福音に照らして研究し、話し合い、評価します。

本コースは、聖約を交わしそれを守ることと、この世や来るべき世において祝福を受けることとの関係について、生徒がより理解を深めるようにします。結婚および家族に関する教義と原則が今日の状況にどのように関連しているかを生徒が理解するために、それらの教義と原則を見つけ分析します。生徒は現代の預言者の教えを信頼し、それに従うべき理由について一層理解することでしょう。

生徒に求められること

インスティテュート卒業のための単位を取得するには、生徒は各レッスンの生徒用資料セクションにリストアップされている聖文、総大会の話、およびその

他資料を読む必要があります。生徒は出席規定を満たし、学習理解度調査を完了して、コース内容についての高い理解度を示さなければなりません。

この手引きのレッスン構成

本コースは、2学期制コース向けに考案されたもので、28のレッスン（1クラス50分）で構成されています。1週間に2回クラスがある場合は、1回のクラスで一つのレッスンを教えます。1週間に90–100分のクラスが1回のみ開講される場合は、1クラスで2回分のレッスンを行います。各レッスンは大まかに4つの項から成っています

- はじめに
- 背景となる読み物
- 教えるための提案
- 生徒用資料

はじめに

このセクションには、レッスンのトピックと目的についての簡単な紹介が記載されています。

背景となる読み物

このセクションでは、末日の預言者やその他の教会指導者からのメッセージなど、レッスンの対象となる教義、原則、および福音の真理をよりよく理解するために役立つリソースが提案されています。

教えるための提案

教えるための提案セクションには、何を、どのように教えるかを知るために役立つ資料が含まれています（『福音を教え学ぶ』のセクション4.3.3および4.3.4参照）。提案されている学習活動は、生徒が神聖な真理を明確にし、理解して、それらを生かすことができるように考案されています。これらの提案は、各自の教え方、および生徒たちの必要や状況に応じて適応させていくため、提案の全てを使用、または一部のみを使用にとどめてもよいでしょう。レッスン資料をどのように適応させるかを検討するときは、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の勧告に従うようにします。



「パッカー会長は度々、まず最初に身につけてから適応させるようにと教えてくれました。生徒に教える規定のレッスンをしっかりと学んでおけば、それを御霊に従って適応させていくことができるようになります。しかし、この柔軟性について話すとき、身につけるよりも先に適応することから始めてしまうという危険が存在します。バランスが必要です。これは頻繁に起きるチャレンジです。しかし、まず最初にしっかりと身につけてから、状況に合わせて適応させるというアプローチは、正しい見解を維持する良い方法です。」（“A Panel Discussion with Elder Dallin H. Oaks” [宗教教育セミナー・インスティテュート衛星放送, 2012年8月7日], si.lds.org)

本コースには、複数の言語で読むことができると思われる教会指導者による声明が含まれています。教える準備を行うときは、トピックに沿った教会指導者によるその他の利用可能な声明を使用することによってレッスンを適応させてもよいでしょう。

各レッスンの教えるための提案セクションには、教義または原則についての記述が少なくとも一つ太字で記載されています。生徒がこれらの真理を見だし、学んだ事柄を分かち合うときに生徒が使う言葉は、手引きに書かれているものとは異なる場合があります。使う言葉が異なる場合でも、答えが間違っているとさせないように気をつけましょう。しかし、生徒の発言をより正確にできる場合は、生徒が理解したことを明確にできるように注意深く助けましょう。

このカリキュラムは、福音を教え学ぶことの基本をテーマ別コースに組み入れる方法の見本となるものです（『福音を教え学ぶ』10, 23–31, 38–41）。セミナーとインスティテュートは、今後数か月の間に『宗教教育インスティテュートでテーマ別に教える』と呼ばれる文書を発行する予定です。これは、福音を教え学ぶことの基本をテーマコースに組み入れる方法をさらに詳しく説明するものです。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、福音をテーマ別に学ぶことによってもたらされる恩恵について次のように説明しています。



「聖典の全体を通読する方法は基本的な知識を得るのに役立ち、トピック別に研究する方法は知識を深めるのに役立ちますが、……霊的な知識をさらに加えてくれるのが、関連性、パターン、テーマを探しながら聖文を注意深く調べ（ることです。これによって）、救いの計画の理解と捉え方が広がります。

わたしの見解では、聖文の中から関連性、パターン、テーマを熱心に探すことは、キリストの言葉を『よく味わう』ことでもあります。この方法を実践するなら、霊の貯水池の水門が開き、主の御霊が理解に光を注ぎ、聖文への感謝の念が増し、他の方法では到達できない高いレベルの霊的な決意が心に生じてきます。この方法で聖文を注意深く調べていくと、贖い主という岩の上に築き、この末日の悪の嵐に堪える力が得られるのです。」（「生ける水の源」〔プリガム・ヤング大学ファイヤサイド, 2007年2月4日〕, 2–3, speeches.byu.edu)

生徒の読書課題

このセクションには、レッスンで強調されているトピックに対する生徒の理解を深める聖句、教会指導者の話、およびその他の資料がリストアップされています。クラスに来る前にこれらの資料を読んでおくことを課題とし、読むように励まします。これらの靈感を受けた資料を研究するとき、生徒はクラスの話し合いに参加する準備が整うだけでなく、コースのトピックについてさらに幅広く、深く理解できるようになります。学期の最初、生徒に「生徒用資料」の全リストを配ります。

教える準備をする

主は、教える準備をするための助けを与えてくださいます。準備をするときは、自分に対して次の質問をすると役に立つかもしれません。

- 準備し教えるに当たり御霊に敏感になれるよう、福音に従って生活する努力をしているだろうか。
- 聖霊の導きを受けるために祈ったか。
- 割り当てられた聖文と背景となる読み物を研究したか。
- カリキュラムを読み、生徒たちの必要を満たすために、適応あるいは調整する箇所があるかどうか判断したか。
- 生徒が課題の生徒用資料を最大限に生かしていることを確実にするために、どのようにフォローアップできるか。
- 各生徒がレッスンに十分に参加できるよう、どのように助けられるか。

以下の提案も役に立つかもしれません。

- クラスの前に課題の聖句や記事を読むように生徒を励ます。
- 生徒が学習者としての役割を果たすことを期待する。
- 教義と原則を自分の言葉で説明し、それに関する経験を分かち合い、知っていることや感じたことを証する機会を生徒たちに頻繁に与える。
- 各クラス、およびレッスンごとに使用する学習活動やアプローチに変化を持たせる。
- 生徒が互いに教え、学び合う特権と責任を持ち、御霊を招く学習環境を作る（教義と聖約88：78，122参照）。
- 本コースの至る所で、特定の聖文研究の技術に関する引用があります。生徒が聖文研究についてより自立し、聖典を生涯にわたってさらに熱心に学習するようになるために、これらの機会を活用してください。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えています。



「生徒による選択の自由は聖霊による導きを受け入れるため、御霊が十分に関与してくださることをお約束します。……生徒が真理を言葉にすると、彼らの魂の中でその真理が立証され、個人の証が強められるのです。」（“To Understand and Live Truth” [リチャード・G・スコット長老との夕べ，2005年2月4日]，3，si.lds.org）

障がいを持つ生徒のためにレッスンを適応させる

教える準備をするときは、特定の必要性がある生徒に配慮します。活動や想定を調整して、彼らが成功できるようにします。彼らが、愛され、受け入れられ、仲間であると感じられるように助ける方法を見つけてください。信頼関係を育ててください。

さらにアイデアやリソースを入手するには、disabilities.lds.orgの障がいに関するリソースページ、および宗教教育セミナー・インスティテュートのポリシーマニュアルにある「障がいを持つ生徒のための適応クラス」というタイトルのセクションを参照します。

第1課

「家族—世界への宣言」の発表

はじめに

1995年9月に大管長会と十二使徒定員会は、教会と世界に向けて「家族—世界への宣言」と題する宣言を発表しました（『リアホナ』2010年11月号、129）。この預言者の宣言は、神の永遠の計画における家族の神聖な役割を教えています。この課では

生徒が、末日の預言者、聖見者、啓示者がこの靈感による文書を発表した理由について理解を深めることができるように助けます。

背景となる読み物

- 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
- M・ラッセル・バラード「永続するものこそ最も大切なものである」『リアホナ』2005年11月号、41–44

教えるための提案

モーサヤ8：15–17；モーセ6：26–27, 31–36；7：16–21

「家族—世界への宣言」は聖見者によって記された

一人の生徒に、モーセ6：26–27を声に出して読んでもらい、他の生徒には、聞きながら、民の心と、耳と、目について主が言われたことを見つけてもらいます。

- 主は民の罪悪についてどのように説明されていますか。
- 民の「心はかたくなになり、その耳は聞こえにくく、その目は遠くを見ることができない」ときとは、どのような意味でしょうか。

一人の生徒にモーセ6：31–34を声に出して読んでもらいます。

- もし自分がエノクだったとしたら、主のどのような言葉から安心を得ることができるでしょうか。
- これらの聖句は、主がどのように預言者に能力を与えると教えていますか。

生徒たちに、モーセ6：35–36を読む時間を与えます。

- エノクが目に泥を塗り、それを洗ったときに見えたものは何でしょうか。
- 泥とは何を表しているのでしょうか。（泥は世俗的なものの象徴である。生徒に、もし自分の目から俗事が洗われたとしたら、何を見ることができるとかを考えてもらいます。）
- 36節は聖見者がどのような人であるかを定義するうえで、どのように助けとなるでしょうか。（答えには次の真理が含まれるべきです。聖見者は肉体

の目に見えないものを見ることができる。生徒に、次の聖句を相互参照してもらおうとよいでしょう。36節とモーサヤ8：15－17。）

聖見者をさらに定義づけするために、十二使徒定員会のジョン・A・ウィッツォー長老（1872－1952年）の次の言葉を生徒に見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



聖見者は霊的な目によって見る人です。聖見者は、他の人々には分りにくいと思われることの意味を理解します。したがって、彼は永遠の真理を解釈し、明確にする人です。……聖見者は見る人、主の光の中を、目を見開いて歩く人です〔モーサヤ8：15－17参照〕。」 Evidences and Reconciliations, G・ホームー・ダラム編〔1960年〕, 258)

生徒たちがモーセ6：35－36の横にこの定義のどれかを書くように提案します。聖見者は預言者でもあるということを説明します。

生徒が、エノクを聖見者として受け入れ、エノクの言葉に従った人々がどうなったか理解する助けとなるよう、モーセ7：16－21を要約します。

- これらの節は現代の預言者や聖見者に注意を払うことの大切さをどのように表しているのでしょうか。（生徒が次の教義を理解していることを確認します。預言者は、わたしたちが神の視点から物事を見ることができるよう助けてくれる。また、預言者の言葉を信頼するときにはわたしたちは祝福される。）

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を読みます。



「兄弟姉妹、1995年に大管長会と十二使徒定員会が『家族—世界への宣言』を発表してから、今年で10年になります〔「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129参照〕。この宣言は当時も今も、家族を守り強めるようにと、ラッパの音のように明快に呼びかけています。……

この宣言は預言の言葉です。それは、預言者たちが宣言したからだけでなく、将来を見越して述べられたからです。宣言で警告された事柄が、実際にこの10年の間に、家族を脅かし、弱めてきました。伝統的な結婚や親子の関係をどんどんむしばんでいる環境を切り抜きたいと思うならば、家族の必要を優先させ、重要視するようにと、この宣言は呼びかけています。

宣言の中で用いられている単純明快な表現は、混乱し、複雑化した社会通念と好対照を成しています。現代社会は……家族の定義についてさえも意見の一致を見ることができません。」（「永続するものこそ最も大切なものである」『リアホナ』2005年11月号, 41)

- 家族の宣言は「将来を見越して」述べられたとバラード長老が言ったとき、長老は何を言いたかったのだと思いますか。
- 家族の宣言は、大管長会と十二使徒が預言者、聖見者、啓示者であるという確信をどのように強めるのでしょうか。

天の御父はわたしたちを愛しておられ、わたしたちが天父のようになることを望んでおられるので、わたしたちに預言者と聖見者を遣わしてくださったことを証します。

「家族—世界への宣言」の発表

家族の宣言の発表

生徒がそれぞれ「家族—世界への宣言」を閲覧できることを確認します (lds.org/topics/family-proclamation)。(コピーが必要な生徒に、印刷したものを用意しておく必要があるかもしれません。)本コース全体を通して、毎回のクラスに家族の宣言の印刷物またはデジタルコピーを持参するよう生徒に勧めます。「家族—世界への宣言」は、1995年9月23日、中央扶助協会集会において、ゴードン・B・ヒンクレー大管長によって教会に初めて提示されたことを説明します。

- この表題は、この宣言の対象となる人々について何を教えていますか。
- この宣言はなぜ教会員だけでなく全世界に向けて発表されたと思いますか。(生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の真理を書きます。**神はその全ての子らに真理を宣言するために預言者を召される。**)

教会が組織されて以来、教会指導者はたった5つの宣言しか発表していないことを説明します。一つは大管長会によって、一つは十二使徒定員会によって、その他は大管長会ならびに十二使徒定員会が合同で発表したものです。非常に重要な声明だけが宣言という形で発表されます。(生徒がこれら5つの宣言について尋ねてきた場合、**Encyclopedia of Mormonism**, 全5巻〔1992年〕, “Proclamations of the First Presidency and the Quorum of the Twelve Apostles,”第3巻, 1151, eom.byu.edu (英語)を参照してもらいます。)

家族の宣言を読む前に、なぜ教会指導者がこの重要な文書を公開すべきとの印象を感じたかについて、ヒンクレー大管長が幾つか理由を述べたことを生徒に伝えます。ヒンクレー大管長による次の声明を見せて、一人の生徒に読んでもらいます。



「申すまでもなく、現代は混乱の時代、価値観の揺らぐ時代です。甲高い声が、時に裏打ちされた行動の規範に反旗を翻し、これだ、あれだと叫びます。わたしたちの社会の倫理的な基盤は大きく揺らいでいます。」(「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号, 110)

- 「わたしたちの社会の倫理的な基盤は大きく揺らいでいます」とヒンクレー大管長が言ったとき、大管長は何を言いたかったのだと思いますか。(ここで言う基盤とは、物体が所定の位置から動かないようにロープや鎖でつなぎ留めておく場所のことだと指摘するとよいでしょう。)
- ヒンクレー大管長が深刻な道徳の低下について話した1995年以来、社会の「倫理的な基盤」に何が起きているかを、あなたならどのように説明しますか。

ヒンクレー大管長の説教から次の段落を見せます。生徒に読む時間を与え、教会指導者が世界中で目撃していた問題や、この宣言を発表した理由をさらに説明している単語や表現を書き留めてもらいます。



「わたしたちの方で皆さんに警告したいことがあります。現在起こっていることと、これから起こることの両方に対する警告です。今の世の中には、真理という仮面をかぶった詭弁があふれており、倫理基準や価値観に対する欺瞞が後を絶たず、じわじわと世の汚れに染めていこうとする誘惑があまりにも多いからです。このことを踏まえて、わたしたち大管長会と十二使徒評議会は、教会員ならびに一般の方々に向けて一つの宣言を発表いたします。これは、わたしたちの教会の預言者、聖見者、啓示者が歴史を通じて繰り返し述べてきた、家族に関わる標準と教義とその運用についての宣言を再確認するものです。」（「世の策略に対抗して立つ」113）

生徒が見つけたことを発表するときに、生徒の答えをホワイトボードに書きます。ホワイトボードは次のようになるでしょう。

教会指導者は世界中でどのような問題を目撃したでしょうか。

真理という仮面をかぶった詭弁

倫理基準や価値観に対する欺瞞

世の汚れに染めていこうとする誘惑

教会指導者がこの宣言を発表した理由は何ですか。

現在と将来に対して警告するため

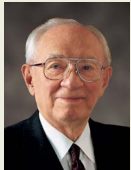
現在およびこれまでの教会指導者が教えてきた標準と教義とその運用について宣言し、再確認するため

- 「詭弁」とは何ですか。（詭弁とは真理のように見せかけた偽の論法のことである。）これまでどのような誤った考えが家族に関連した真理として教えられているのを見たことがありますか。（詭弁の例として、教義と聖約89：4を参照してもよいでしょう。）
- ヒンクレー大管長の声明から、末日の預言者と使徒の責任について何を学ぶことができますか。（生徒の答えには次の真理が含まれるはずで、預言者は「家族に関わる〔主の〕標準と教義とその運用」を宣言する神聖な責任を持つ。）

生徒に数分間の時間を与え、家族の宣言に目を通し、家族についての現代的な疑問への答えを幾つか見つけてもらいます。十分な時間を与えた後で、生徒たちが見つけたことを分かち合ってもらいます。この宣言については他のレッスンで詳しく採り上げているため、この活動に多くの時間を費やす必要はありません。

次の真理について証します。家族の宣言は、社会の問題に対する靈感を受けた答えに満ちています。この宣言は、価値観の揺らぐ世界における個人と家族のための堅固なかりです。

ヒンクレー大管長が家族の宣言を読んだ後、次のように述べたことを説明します。



「わたしたちは、全ての方々がこの宣言を入念に、よく考えながら、祈りを込めて読んでくださることをお勧めいたします。いかなる国家であろうと、その強さは家庭という囲いの中に根ざしているのです。わたしたちは、世界中に住むわたしたちの民が、時を超えて生き続けるこの価値観にのっとり家族を堅固なものにするようにと、強くお勧めいたします。」（「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号, 114）

- 家族の宣言を、祈りを込めて読むとは、あなたにとってどのような意味ですか。
- 家族の宣言に見られる原則は、どのような点で結婚や家族についてのあなたの気持ちに影響を与えましたか。

家族の宣言に見られる教義や原則を学び応用するように、というヒンクレー大管長の勧めに従う方法を、生徒が考え、発表するよう助けます。生徒の答えをホワイトボードに書き、「時を超えて生き続けるこの価値観」を応用することによって自分自身や家族を強める方法について、祈りの気持ちをもって考えてもらいます。

生徒の読書課題

- エペソ4：11－14；モーサヤ8：15－17；モーセ6：26－39；7：16－21
- 「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129, lds.org/topics/family-proclamation
- M・ラッセル・バラード「永続するものこそ最も大切なものである」『リアホナ』2005年11月号, 41－44

第2課

預言者と使徒による厳粛な宣言

はじめに

「家族—世界への宣言」は次の文章で始まります。「わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大会長会と十二使徒評議会は、……厳粛に宣言します。」（『リアホナ』2010年11月号，129）全ての神権時代の預言者は、主の御心を宣言し、罪の結果

について警告するという責任を持っています。この課では生徒が、予見された災いをわたしたちに警告する見張り人としての預言者の役割について理解できるように助けます。


背景となる読み物

- M・ラッセル・バラード「船にとどまり、つかまっていなさい」『リアホナ』2014年11月号，89–92
- ヘンリー・B・アイリング「勧告の中に安全を見いだす」『リアホナ』2008年6月号，3–7
- キャロル・F・マッコンキー「預言者の言葉に従って生活する」『リアホナ』2014年11月号，77–79

教えるための提案

エゼキエル33：1–7；教義と聖約1：4–5，11，14

塔の見張り人

 生徒に見張り塔の写真を見せ、その画像の中にある建物を識別できるかどうか尋ねます。その建物は、古代の見張り塔の模型であると説明します。（別の取り上げ方として、母語で利用可能な場合は、ビデオ“Watchman on the Tower”（塔の見張り人）、lds.org/media-library（英語）の最初の部分を見せます。）生徒に、見張り人はどのような事柄を探しているのか、その職務を行うことがなぜ重要であるのか尋ねます。



生徒に、エゼキエル33：1–3を読み、見張り人の責任を見つけてもらいます。

- 見張り人の責任は何ですか。（迫り来る危険を民に警告する。）

一人の生徒にエゼキエル33：4–7を読んでもらいます。

- 主はエゼキエルにどのような務めを与えられましたか。
- 預言者はどのような点で塔の見張り人に似ているでしょうか。（現代の預言者は見張り人のように務めていることを生徒が理解する助けとなるよ

う、教義と聖約1：4-5, 11, 14を読んでもらうと役立つでしょう。生徒に、これらの聖文をエゼキエル33：4-7と相互参照するように提案してもよいでしょう。十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が次のように述べていることを指摘するとよいでしょう。「主イエス・キリストの使徒には、……『塔』の見張り人となる責任があります。」〔「偽預言者と偽教師を警戒しなさい」『リアホナ』2000年1月号, 73〕参照)

次の教義について証します。天父は迫り来る危険を民に警告するために末日の預言者を召された。

この教義を強調するために、大管長会ヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「わたしたちを安全に導こうとする救い主の願いには終わりがありません。また、安全な道を示してくださるその方法には一貫性があります。救い主は複数の手段を用いて、進んで受け入れようとする人々にその道が分かるようにして下さっているのです。その手段にいつも含まれるのが、神の預言者の口を通してメッセージを送るという方法です。これは、民が神の預言者を頂くにふさわしいときにはいつも行われてきました。権能を受けた僕たちには例外なく、民に警告し、安全への道を示す責任が与えられています。」（「勧告の中に安全を見いだす」『リアホナ』2008年6月号, 3）

- 預言者の勧告に従うことで守られたと感じたのはどのようなときでしたか。
- 現代の十二使徒や預言者たちから、家族に霊的な守りをもたらす、どのような勧告を聞いたことがありますか。
- 家族の宣言はどのような点で天父からの警告の声なのでしょうか。

アモス3：6-7

預言者と使徒は、わたしたちが家族に関する主の観点を理解するのを助ける

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を紹介します。預言者が今日の世の中における危険に気づく方法を生徒たちに見つけてもらいます。



「教会指導者が世間から隔離された世界で生きていると思っている人がいるそうです。そのような人は、わたしたちがさまざまな場所に住み文化の異なる大勢の人と交わりながら経験を積んできたことを知らないようです。現在の割り当てによりわたしたちは文字どおり世界中を飛び回り、世界各地の政治、宗教、ビジネス、人道支援の指導者たちと会っています。ワシントンD.C.のホワイトハウス〔の指導者〕や世界各国の指導者〔および宗教指導者〕を訪れることもあります。地上で最もつましい〔家庭や人々〕を訪れることもあります。……

わたしたちの生活や務めについて思慮深く考えるなら、わたしたちほど世界中を見て回り、経験を積んでいる人はそう多くないことが分かるはずで。たいていの人よりも現実を知っていることに気づくでしょう。……

しかし、〔教会の指導者たち〕の知恵には慰めを与える特別な力があります。わたしたちは、さまざまな法律や政策の結果を味わってきましたし、落胆、悲劇、家族の死など、あらゆることを経験してきました。皆さんの生活についてまったく知らないというわけではないのです。」（「船にとどまり、つかまっていなさい」『リアホナ』2014年11月号、90-91参照）

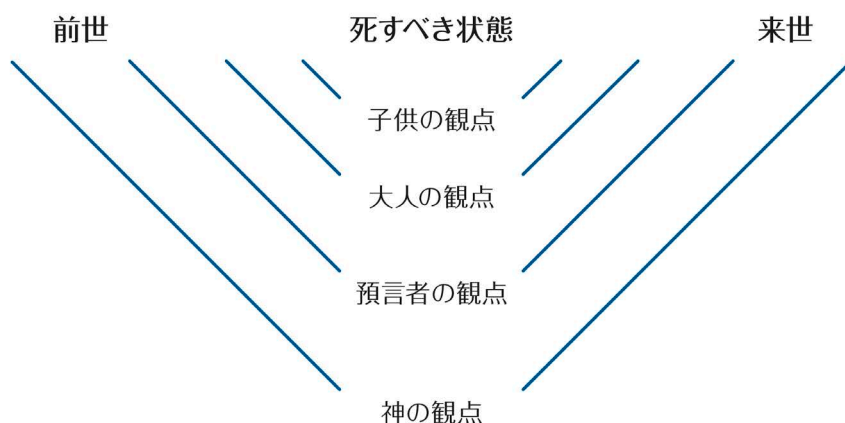
- 教会指導者の幅広い経験は、見張り人としての役割にどのように役立つでしょうか。

預言者は神から与えられた義務を果たせるよう、人生経験よりもはるかに重要な事柄を知り得ることができることを説明します。一人の生徒にアモス3：6-7を読んでもらいます。生徒に、ジョセフ・スミス訳では6節の「なされる」という言葉が「お知りになる」に、7節の「示さないでは」が「示すまでは」に変更されていることを指摘します。

- アモス3：6-7では預言者についてどのようなことが教えられているのでしょうか。

生徒と次の定義を分かち合います。預言者とは「神によって召され、神に代わって語る人。神の使いとして神から戒めや預言、啓示を受ける。……預言者は罪を非難し、罪のもたらす結果を予告する。」（『聖句ガイド』「預言者」，<https://www.lds.org/scriptures/gs/prophet.t1?lang=jpn&letter=p>）

以下の図をホワイトボードに写します。



生徒に、この図について深く考え、話し合う時間を与えます。この図は前世、現世、来世を包含する家族に関する神の観点を表していることを説明してもよいでしょう。啓示を通して、預言者はさらに広い観点を授けられます。そして次にわたしたちの観点や理解が拡大するよう助けてくれるのです。

- この図は、家族の宣言を研究するのが賢明であることをどのように示していますか。（ホワイトボードに次のように書きます。**家族の宣言を研究することにより、わたしたちは家族に関する天父の観点を学ぶことができる。**）

生徒たちに、「家族—世界への宣言」から引用されています。初めの語句を強調します。「わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、……厳粛に宣言します。」生徒に家族の宣言を調べる時間を数分与え、結婚と家族に関する神の観点が世のものとは異なる証拠を見つけてもらいます。生徒に見つけたものを分かち合ってもらい、生徒の答えをホワイトボードに書きます。

教義と聖約90：1-5

家族の宣言にある預言者の勧告に従うことで、わたしたちは安全でいられる

生徒たちに、教義と聖約90：1-3を調べて、主が預言者ジョセフ・スミスに与えられたものを見つけてもらいます。

- 主はジョセフ・スミスに何を与えられたのでしょうか。（王国の鍵、これは大管長会の権利、もしくは地上における神の王国を導くための権能を表します。）
- 今日、それらと同じ鍵を持っているのは誰でしょうか。（大管長会および十二使徒定員会の各会員。）

一人の生徒に、教義と聖約90：4-5を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、主が預言者を通じて教会に与えられると約束されたものは何かを見つけてもらいます。（主は、教会に「神託」が与えられると言われました。「神託」とは「啓示」のことであると生徒に説明します。）

- 5節では、主は聖徒たちにどのような警告を与えておられますか。
- この警告からどのような原則を学べるでしょうか。（答えは次の原則を理解していることを示すはずですが、もしわたしたちが預言者を通して与えられる啓示を軽々しく扱うなら、わたしたちはつまづいて倒れる。この原則をホワイトボードに書くとよいでしょう。）

中央若い女性会長会のキャロル・F・マッコンキー姉妹と十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を見せます。



© Busath.com

「聖任された主の僕によって語られるキリストの御言葉を無視したり、軽んじたり、踏みにじったり、敵対することを選ぶこともできます。しかし、救い主はそのようなことをする人は主の聖約の民から絶たれると教えておられます〔3ニーファイ20：23参照〕。」（キャロル・F・マッコンキー「預言者の言葉に従って生活する」『リアホナ』2014年11月号，79参照）



「わたしは務めを果たす経験を通して分かったことがあります。道に迷い、混乱する人のほとんどは、大管長会と十二使徒定員会が一つの声で話すとき、それがその時代に対する主の声であることを忘れていくということです。主は言われます。『わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。』〔教義と聖約1：38〕」（M・ラッセル・バラード「船にとどまり、つかまっていなさい」90）

- 人々が家族の宣言にある勧告を軽く扱っていることを示すものには何があるでしょうか。
- あなたや他の人々は家族の宣言にある勧告に耳を傾けることによって、これまでどのような祝福を受けてきましたか。
- 末日の預言者に関して、どのような思いや気持ちを抱いていますか。それをクラスで分かち合うことができますか。

家族の宣言は、15人の預言者、聖見者、啓示者の声の一つにまとまった、靈感を受けた宣言であることを証してください。本コースを通して、家族の宣言に含まれている真理についてより深い証を祈り求める機会を持つよう、生徒に勧めます。

生徒の読書課題

- エゼキエル33：1-7；アモス3：6-7；教義と聖約1：4-5，11，14，37-38；90：1-5；124：125-126
- ヘンリー・B・アイリング「勧告の中に安全を見いだす」『リアホナ』2008年6月号，3-7

第3課

わたしたちの神聖な可能性

はじめに

天の御父はわたしたちがみもとに戻り、御自身のようになるための計画を与えてくださいました。ディーター・F・ウークトドルフ管長は次のように教えました。「この世界に来る前、わたしたちは神の子供でした。そしてわたしたちは永遠に神の子供です。この基本的な真理は、自分自身、兄弟姉妹、そ

して人生そのものの見方を変えるはずで
す。」（「4つの称号」『リアホナ』2013年5月号、
58）生徒が自分の神聖な可能性を一層理解するよ
うになるにつれ、死すべき状態において直面するチャ
レンジに適切に対応することができるようになります。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「4つの称号」『リアホナ』2013年5月号、58–61
- 福音のテーマ「神のようになる」、lds.org/topics

教えるための提案

創世1：27；イザヤ55：8–9；使徒17：29；ヘブル12：9；1ヨハネ3：1；4：8–9；1ニーファイ9：6；2ニーファイ9：20；モロナイ8：18；教義と聖約76：4；88：41；130：22

人は皆神の子である

教会員ではない友人から、わたしたちの教会では神はどのような御方だと信じているのか尋ねられたと想像するように生徒に言います。生徒たちに、自分だったらどう応じるか簡単に発表してもらいます。

次の対になった聖句をホワイトボードに書くか、プリントにして配布します。

創世1：27；教義と聖約130：22

1ニーファイ9：6；2ニーファイ9：20

イザヤ55：8–9；教義と聖約88：41

1ヨハネ3：1；4：8–9

モロナイ8：18；教義と聖約76：4

使徒17：29；ヘブル12：9

生徒に、これらの対になった聖句の中から幾つかを研究するよう割り当て、天父についてどのようなことが教えられているか見つけてもらいます。全ての対になった聖句が割り当てられるようにします。十分時間を取ってから、生徒

に、天父について知っている、または信じている事柄を説明するために、これらの聖句をどのように使うか発表してもらいます。

- 天父の属性を知っていると、天父を礼拝するためにどのように役立つでしょうか。
- 天の御父は栄光ある復活した骨肉の体を持つ実在の御方であり、霊の父であることを知っていると、神との関係にどのような影響がありますか。
- 神がわたしたちの霊の父であることを覚えておくことは、なぜ神を礼拝するときに役立つのでしょうか。（話し合いの一環として、神はわたしたちの霊の父であるので、わたしたちには神のようになる神聖な可能性があることを強調します。）ジョセフ・F・スミス大管長〔1838—1918年〕の指示の下で、1909年に大管長会が発表した次の声明を紹介するのも役立つでしょう。「全ての男性と女性は普遍の御父と御母の姿をしている、文字どおり神の息子娘なのです。」〔“Gospel Classics: The Origin of Man,” *Ensign*, 2002年2月号, 29〕

預言者ジョセフ・スミスの次の言葉のコピーを配ります。生徒に、それを黙読し、神とはどのような御方なのか理解するのに重要だと思われる語句に留意するよう言います。



「神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！……もし今日幕が裂けて、この世界を軌道上に保ち、あらゆる世界と万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のものであられることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

- 天の御父がどのような御方なのか理解することは、わたしたちが自分自身を理解するのにどのような助けとなるのでしょうか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに以下を書きます。天父を理解するようになるにつれ、わたしたちは天の両親のようになれるという自分の可能性をさらに理解できる。）

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「皆さんに愛されている賛美歌『神の子です』〔『賛美歌』189番〕の中で説かれている理念について、考えてみましょう。ここには『わたしは何者か』という人生の大切な質問への答えが記されています。わたしは、天の両親につながる霊の家系をもつ神の子です。天の父母がおられるという事実は、永遠の可能性を暗示しています。この力強い理念は、落胆に対する特效薬となります。この理念はわたしたち一人一人を強め、正しい選択をさせ、最善を尽くそうという思いを与えてくれます。」（「力強い理念」『聖徒の道』1996年1月号，27参照）

ホワイトボードに次のように書きます。

自分は神の子であるという知識は、以下のようなときにわたしを助けることができます。_____。

自分は神の子であるという知識は、以下のようなときにわたしを助けてくれました。_____。

何人かの生徒に、自分だったらどのようにこれらの文章を完成させるか話してもらいます。

ローマ8：16-17；1ヨハネ3：2；3ニコーファイ12：48

わたしたちの神聖な可能性

ある人は「大きな可能性」を秘めていると時折耳にすることがあると、クラスの生徒に伝えてください。

- この言葉はどういう意味だと思いますか。

ホワイトボードに次の参照聖句を書き、生徒たちにその聖句からわたしたちの神聖な可能性について学ぶように言います。ローマ8：16-17；1ヨハネ3：2；3ニコーファイ12：48生徒たちが、それぞれの聖句の横の余白に他の二つの参照箇所を記入し、これらの聖句を相互参照できるように提案するとよいでしょう。

- 神の性質について学んだこれらの聖句を踏まえると、「自分たちが彼に似るものとなる」という語句はあなたにとって何を意味するのでしょうか。
- イエス・キリストと「共同の相続人」であるとはどういう意味だと思いますか。（肉における御父の独り子として、御父がお持ちになる全てを相続するのはイエス・キリストの権利です。従順で、救い主の贖いの完全な祝福を受けた人々も、御父がお持ちになる全てを相続します〔ローマ8：14-18；ガラテヤ3：26-29；教義と聖約84：38参照〕。以下の原則を強調します。天の御父の計画は、わたしたちが天の両親のようになる方法を与えている。神のようになれるというわたしたちの信条を批判する人々もいるかもしれませんが、この信条は聖書の教えに基づいていることを指摘します。）

ホワイトボードに次の質問を書きます。

ダリン・H・オークス長老は現世の目的について何と教えたでしょうか。

ダリン・H・オークス長老が語った次の言葉を読み、ホワイトボードの質問に対する答えを探そう生徒に言います。



「回復されたイエス・キリストの教会の神学では、現世の生涯の目的は、神の息子娘として、神のようになるという永遠の目標に到達する備えをなすことにあります。……聖書の中では人間を、『神の子』また『神の相続人』『キリストと共同の相続人』などと表現しています（ローマ8：16-17）。また、『キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている』（ローマ8：17）, 『彼が現れる時、……自分たちが彼に似るものとなる』（1ヨハネ3：2）とも書かれています。わたしたちは聖書のこれらの教えを、文字どおりに受け止めています。わたしたちは、現世の生涯の目的が、肉体を得ることであると信じています。また、イエス・キリストの贖いと福音の儀式と律法への従順を通して、昇栄あるいは永遠の生命とも呼ばれる、復活し栄光化された日の光栄の状態に入るにふさわしい者になることであると信じています。……（人は最終的に永遠の生命を得られる、あるいは神のごとき者になれるというこの教えが、古代のキリスト教の教義の『神化』『神格化』といった概念を学んだ人々には聞き覚えがあるはずです。）……

わたしたちの神学は、天の両親にその始まりがあります。わたしたちの最高の望みは、天の父母のようになることです。御父の憐れみ深い計画の下、御父の独り子、主なる救い主イエス・キリストの贖いを通して、この全てが可能となります。」（「背教と回復」『聖徒の道』1995年7月号、92-93参照）

（注—神化や神格化という言葉は、人は神になることができる、あるいは神の位に昇ることができるという考えを指していることを説明する必要があるかもしれません。）

ホワイトボードに書かれている質問に対する生徒の答えについて話し合います。その後、次の質問をします。

- 天父の計画はあなたが神のようになる機会を与えてくれることについて考えるとき、どのような思いを抱きますか。
- わたしたちが神のようになるためにはキリストの贖いが必要なのはなぜでしょうか。

この話し合いをさらに進めるため、生徒とともに次の言葉を検討します。

「末日聖徒は贖罪によって可能となる人間の壮大な可能性という観点からキリストの贖罪の重要性を理解しています。キリストの贖いは罪からの赦しと死に打ち勝つことを与えるだけでなく、不完全な関係を修復し、成長を阻害する霊的な傷を癒やし、個人を強め、キリストの特質を伸ばせるようにもするのです〔アルマ7：11-12参照〕。永遠の栄光への確かな希望を得ることができるのはイエス・キリストの贖罪を通してのみだということ、また、主の贖いの力はイエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物を受け、キリストの模範と教え

に従い最後まで堪え忍ぶことによつてのみ完全に効力を発揮することを末日聖徒は信じています〔2ニーファイ31：20；信仰箇条1：4参照〕。それゆえ、神のようになり、神の完全な栄光に入る人々は、『自らの血を流すことによつてこの完全な贖罪を成し遂げられた、新しい聖約の仲保者イエスを通じて完全な者とされた』人々であると述べられています〔教義と聖約76：69〕。（福音のテーマ「神のようになる」lds.org/topics）

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長の次の話のコピーを配ります。生徒に、この話を読み、自分も神聖な可能性に到達することができるという希望を与えてくれる見解に印をつけてもらいます。ウークトドルフ管長はこの説教を総大会の神権部会で話したのですが、その見解は全ての人に適用されることを指摘します。



「最も基本的な意味でわたしたち全てを定義付ける一つの称号は、**天の御父の息子〔または娘〕**です。たとえわたしたちが何者であつて人生で何をしようと、わたしたちが文字どおり神の霊の子供であることを忘れてはなりません。この世界に来る前、わたしたちは神の子供でした。そしてわたしたちは永遠に神の子供です。この基本的な真理は、自分自身、兄弟姉妹、そして人生そのものの見方を変えるはずです。……

神の〔子供〕であることの意味を知りながら、その可能性を生かしていないことが分かると、時に落胆してしまいます。サタンはそのような感情に乗じることを好みます。サタンは、皆さんの神聖な可能性よりも、むしろ罪によつて自分自身の価値を決めつけるように仕向けます。兄弟の皆さん、サタンに耳を貸してはなりません。

わたしたちは皆、赤ちゃんが歩き始めるのを見たことがあるでしょう。赤ちゃんは小さな歩幅でよちよち歩いては倒れます。わたしたちはそのような努力をとがめるのでしょうか。もちろんそのようなことはしません。つまりいた赤ちゃんを罰する父親がいるのでしょうか。むしろ、励まし、拍手し、ほめたたえます。あらゆる小さな一歩を重ねてその子供は両親にさらに似た者になるのです。

さて、兄弟の皆さん、神の完全さに比べると、わたしたち死すべき人間は、ぎこちなくよるめく赤ちゃんとほとんど変わりません。しかし、わたしたちの愛する天の御父は、わたしたちが御自分のようなことを望んでおられます。そして、愛する兄弟の皆さん、それはわたしたちの永遠の目標でもあるべきなのです。神は、わたしたちが瞬時にではなく、歩みを一歩ずつ踏み出すことでそこに到達することを理解しておられます。」（「4つの称号」『リアホナ』2013年5月号、58参照）

- このような永遠の真理を覚えておくことは、神聖な可能性に到達するためにどのような助けとなるのでしょうか。
- このような真理を覚えておくことは、家族への接し方にどのような影響を及ぼすのでしょうか。
- これらの真理についての知識は、亡くなった家族についての情報を探求し、彼らのために神殿の儀式を行うという願いに、どのような影響を与えるのでしょうか。

このレッスンで学び、感じた事柄を、来週中に家族や友人と分かち合うよう生徒を励まします。また、自分は天の御父の子供であることを意識して覚えておき、この神聖な真理を覚えることが自らの行動にどのような影響を及ぼすかを日記に記録する計画を立てるために、毎日何ができるかを検討するのもよいでしょう。

生徒の読書課題

- 創世1：27；イザヤ55：8-9；使徒17：29；ローマ8：16-17；ヘブル12：9；1ヨハネ3：1-2；4：8-9；1ニーファイ9：6；2ニーファイ9：20；3ニーファイ12：48；モロナイ8：18；教義と聖約76：4；88：41；130：22
- 福音のテーマ「神のようになる」, lds.org/topics

第4課

家族と偉大な幸福の計画

はじめに

アダムとエバの創造に伴い、地上に家族が確立されました。アダムとエバの墮落によって世に子供をもたらすことができるようになりました。そして今度は贖いが墮落の負の影響を克服することを可能にす

るのです。この課は、生徒たちが、家族の救いのために創造、墮落、贖いがどのように連携しているのかをさらに理解する助けとなります。

背景となる読み物

- M・ラッセル・バラード「贖罪と一人の価値」『リアホナ』2004年5月号, 84-87
- ジュリー・B・ベック「家族の教義を教える」『リアホナ』2011年3月号, 32-37

教えるための提案

モーセ1：27-39；教義と聖約約49：15-17

モーセは地球創造の目的について学ぶ

砂を入れた小さな容器と1杯の水をクラスに持って来ます。一人の生徒に、水の中に指を1本入れてもらい、それから砂の中にも入れてもらいます。それから生徒に、どれくらいの数の砂粒が指についているか推量するように言います。

- 砂の容器にはどれくらいの数の砂粒が入っていると思いますか。海辺の砂はどうでしょうか。

生徒に、モーセ1章を開くように言います。そこには、モーセが見た一連の示現が記録されています。一人の生徒に、モーセ1：27-29を読んでもらい、他の生徒には、主がモーセに示されたものを探するように言います。

- これらの節によれば、モーセは示現の中で何を見ましたか。
- あなたがこの示現を経験したら、どんなことを考えたと思いますか。

生徒に、モーセ1：30を読み、モーセが主に尋ねた二つの質問に印をつけるように言います（なぜそしてどのように地球とそこに住む者たちが創造されたか）。生徒が聖文を研究するに当たり、質問とその答えを聖典の中から探すよう励ますことによって、個人の聖文研究の技術を伸ばせるよう助けます。

生徒に、モーセ1：31-33を読み、モーセの二つの質問に対して主がどのようにお答えになったか見つけてもらいます。

- 31節によると、なぜ神は世界を創造されたのでしょうか。

- 32－33節は、天父が世界を創造された方法について、どのような教義を教えているでしょうか。（生徒は次の教義を見つけるはずです。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球と無数の世界を創造された。）

生徒に、モーセ1：36－39を読み、モーセの別の願いとそれに対する主の答えを見つけてもらいます。

- 地球を創造し、そこに人を住ませた天父の目的は何だったでしょうか。（生徒は次の教義を見つけるはずです。地球は人の不死不滅と永遠の命をもたらすために創造された。不死不滅とは復活した状態で永遠に生き続けることであるのに対し、永遠の命とは神が生きておられるように生きること、すなわち永遠の家族の一員として永遠に生き続けることを意味することに注目します。）
- 地球の創造は天父の業と栄光を成就するのにどのような助けとなるでしょうか。（教義と聖約49：15－17を使い、地球は現世で家族が暮らす場所として創造されたことを示します。）

地球は神の子供たちの不死不滅と永遠の命をもたらすために創造されたことを証します。家族という単位は、わたしたちが永遠の命を得るために設けられました。永遠の命とは、神が送っておられる生活、すなわち永遠の家族の一員として永遠に生きることを意味しています。

2ニーファイ2：19－25；モーセ3：16－17；5：9－11

アダムとエバの墮落は神の計画の根幹を成した

神はアダムとエバにエデンの園で具体的な指示をお与えになったことを説明します。生徒に、モーセ3：16－17を黙読してもらい、それから次の質問をします。

- 主は、アダムとエバが禁断の実を食べたらどうなるとおっしゃいましたか。

アダムとエバが禁断の実を食べたことによって、人類に2種類の死をもたらすことになったことを説明します。

ホワイトボードに次のように書きます。

霊の死＝神からの別離
 肉体の死＝霊と肉体の分離

生徒に、2ニーファイ2：19－25を研究し、墮落によってもたらされた上記以外の結果を列挙してもらいます。

- 禁断の実を食べると、どうしてアダムとエバや全人類が天の御父のようになることが可能になるのでしょうか。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を見せます。



堕落は天の御父の聖なる計画において根幹を成〔しました。〕堕落がなければ、死すべき体を持つ子供たちがアダムとエバに生まれることはありませんでしたし、反対のものや成長、道徳的な選択の自由、そして復活と贖罪と永遠の命の喜びを経験する人類家族も存在することはありませんでした。」（「イエス・キリストの贖罪」『リアホナ』2008年3月号, 35参照）

モーセ5：9-11を生徒と読みます。次の質問をして、生徒たちがこれらの節に記録されている真理を述べるように助けます。

- エデンの園から追い出された後、アダムとエバはどのような真理を学んだでしょうか。（生徒は次の真理を理解するでしょう。堕落によって、アダムとエバは子供を産み、その子孫は永遠の命に向かって進歩できるようになった。）

一人の生徒に、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読んでもらいます。生徒に、わたしたちが地上に来ることを喜んだ理由を見つけてもらいます。



「人生で最も活気に満ちていたとき、すなわち期待に胸をふくらませ、心をときめかせ、感謝にあふれたそのときを、あなたは思い出することができません。それは前世の出来事だからです。あなたが霊界を離れ死すべき体を得て地上に住むときがついに来たと知らされたときのことです。あなたは地上での経験によって幸福に至る教訓を得ることができると知っていました。その教訓によって、最終的に聖なる御父と御父が愛しておられる御子の御前で栄光を受け、日の栄えに住む者となり昇栄と永遠の命に導かれるのです。」（「第一のものを第一に」『リアホナ』2001年7月号, 6）

- 堕落と死すべき状態の目的を理解することは、この世で行う選択にどのような影響を及ぼすでしょうか。

2ニーファイ9：6-12

贖罪は堕落の影響に打ち勝つ

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を読みます。



「今年の1月、わたしたち家族は孫のネーサンを飛行機事故で失いました。ネーサンはロシア語圏にあるバルト諸国伝道部で働きました。彼は人々を愛し、主に仕えることを特権と思っていました。事故死したのは、わたしが彼と彼の愛するジェニファーの永遠の結婚を執り行ってから3か月後のことでした。」（「贖罪と一人の価値」『リアホナ』2004年5月号, 84）

アダムとエバの墮落によって、わたしたちは全て、バラード長老の家族に起きたような不運で悲劇的な経験をする事になったことを説明します。幸いにも、天の御父は、墮落の影響に打ち勝つ方法を与えてくださいました。

生徒に、2ニーファイ9：6-12を研究して、どのようにしてイエス・キリストの贖いがわたしたち一人一人を肉体の死と霊の死に打ち勝てるよう助けてくれるのか見つけてもらいます。読みながら、生徒が見つけた聖句の言葉や表現に印をつけるように勧めるとよいでしょう。その後、生徒に、見つけたことを発表してもらいます。

- これらの聖句はアダムの墮落とイエス・キリストの贖いとの関係についてどのような教義を教えているのでしょうか。（生徒が以下を理解していることを確認します。イエス・キリストの贖いは、天父の子供たち全てに**肉体の死と霊の死に打ち勝つ方法を与えている**。聖典を研究する際、墮落と贖いの聖句が頻繁に関連している点に注意するよう生徒に奨励するとよいでしょう。次の言葉を紹介することもできます。「関連性とは、概念、人物、事柄、出来事などの関係やつながりのことです。……祈りの気持ちで探し、それについて学び、深く考えること……から、靈感に満ちた洞察や隠れた知識という宝が得られます。」〔デビッド・A・ベドナー「生ける水の源」（ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド、2007年2月4日）、3；lds.org/media-library〕）

一人の生徒に、以下の話を読んでもらいます。これは先のM・ラッセル・バラード長老の話の続きです。



ネーサンがあまりに突然取り去られてしまった後、わたしたち家族一人一人の心と思いは主イエス・キリストの贖罪へ向けられました。……

救い主の貴い降誕、生涯、ゲツセマネの園での贖罪、十字架上での苦しみ、ヨセフの墓への埋葬、そして栄えある復活、その全てが、わたしたち家族にとって新たな現実となりました。救い主の復活により、人は皆いつの日か主のように復活すると保証されています。全人類の救い主、贖い主であるイエス・キリストの愛にあふれる恵みによって与えられたこの大いなる賜物は、何という平安、何という慰めでしょう。主のおかげで、再びネーサンに会えると確信しています。」（「贖罪と一人の価値」84）

- 家族の死に対するバラード長老の家族の反応は、どのような点でイエス・キリストの贖いが、墮落の普遍的な影響に家族が対処する助けとなることを示しているのでしょうか。
- ネーサンの家族と永遠におけるわたしたち一人一人の家族にとって、贖いは何を可能にしてくれるのでしょうか。

生徒に答えてもらう前に、次の質問について深く考える時間を少し与えます。

- キリストの贖いは、どのような点で、家族が墮落の影響に打ち勝てるようにしてくれたのでしょうか。（話し合いの一環として、イエス・キリストの贖いの力によって完全になった人々だけが、結婚と家族の中でともに永遠に生きることができることを説明します。）

元中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹の話を見せ、生徒に読んでもらい、レッスンを終えます。



© Busath.com

「末日聖徒イエス・キリスト教会には、創造と墮落、贖いに基づく家族の教理があります。地球の創造によって、家庭生活を可能にする場が与えられました。神は、家族になくてはならない等しい存在として男と女を創造されました。アダムとエバが結び固められて永遠の家族を構成するのは、天の御父の計画の一部でした。

墮落の結果、家族が成長する道が備えられました。アダムとエバは家族を指導する者であり、現世での生活を選びました。墮落によって、彼らは息子、娘をもうけられるようになりました。

贖いによって、家族を永遠に結び固められるようになりました。贖いのおかげで、家族は永遠に進歩し、完全になることができます。幸福の計画あるいは救いの計画とも呼ばれる計画は、家族のために作られた計画です。」（「家族の教義を教える」『リアホナ』2011年3月号, 32）

創造、墮落、贖いに関する自分の証について深く考えたり、自分自身の生活や家族の生活の中で贖いがさらに強い力を発揮できるようにするには、何ができるかを深く考えたりするよう生徒に勧めます。

生徒の読書課題

- モーセ1：27-39；3：16-17；5：6-12；2ニーファイ2：19-25；9：6-12；教義と聖約49：15-17
- ジュリー・B・ベック「家族の教義を教える」『リアホナ』2011年3月号, 32-37

第5課

死すべき状態

はじめに

前世でわたしたちは「〔天父の〕計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩……するために、地上での経験を得られるようになったのです。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010

年11月号, 129）わたしたちの死すべき肉体は大いなる祝福です。しかし、肉体はサタンの誘惑を多く受けやすいのです。イエス・キリストの贖いによって、わたしたちはこれらの誘惑に打ち勝ち、天父のもとへ戻ることができます。

背景となる読み物

- デビッド・A・ベドナー「現在のことをありのままに」『リアホナ』2010年6月号, 22–31
- デビッド・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 40–47

教えるための提案

2ニーファイ2：27–29；アブラハム3：25

わたしたちの現世での経験は永遠の命に不可欠のものである

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の声明を掲示して、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「肉体を持つことがそれほど重要なのはなぜか、実際に考えたことがあるでしょうか。……体が御父の幸福の計画にとって非常に重要なのはなぜか、実際に理解しているでしょうか。おそらく、その真の重要性を理解していないまま、頻繁に、また当たり前のようにこの答えを繰り返していますか。体が非常に重要なのはなぜかというこの永遠にわたる重要な質問をもう少し掘り下げてみたいと思います。最終的にその答えが、わたしたちの行う全てのことに影響を及ぼすのです。」（“Ye Are the Temple of God,” Ensign, 2001年9月号, 14–21）

- ベドナー長老によると、なぜわたしたちは自分の肉体が非常に重要である理由を、理解しようと努めるべきでしょうか。

生徒に、次の質問に対する答えを書いてもらいます。レッスンが進むにつれて、さらに思い浮かんだ考えやアイデアを書き記すよう生徒に勧めます。

- 肉体が天父の幸福の計画にとって非常に重要なのはなぜでしょうか。

生徒に「家族—世界への宣言」の第3段落を黙読してもらい、肉体が永遠の進歩にとって必要な理由を明らかにする言葉を見つけてもらいます。

一人の生徒に、デビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を読んでもらいます。他の生徒たちには、なぜ肉体が天父の計画できわめて重要なのかについて、耳

を傾けるように言います。この言葉が書かれているプリントを読む前に各生徒に配るか検討します。



「肉体を得ると、前世では得ることができなかった広く、深く、強い経験ができるようになります。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は次のように教えています。『わたしたちの霊と肉体は結合して、肉体は精神の道具となり、人格の基となるのです。』〔“The Instrument of Your Mind and the Foundation of Your Character” (ブリガム・ヤング大学ファイヤサイドでの説教, 2003年2月2日), speeches.byu.edu] このように肉体を得ることによって、わたしたちはより豊かな人間関係を持つようになり、真理を理解し真理に従って行動する力、そして、イエス・キリストの福音の原則と儀式に従う能力が増します。わたしたちはこの世という学校の中で、優しさや愛、親切、幸福、悲しみ、失望、苦しみを経験します。また、永遠に対する備えをするために、肉体的・物理的な制約という試練すら経験するのです。端的に言えば、聖文にあるように、人生には「肉において」学ぶべき教訓と経験すべき事柄とがあるのです（1ニーファイ19：6；アルマ7：12－13）。」（「現在のことをありのままに」『リアホナ』2010年6月号, 22－31）

- ベドナー長老は、肉体が永遠の進歩にとって必要な理由について何を教えているのでしょうか。（答えはさまざまですが、次の真理を強調します。**肉体があることによって、わたしたちは永遠に備えることができるよう、死すべき状態を経験することができる。**）
- どのような点で肉体は「肉体は精神の道具となり、人格の基」なのでしょう。
- どのように「肉体を得ることによって、イエス・キリストの福音の原則と儀式に従う能力が増す」のでしょうか。（考えられる答えには以下のものがあります。肉体は、増えよ、地に満ちよという戒めに従うことを可能にする。肉体は、家族として生活する喜びを経験させてくれる。家庭は福音の原則を学び実践する場所である。例えば、怒りを制御する方法は家族の交わりの中で学ぶ。）

何人かの生徒にアブラハム3：25および2ニーファイ2：27－29を順番に読んでもらいます。他の生徒には、これらの聖句が肉体を持つことの目的をさらに理解する助けとなるためにどのように連携しているか見つけてもらいます。

- 肉体を持つことは大いなる祝福ですが、それはどのような点で現世での試みの一部だと言えるのでしょうか。（肉体を持っているために、サタンの誘惑の多くが増幅される。）
- 「肉の思い」を選ぶと、どのようにして悪魔に「力を与え、あなたがたを捕らえ」させるのでしょうか。

モーサヤ3：19；モーセ6：49, 53－55

「生まれながらの人は神の敵である」

一人の生徒に、モーセ6：53－54を読んでもらい、他の生徒には、わたしたちが誕生したときの状態についてこれらの聖句が教えている事柄を見つけ、それ

を説明するように言います。この文脈における「罪がない」という言葉は、アダムの背きの影響を受けていないことを意味することに注目します。

それから、その生徒に、モーセ6：49および55も読んでもらい、他の生徒に次の質問をします。

- これらの聖句は、アダムとエバの墮落がわたしたちの現世での生活全体に及ぼす影響について何を教えていますか。（サタンの誘惑に屈すると、わたしたちは肉欲的、官能的、悪魔的な選択に対する悲痛な結果を味わいます。エテル3：2を参照するとよいでしょう。この聖句は「墮落のために、わたしたちの性質は絶えず悪くなっています」と教えています。）

一人の生徒に、モーサヤ3：19の最初の数行を読んでもらいます。ホワイトボードに次の質問を書きます。

生まれながらの人とは何でしょうか。
なぜ生まれながらの人は神の敵なのでしょうか。

生徒に数分与え、これらの質問に対する答えを探してもらい、また、「生まれながらの人」についての理解を深めるため、19節の脚注を研究してもらいます（この脚注の他の参照聖句とともに、特に脚注1を研究します）。時間を十分に取ってから、生徒が見つけたことについて話し合います。この用語は、男性と女性の両方に等しく適用される条件について説明していることを指摘します。

- ある人が生まれながらの人の特徴を持っている場合、このことは、結婚や家族にどのような影響を与えかねないのでしょうか。

一人の生徒に、モーサヤ3：19を最後まで読んでもらい、他の生徒たちには、わたしたちが生まれながらの人を克服する方法についての原則を見つけてもらいます。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の原則を書きます。イエス・キリストの贖いを受け入れ、聖なる御霊の勧めに従うことで、わたしたちは生まれながらの人を捨てて聖徒となることができる。）

この文脈で、**従う**とは聖霊の導きにおとなしく従う、または身を任せるという意味であることを説明します。

- 人はどのようにして聖霊が行うよう促している事柄を見分けることができるでしょうか。
- 生まれながらの人を捨てるよう聖霊に促された経験の中から、あまり個人的ではないものを分かち合うことはできますか。

わたしたちは聖なる御霊の勧めに従うとき、贖いの力を得られることを証してください。

モーサヤ3：19；16：3-6

イエス・キリストの贖いを取り入れる

一人の生徒にモーサヤ16：3-6を読んでもらい、他の生徒には読みながら、わたしたちの生活において墮落の影響に打ち勝つために役立つ事柄を見つけてもらいます。

- 天の御父の計画におけるどのような備えが、わたしたちが墮落した状態に打ち勝つことを可能にするのでしょうか。（ホワイトボードに次の教義を書きます。イエス・キリストの贖いを通して、わたしたちが失われた状態と墮落した状態から贖われる。）

デビッド・A・ベドナー長老の次の話を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「生まれながらの人の性欲、欲望、性癖、衝動は全て、イエス・キリストの贖いによって克服することができます。わたしたちがこの地上へ来たのは、神のような特質を伸ばし、肉体のあらゆる情欲を制するためです。」（「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号，42-43）

贖いに信仰を持つとき、わたしたちは主の贖いの犠牲によって可能になったイエス・キリストの恵みを受けることを生徒に説明します。恵みとは、イエス・キリストのあふれる憐れみと愛によって人に授けられる、さまざまな形の天からの助けと能力を意味します。恵みは、わたしたちが悔い改め、自分独りでは育めない属性を育める「能力を授ける力」です（『聖句ガイド』「恵み」参照）。わたしたちが育むべきキリストのような属性について生徒が認識できるよう、モーサヤ3：19にあるような、聖徒になるためにわたしたちを導く資質のリストを確認してもらいます。

- モーサヤ3：19に挙げられた属性の一つを育むために、救い主はあなたをこれまでどのように助けてくださったのでしょうか。
- あなたがこれまで見てきた中で、これらの属性を持つ人は、その家族の中でどのような祝福となっているのでしょうか。
- より良い夫や妻、父または母になるために、救い主の恵みという能力を授ける力によってこれらの属性をどのように育めるのでしょうか。

今日のレッスンの結果として、わたしたち一人一人に答えるべき重要な質問が残されていることを生徒に説明します。デビッド・A・ベドナー長老の次の話を見せて、生徒に黙読するように言います。



「現世の試しにはどのような特性があるでしょうか。それはまさに次の問いに要約されます。自分は生まれながらの人の傾向に従うのか、それとも聖霊の導きに従って生まれながらの人を捨て、主イエス・キリストの贖いによって聖徒になるのかという問いです（モーサヤ3：19参照）。これは試しです。」（「わたしたちは純潔を信じる」 42）

生徒に数分間時間を与え、ベドナー長老の質問に対する答えを書いてもらいます。生徒に、モーサヤ3：19に記されたキリストのような属性について深く考え、より完全にそれらの属性の一つを育み始めるための計画を立ててもらいます。

生徒の読書課題

- 2ニーファイ2：27-29；モーサヤ3：19；16：3-6；モーセ6：49, 53-55；アブラハム3：25
- デビッド・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 40-47

第6課

家族は天父の計画の中心を成す

はじめに

現代の預言者と使徒は次のように宣言しました。「家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すもので〔す〕。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）

このレッスンは、「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わ〔る〕」（教義と聖約93：50）ことによって、生活の中でさらに家族を中心とすることができることを生徒が理解する助けとなるでしょう。

背景となる読み物

- ロバート・D・ヘイルズ「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号, 72–75
- デビッド・A・ベドナー「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号, 17–20
- 『手引き 第2部—教会の管理運営』1.1.1, 1.1.4, および1.4.1（入手可能である場合）

教えるための提案

家族は天父の計画の中心を成す

最近の総大会で述べられた全ての話題において、最も頻繁に語られたのが家族についてであることをクラスに伝えます。

- なぜ教会指導者はそれほど頻繁に家族について話すと思いますか。

ホワイトボードに家族の宣言から次の真理を書き、生徒にそれが自分にとって何を意味するのか分かち合うように言います。

「家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものです。」



なぜ家族がわたしたちの永遠の行く末の中心を成すものであるのか、生徒がもっとよく理解する助けとして、このレッスンの最後にある配布資料のコピーを配ります。クラスを小さなグループに分けます。配布資料の3つの部分の一つを読むよう各グループに割り当て、そこにある質問について話し合ってもらいます。必ず全ての部分が割り当てられるようにします。

十分な時間を取った後、配布資料の各部分に割り当てられた少なくとも一人の人に、自分のグループで話し合った概要をクラス全体に分かち合ってもらいます。次の真理について証します。家族は、前世、現世、永遠の命に対する神の計画の中心である。

- あなたはどのような経験を通して、家族は天父の計画の中心として重要であると感じましたか。

教義と聖約93：39－50

家族を優先する

教義と聖約93章から学ぶ準備として、この章では、とりわけ、「光と真理」の中で子供たちを育て、家族を優先することの重要性についての主の指示が記録されていることを生徒に説明します。ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。

教義と聖約93：39－43

教義と聖約93：44

教義と聖約93：45－48

教義と聖約93：50

生徒に少なくとも一つの参照聖句を読むように言います（各々の参照聖句が少なくとも一人の生徒に読まれるようにします）。生徒に、主は誰に向けて語られ、どのような指示を与えておられるのか見つけてもらいます。十分に時間を与えた後で、生徒たちが学んだことを発表してもらいます。ここで主が語られた4人は教会の大管長会とオハイオのビショップであったことを生徒が認識できるようにします。したがって、これらの聖句は指導的立場にある会員を含む全ての教会員に対して、家族を優先するよう促しています。生徒に、これらの節に見られる反復またはパターンに印をつけるよう提案してもよいでしょう。すなわち、教会員は家族を「整える」必要があります（43, 44, 50節参照）。

- 42, 48, 50節によれば、家族を整える助けをするためにどのようなことができるでしょうか。（生徒は次のことを見つけるはずで、子供たちに光と真理を教え、悔い改め、不義な事柄を捨て、家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わり、常に祈るようにさせるべきである。）

ホワイトボードに次の原則を書きます。家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わるなら、家族を整えるという主の戒めに従う助けとなる。

- ヤングアダルトが家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わるために、何ができるでしょうか。

1999年の大管長会の手紙の次の言葉を見せて、一人の生徒に読んでもらいます。

「家庭は義にかなった生活の基であり、他のどのような手段も、家庭に代わる役割を果たし得ませんし、神から与えられたこの責任を遂行するうえでの大切な役割を果たしてはくれません。

わたしたちは親の皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようお勧めします。必要とされるその他

の事柄や活動がどれほど価値のある適切なものであったとしても、それらは、親と家族だけが全うできる天与の義務に取って代えられるものでは決してありません。」（大管長会の手紙、1999年2月11日付、『手引き 第2部—教会の管理運営』1.4.1で引用）

- あなたの経験では、家族によって最もよく果たされる「大切な役割」や「天与の義務」は何でしょうか。

次の言葉を見せ、家族の各人が天与の家族の義務を果たすようにするときにもたらされる祝福について考えるよう、生徒に勧めます。

「教会員はどこに住んでいるかにかかわらず、御霊のある家庭を築くべきである。

.....

愛にあふれた誠実な親のいる家庭は、子供の霊的、物質的必要を最も有効に満たす環境となる。キリストを中心とする家庭は、大人にも子供にも罪から身を守る場所となり、世からの避け所であり、感情などの痛みを癒やす場、献身的で偽りのない愛のある場となる。」（『手引き2—教会の管理運営』1.4.1）

- 自分の家族の中でキリストを中心とした家族を築くために、あなたはどのように助けていますか。
- それは家族にどのような違いを生み出すでしょうか。

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の話を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「家庭の外で行う全てのことを、家庭の中で起こるものの後に置き、家庭を支えるものとしてください。ハロルド・B・リー大管長の次の言葉を忘れないようにしましょう。『あなたが行う最も大切な.....業は、あなた自身の家庭という囲いの中にある。』.....また、いつの時代も色あせない、デビッド・O・マッケイ大管長の次の言葉も同様です。『いかなる成功も家庭における失敗を償うことはできない。』」（「道に迷った者が見つかるように」『リアホナ』2012年5月号, 99）

生徒に時間を与え、家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わり、家族をさらに生活の中心とするためにできる事柄を幾つか書き留めてもらいます。書き留めたアイデアの一つをやり通す目標を立てるよう、生徒を励まします。生徒が目標に基づいて行動するとき、主は彼らを霊的に強め、その行動がどのように家族をも強めるのか理解できるようにしてくださることを証します。

生徒の読書課題

- 教義と聖約93：39－50
- ロバート・D・ヘイルズ「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号, 72－75

わたしたちの前世, 現世, 永遠の家族

わたしたちの前世の家族

「家族は神によって定められたものである。家族はこの世と永遠にわたって最も大切な単位である。わたしたちは地上に生まれる前においても一つの家族の一員であった。わたしたちは皆、『神の属性と神聖な行く末』を持つ『天の両親から愛されている霊の息子, 娘』である〔「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129〕。神はわたしたちの天の御父であられ、わたしたちは前世で神の家族の一員として神の前で生活していた。わたしたちはそこで最初の教えを学び、死すべき世のために備えられた(教義と聖約 138:56参照)。)(『手引き 第2部—教会の管理運営』1.1.1)



「わたしたちは宇宙を創造された偉大なる神を礼拝します。神は天におられるわたしたちの御父です。わたしたちは神によって存在するようになりました。わたしたちは神の霊の子供です。わたしたちは前世において家族関係の中でともに住んでいました。わたしたちは、この世の自分の父親を知っているのと同じくらい、身近に、親しく、神を知っているのです。」(ブルース・R・マッコンキー, How to Worship, Brigham Young University Speeches of the Year [1971年7月20日], 2)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの前世の中心となる部分だったのでしょうか。
- そのことは、神が自分の父親であることや、前世において自分は神の家族の中で神に愛されていたことを知るのにどのような助けとなるのでしょうか。
- 天の両親とあなたの交流はどのようなものだと想像しますか。

わたしたちの現世の家族

「天の御父の計画に基づき、わたしたちは家族のもとに生まれました。天の御父は、わたしたちに幸福をもたらし、愛にあふれる環境の中で正しい原則を学ぶのを助け、永遠の命に備えさせるために家族を定められた。

親には、子供が天の御父のもとに帰る準備をするのを助けるという大切な責任がある。イエス・キリストに従い、主の福音に沿って生活するよう子供に教えることによって、親はこの責任を果たす。)(『手引き 第2部—教会の管理運営』1.1.4)



「神は家族の造り手です。最大の幸せ、一番の充足感、最も深い喜びは、父親、母親、子供として互いに気遣い、ともに生活する中から生じるように計画されました。」(ゴードン・B・ヒンクレー『「神が合わせられたもの」』『聖徒の道』1991年7月号, 75)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの現世の中心となる部分なのでしょうか。
- 父親、母親、きょうだい、先祖、子孫などの家族関係がまったくなく個々に皆が地上に送られたとしたら、地上での生活はどのように変わってくるのでしょうか。
- 現世における家族の役割や重要性を理解するために、どのような経験が助けとなりましたか。

わたしたちの永遠の家族

「神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました(「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129)。」



「個人の救いは一人一人の従順さにかかっていますが、同じように大切なのは、誰もがなくてはならない家族の一員であり、最高の祝福は永遠の家族の中でしか受けられない、という点を理解することです。家族が神の意図されたとおりに機能するなら、そこに見いだされる関係はこの世で最も大切なものとなるでしょう。御父の計画では、家族の愛と親しい交わりは永遠に続きます。しかし家族の一員であるということには、世話をし、愛情を注ぎ、家族同士で励まし合い、力づけるという大きな責任が伴います。家族全員が義にかなった状態で現世を最後まで堪え忍び、永遠にわたってともに住めるようにするためです。自分自身を救うだけでは十分ではありません。親、兄弟、姉妹が家族の中で救われることも、同じように大切なのです。天

父のみもとに独りで戻るなら、こう尋ねられるでしょう。『あなたの家族はどこにいますか。』家族が永遠であると教えているのはこのためです。個人の存在が永遠であるために家族の存在も永遠です。」(ロバート・D・ヘイルズ「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号, 73-74)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの永遠の行く末の中心となる部分なのでしょう。
- 自分以外の家族に救いをもたらすために、家族が行える義になつた行いにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 最後まで堪え忍べるよう靈感を与える方法で、家族があなたを高めたり強めたりしてくれたのはどのようなときでしたか。



第7課

男女の間の結婚は神によって定められたものである

はじめに

天の御父は、エデンの園でアダムとエバに神聖な結婚の規範を確立されました。今日、大管長会と十二使徒定員会は、この規範を確認し、次のように述べています。「男女の間の結婚は神によって定められ

たものであ〔る。〕」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）人の法律がこの定義を変更しようとするかもしれませんが、神の律法は永遠に変わりません。

背景となる読み物

- D・トッド・クリストファーソン「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号, 50–53
- ダリン・H・オクス「ほかに何ものを神としてはならない」『リアホナ』2013年11月号, 72–75
- シェリー・L・デュー「人が独りでいるのは良くない」『リアホナ』2002年1月号, 13–15
- “The Divine Institution of Marriage,” mormonnewsroom.org/article/the-divine-institution-of-marriage（英語）
- 福音のテーマ“Same-Sex Marriage,” lds.org/topics（英語）

教えるための提案

教義と聖約49：15–17；モーセ3：21–24

男女の間の結婚は神によって定められたものである

ホワイトボードに次の教義を書きます。「男女の間の結婚は神によって定められたものであ〔る。〕」。生徒に、この文の中の定めるという言葉の意味は何かと尋ねます。（次の答えが考えられます。至高の徳により統制する、命ずる、指定すること。）この定義はホワイトボード上の教義の意味を理解するためにどのように役立つかを生徒に尋ねます。生徒たちに、教義と聖約49：15–17を黙読し、この教義が聖典ではどのように言い換えられているのか見つけてもらいます。

一人の生徒にモーセ3：21–24を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには、これらの節で述べられている救いの計画における重要な段階を見つけてもらいます。（生徒が答える際に、アダムのあばら骨に関する記述は象徴であり、神が実際にアダムからあばら骨を取ったわけではないことを説明します。結び合うという言葉の定義をそれぞれの聖典の余白に次のように書くよう生徒

に提案してもよいでしょう。「親密で、持続的で、揺るぎない一致を生み出す。」)

- 神は、このようにエバの肉体的な創造を説明することによって、わたしたちに何をお教えになりたかったのだと思いますか。(十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は次のように教えています。「伴侶だという意味から体の脇のところにあるあばら骨が選ばれたのでしょうか。このあばら骨は支配を意味するのでもなければ、服従を意味するものでもありません。ともに手を取り合って働き生活するというパートナーとしての関係を示したもののなのです。」〔「イブからの教訓」『聖徒の道』1988年1月号, 94〕)
- モーセ3：24から何を学べるでしょうか。(十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、次のように述べています。神は「〔アダムとエバ〕を一つに合わせて夫婦と〔されました。〕……わたしたちの誰であっても、この神聖な婚姻関係という秩序に変更を加えることはできません。人が発明したものではないのです。」〔「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号, 52〕)

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。生徒たちに、神が男女の間でのみ結婚ができるよう定められている理由に関する洞察を見つけてもらいます。



「地球が創造された後、アダムはエデンの園に置られました。しかし、重要なことに、神は『人が独りでいるのは良くない』と言われました(モーセ3：18。創世2：18も参照)。そしてエバがアダムの妻となり助け手となりました。幸福の計画を実行するには、男性と女性の霊と肉体、精神と情動の独特な結合が必要だったのです。『主にあつては、男なしには女はないし、女なしには男はない』のです(1コリント11：11)。男性と女性は互いに学び、強め、祝福し、補うのです。」(「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年, 5月号, 41)

- 天父の幸福の計画についての理解に基づくと、なぜ男女の間の結婚が神によって定められているのでしょうか。

モーセ3：18；5：1-5, 12, 16

夫と妻は対等のパートナーである

- 衣料品のようなものを作るとき、型紙(パターン)に従うことにはどのような価値があるのでしょうか。
- 結婚の理想的な規範(パターン)について研究することにはどれほどの価値があるのでしょうか。

アダムとエバの結婚は、結婚がどうあるべきかという主の規範を示していることを説明します。一人の生徒に、モーセ3：18を声に出して読んでもらいます。

- 「助け手」(help meet)という用語をどのように理解していますか。
(“Help”は、ヘブライ語の二つの語根の組み合わせから翻訳されており、

一つは救出または救うという意味、もう一つは強くあれという意味です。“Meet”は、適切で等しいという意味を示唆するヘブライ語の言葉から翻訳されています。したがって、「助け手」(help meet)というのは、救うための力を持つ適切で等しい伴侶ということです。生徒たちがモーセ3：18の横にこの定義を書くように提案するとよいでしょう。ハワード・W・ハンター「義にかなう夫、父親」『聖徒の道』1995年1月号、57も参照してください。)

- この用語は、夫と妻に対してどのような関係を示唆しているでしょうか。(生徒の答えの要約として、ホワイトボードに以下の教義を書きます。天父は夫と妻は対等のパートナーでなければならないと定められた。)
- 夫と妻にとって、対等のパートナーでなければならないとはどのような意味だと思いますか。

一つのグループが3~4人になるよう、クラスをグループに分けます。生徒にモーセ5：1-5, 12, 16に素早く目を通し、アダムとエバが対等のパートナーとして働いた方法を見つけ、見つけた事柄をグループ内で話し合うように言います。

エズラ・タフト・ベンソン大管長(1899-1994年)と元中央扶助協会会長会顧問のシェリー・L・デュー姉妹の次の言葉を見せます。一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「この靈感あふれる記録〔モーセ5：1-2, 4, 12, 16〕から、アダムとエバは聖約に基づく結婚関係の理想的な模範を示してくれたのだということが分かります。二人はともに働き、ともに子供を産み育て、ともに祈り、そしてともに、子供に福音を教えました。これは神が全ての義にかなった男女に倣ってほしいと願っておられる規範です。」(『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』170)



「聖文にあるアダムとエバの話について深く考え、皆さん自身が結婚して家族を持つときに強くなれるように主が何を教えてくださるかを理解してください。……天の御父の規範はわたしたちを欺瞞から守ってくれます。この世のものでなく主に頼って、男女に関する考えや理想を見つけてください。」(シェリー・L・デュー「人が独りでいるのは良くない」『リアホナ』2002年1月号、15)

- 夫と妻が対等のパートナーとして働いているのをどのようなときに見ましたか。
- 結婚の神聖な規範について理解することは、あなたの将来にどのような影響を与えますか。

生徒に数分間時間を与え、次の二つのリストを作ってもらいます。(1) 今自分が持っている態度の中で、神によって定められた結婚に至る助けとなるもの、(2) 今自分が持っている態度の中で、その目標に近づくために修正する必要

があると思われるもの。主は努力に応じて祝福してくださるという確信を述べます。

モルモン9：9

同性結婚についての主の教え

(注—この問題について異なる意見を述べる生徒に思いやりをもってください。クラスでの話し合いは教会の中央幹部の言葉に焦点を置いてください。)

- 神によって定められた結婚の規範に反する行動を政府が合法化する法律を通過させるとき、神の規範はどのような影響を受けるでしょうか。(生徒が答える際に、モルモン9：9を使い、神と神の律法は変わらないことを示します。神の変わらないという性質は、神に対する信頼と信仰を持つ助けとなります。)

大管長会および十二使徒定員会の次の言葉のコピーを生徒に配り、教会指導者が同性結婚について話す理由を見つけてもらいます。

「多くの国における法的手続きや法的措置は、同性結婚を社会的に認めるものとなってきており、また同性結婚の問題が広く議論され続けています。現代のこのような問題に直面するとき、地球を創造し、わたしたちを死すべき人間としてこの地上に誕生させ、神の子供として地上で経験をさせるという天の御父の目的を忘れないように、わたしたちは皆さんにお勧めします〔創世1：27–28；2：24参照〕。……男女の間の結婚は神によって定められたものであり、神の子供たちと社会の福利のために主の計画の中心を成すものです。愛にあふれた父親や母親に導かれる堅固な家族は子供を養い、信仰を植え付け、現代社会や永遠の救いにとってきわめて重要な道徳的強さと価値観を未来の世代に伝える基本的な制度です。

世の中の法律が変わっても、神が定められた道徳の律法は決して変えることはできません。反対の考え方や世の風潮とは関係なく、神はわたしたちが主の戒めを支持し、守ることを期待しておられます。神の純潔の律法は明らかです。性的な関係は、法律と律法に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。」(福音のテーマ “Same-Sex Marriage,” lds.org/topics [英語])

- 神の計画と教義を理解することは、男女の間の結婚の重要性を認識するのにどのような助けとなるでしょうか。

次の言葉を各生徒に配ります。これは教会によって公開された「結婚という神聖な制度」というタイトルの文書からの引用です。生徒に、男女の間の結婚の定義が法律や政策によって守られるべき理由を見つけてもらいます。

「結婚は、二人の愛情を深め、相互に義務を与えるための個人間の契約以上のものです。むしろ、結婚は子供を養育し、責任ある大人になるよう教えるための重要な制度です。あらゆる時代を通じて、いかなる政府も結婚を社会の安定を維持し、生命を存続させることにおいて不可欠なものであると認識してきました。結婚が宗教的な儀式か市民的な儀礼として行われているかどうかにかかわらず、ほぼ全ての文化において、結婚は子供たちを養育し、文明を補強する道徳的価値観を教えることにおいて最も中心的な制度を維持し、促進するために、主として政府によって保護され、承認されています。……

結婚、出産、性別、子育ての間に長きにわたり存在していた密接なつながりという観点から、同性結婚を新しく付与される『権利』として単純にみなすことはできません。それは結婚そのものの性質に対する広範囲に及ぶ再定義です。それは、神の子供たちに対する神の目的に反し、社会の長期的な利益に対して弊害をもたらすという点で、結婚制度の根本的な変化を示すものです。」（“The Divine Institution of Marriage,” mormonnewsroom.org/article/the-divine-institution-of-marriage [英語]）

- 社会が男女の間の結婚を伝統的に承認し、保護している理由は何でしょうか。
- この重要な問題における教会の立場の真実性を、どうすれば人は認識できるようになるのでしょうか。

教会指導者によって教えられている結婚についての神の教えと自分の意見を比べ、深く考えるよう生徒を促します。結婚という神による規範を信じ支持することが永遠の祝福をもたらすというあなたの証を分かち合います。

生徒の読書課題

- モルモン9：9；教義と聖約49：15–17；モーセ3：18–25；5：1–16
- “The Divine Institution of Marriage,” mormonnewsroom.org/article/the-divine-institution-of-marriage（英語）

第8課

性別と永遠の状態

はじめに

わたしたちの性別は、わたしたちが現世に生まれる前に定められたものであり、わたしたちの永遠の状態に必須の特性です。教会指導者は、同性に引かれることと同性愛的な行動を区別しています。前者は罪深くはありませんが、後者は昇栄のための天父の

計画に反するため、罪深いとみなされます。このレッスンは、生徒がこの区別に対する預言者の基準を理解し、さらに全ての神の子供たちは等しく愛され、愛と礼節によって扱われるに値することが分るように助けます。

背景となる読み物

- ロバート・D・ヘイルズ「救いの計画—わたしたちを導く神聖な知識の宝」『リアホナ』2015年10月号, 32–39
- ジェフリー・R・ホランド「同性に引かれる問題に苦しむ人々を助ける」『リアホナ』2007年10月号, 42–45
- ダリン・H・オークス「同性への誘惑」『聖徒の道』1996年3月号, 14–25
- 福音のテーマ「同性に引かれる性質」, [lds.org/topics](https://www.lds.org/topics)
- “Love One Another: A Discussion on Same-Sex Attraction,” mormonsandgays.org (英語) 生徒が同性愛に関する教会の方針についての質問を提起した場合、この公式の教会のウェブサイト参照させてください。

教えるための提案

教義と聖約76：24；モーセ2：27；「家族—世界への宣言」

性別はわたしたちの永遠の状態に必須のものである

3人の生徒に、教義と聖約76：24；モーセ2：27；および「家族—世界への宣言」の第2段落を声に出して読んでもらいます（『リアホナ』2010年11月号, 129）。生徒たちに、これら3つの資料では性別について何と教えているか考えてもらいます。

- これらの資料がわたしたちの永遠の状態について教えていることを、あなたなどのように要約するでしょうか。（生徒は次の内容を見つけるでしょう。性別は、その永遠の状態や目的において、不可欠な特徴である。）
- 性別はわたしたちが地上に生まれるずっと前から存在していたことを理解することは、なぜ役立つのでしょうか。（生徒が答える際に、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 [1876–1972年] の次の話を分かち合ってもよいでしょう。「創世記には、次のように記されています。……『神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。』〔創世1：27；強調付加〕女性の霊は「天の母」の形に創造されたと信じるのがふさわしいのではないのでしょうか。」〔Answers to Gospel Questions, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編, 全5巻（1957–1966年）, 第3巻, 144〕）

- 性別という永遠の性質を理解することは、社会が行動について非常に異なる基準を黙認するような場合であっても、わたしたちが天の御父の幸福の計画と調和して生活するのにどのように役立つでしょうか。

上記の質問に焦点を当てる助けとして、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が述べた次の言葉を紹介します。各段落を個別に読み、同性愛の行動は神の子供たちの昇栄のための天の御父の計画にどのように反しているかについて教えている事柄を話し合うとよいでしょう。



「この世の人生の目的であり、末日聖徒イエス・キリスト教会の目的を成すのは、神の息子、娘をその行く末のために備えさせること、すなわち天の御父と似た者となるように備えをさせることです。

わたしたちの永遠の行く末は日の栄えの王国での昇栄ですが、それはイエス・キリストの贖罪を通じてのみ可能になります。（わたしたちは贖罪を通してのみ『神の前に罪のない者』〔教義と聖約93：38〕となり、その状態を保持することができます。）そして、実際に昇栄にあずかれるのは、神の宮である神殿で永遠の結婚の聖約を交わし、しかもその聖約に忠実であった人だけです（教義と聖約131：1-4；132章）。……

サタンは『すべての人が自分のように惨めになる』ことを望んでいるので、神の子のための計画を妨害する選択や行動へと人々を執拗に誘惑します（2ニーファイ2：27）。そして、個人が自らの行動に責任を持たなければならないという原則をゆがめ、生殖という神聖な力を乱用するように誘惑し、ふさわしい男女が結婚して子供をもうけることを思いとどまらせ、男性であり女性であることの意味を混乱させようと躍起になっています。」（「同性への誘惑」『聖徒の道』1996年3月号、15参照）

教義と聖約59：6

教会は、同性に引かれることと同性愛的な行動を区別している

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が語った次の言葉を各生徒に配ります。生徒に、この言葉を研究し、同性の人々に引かれる人々について、またそのような人々に対して愛をもって対応する方法について教えている原則を見つけてもらいます。



「さわやかな印象の20歳過ぎの青年がわたしの前に座りました。人を引きつけるほほえみを持っています。しかし、二人で話している間はあまりほほえみませんでした。わたしの目に留まったのは、彼の瞳が映す心痛の影でした。

彼はこのように語りました。『教会にとどまるべきかどうか分からないのです。自分がふさわしいとは思えません。』

わたしは尋ねました。『どうしてふさわしくないと思うのですか。』

『同性愛者だからです。』

彼はわたしが驚くだろうと思ったようでした。しかし、わたしは驚きませんでした。そして、重ねて尋ねました。『それで？』

わたしの変わらない思いやりの気持ちを感じ取った彼は少し安堵した様子でした。『女性に魅力を感じないのです。魅力を感じるのは男性です。こんな気持ちを無視しよう、変えようと努力もしました。でも、……』

彼はため息をつきました。『わたしはどうしてこうなったのでしょうか。この気持ちは思い違いではなくまさに現実なのです。』

少し間を置いて、わたしはこう言いました。『助言をする前に、もう少し聞きたいことがあります。お分かりのように、同性に引かれること自体が罪なのではなく、その感情を行動に移すことが罪なのです。これは異性に対して抱く気持ちと一緒に。あなたは純潔の律法を破っていますか。』

彼は首を横に振りしました。『いいえ、破っていません。』

それを聞いてわたしはほっとしました。そしてこう言いました。『この問題に向き合おうとしてくれてありがとうございます。話すには、さぞや勇気が要ったことでしょう。また、あなたが自分を清く保っていることに敬意を表します。』

しかし、なぜそのような気持ちになるのかという質問にはお答えできません。幾つもの要素が絡んでいるかもしれませんし、人の性格が十人十色であるように要素もさまざまだからです。あなたの気持ちの原因も含め、この世にいる間には答えが得られない事柄があります。しかし、原因を知ること以上に大切なのは、教えに背いていないことを知ることです。あなたの生活が戒めに沿ったものであれば、あなたはふさわしく、教会で奉仕し、他の会員と同じように会員としての権利を全て得て、神殿に参入し、救い主の贖いがもたらす全ての祝福を受けることができます。』

青年は少し背筋を伸ばしました。わたしは続けて言いました。『同性に引かれるか異性に引かれるかに基づいて自分はどういう人間かを決めつけてしまうのは、決して得策ではありません。それだけがあなたを形作る特質ではないのですから、必要以上に目を向けるのをやめましょう。あなたは何よりもまず神の息子であって、神はあなたを愛しておられるのです。』」（「同性に引かれる問題に苦しむ人々を助ける」『リアホナ』2007年10月号、40-41）

- ホランド長老の勧告の中に、どのような原則を見つけられるでしょうか。

生徒が答えを発表する際に、ホワイトボードに次の原則を書き、それらについて慎重に話し合ってもらいます。

- **神の息子、娘であるという自分の身元に焦点を当てるとき、神の愛を感じることができる。**
- **同性の人々に引かれること自体は純潔の律法を破っていることにはならず、その感情を行動に移すことが罪になる。**教義と聖約59：6を分かち合うとよいでしょう。「あなたは……姦淫をしてはならない。……これに類することをしてはならない。」「これに類すること」とは結婚というきずなを超えたあらゆる性的な親密さを指していることを指摘します。結婚関係以外の異性との関係が罪深いものであると同様、同性愛的な行動は罪です。いかなる種類の性的な罪を犯した人でも、悔い改めを通して赦され得るのです。
- **同性の人々に引かれる理由にかかわらず、全ての人々が神の戒めと調和した生活を選ぶことができる。**十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が語った次の言葉を強調します。「わたしたちはこの主題について理解していないことが多くあるので、神が明らかにされた言葉によって知っている事柄

からそれないようにするのが賢明でしょう。わたしたちが知っていることは、性的活動は結婚している男性と女性の間でのみ行うべきであるという教会の教義は、変更されたこともなければ変更されることもないということです。」（“What Needs to Change,” mormonsandgays.org [英語]）

- 神の戒めと調和した生活をするとき、わたしたちは教会員としての全ての特権と救い主の贖いの祝福を享受することができる。同性の人々に引かれることを選ぶことはできない場合でも、その魅力に対応する方法は選ぶことができます。

これらの原則をホワイトボードに書いてから、次のことを尋ねます。

- これらの原則は、同性に引かれる経験を持つ人々にどのような点で希望を与えるでしょうか。
- ホランド長老の言葉の中から、他にはどのような原則を学べるでしょうか。

マタイ7：12；ヨハネ8：1-11；15：12

わたしたちは愛と尊敬をもって人々を扱う必要がある

（注—レッスンのこの部分を教える際、同性に引かれながらもそのような行動はしていない人々は、姦淫の罪で捕らえられた女のように罪深くはないということ必ず強調します。しかし、その女に対する主の行動は、不道德な行いをしているか否かにかかわらず、全ての人々を扱う際の模範となるものです。）

救い主が非常に微妙な状況に直面したときのことを使徒ヨハネが記録していることを生徒に伝えます。生徒たちにヨハネ8：1-11を研究する時間を少し与え、救い主が姦淫の罪で捕らえられた女をどのように扱ったのか見つけてもらいます。同性愛やその他の不道德な行為にふける人々に対する自分の態度や行動をこの話にたとえられるよう、生徒に次の質問をします。

- 救い主の行動は、わたしたちが他の人々を扱う方法について何を教えているでしょうか。（主はその女の罪を見逃されはしなかったが、残酷にではなく、優しさと尊敬をもって女を扱われた。）
- 不道德な行為を行ったかどうかに関わりなく、同性に引かれる兄弟姉妹に対するわたしたち自身の態度や行動に、どのように救い主の模範を当てはめることができるでしょうか。生徒が答えている間に、ホワイトボードに以下の原則を書きます。わたしたちが全ての神の子供たちに対して共感し、思いやりと優しさをもって扱うとき、わたしたちは救い主の模範に従っている。（マタイ7：12；ヨハネ15：12も参照。）

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に読み上げてもらうとよいでしょう。



「主は明らかにその女の罪を正当化しませんでした。主は単に彼女を罰しないとだけ言われたからです。これはすなわち、主はそのとき、彼女に最後の審判を下されたのではありません。この解釈は、その後、主がパリサイ人たちに言われたことによって確認されます。『あなたがたは肉によって人をさばくが、わたしはだれもさばかない。』（ヨハネ8：15）姦淫の罪で捕らえられた女は、彼女に石を投げることを望んだ人々には拒否された時間、すなわち、悔い改める時間を与えられました。」（“‘Judge Not’ and Judging,” Ensign, 1999年8月号, 8）

生徒は以下を学習することにより恩恵を受ける可能性があります。ヨハネ8：11のジョセフ・スミス訳によれば、彼女は救い主とのやり取りの後、「その女はそのときから、神をほめたたえ、主の名を信じた。」

十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老の次の話を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「教会としては、誰もが愛と思いやりを持っています。わたしたちが愛と、思いやりと、手を差し伸べることに最前線に立ちましよう。家族をないがしろにしたり、自分の性別についての感情の結果として、異なるライフスタイルを選択する人々の失礼になったりするわけにはいきません。」（“Love One Another: A Discussion on Same-Sex Attraction,” mormonsandgays.org [英語]）

生徒に、同性に引かれる人々に対する自分の態度や行動を吟味してもらいます。そのような態度や行動は主の教えや模範に調和しているのでしょうか。

- あなたが同性に引かれる人々について軽蔑するようなコメントがなされるグループにいた場合、どうしますか。

同性に引かれる兄弟姉妹に対しさらに愛と優しさを示すなら、生活は変わり、家族は癒やされ、教会で避けられていると感じている人々が教会員によってさらに歓迎されている気持ちを感じることができるようになることを証してください。イエス・キリストの贖いの祝福は、戒めを守ろうとし、福音の聖約に忠実であり続ける全ての人々に及ぶことを生徒に思い出させます。

生徒に、自分が知っている同性に引かれる人々について考え、主の純潔の律法を守りながら、それらの人々にさらに思いやりを示すために何ができるか深く考えてもらいます。

生徒の読書課題

- マタイ7：12；ヨハネ8：1-11；15：12；教義と聖約76：24；モーセ2：27；「家族—世界への宣言」の第2段落『リアホナ』2010年11月号, 129
- ジェフリー・R・ホランド「同性に引かれる問題に苦しむ人々を助ける」『リアホナ』2007年10月号, 40-43

第9課

男性の神聖な役割と責任

はじめに

神の幸福の計画の重要な部分として、天父は男性に夫、そして父親となるよう任じられました。このレッスンは男性の責任に焦点を当てています。「神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管

理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）

背景となる読み物

- リチャード・G・スコット「結婚がもたらす永遠の祝福」『リアホナ』2011年5月号, 94–97
- D・トッド・クリストファーソン「真の男になる」『リアホナ』2006年11月号, 46–48
- リンダ・K・バートン「ともに高め合いましょう」『リアホナ』2015年5月号, 29–32
- ハワード・W・ハンター「義にかなう夫、父親」『聖徒の道』1995年1月号, 57–59)
- 第15章「父親・母親という神聖な召し」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』, 177–187,

教えるための提案

エペソ5：25

男性は結婚し、妻を大切にしないといけない

次の質問をしてレッスンを始めます。

- どのような男性があなたの人生に影響を与えてきたでしょうか。なぜ彼らはあなたにそのような影響を与えたのでしょうか。

このレッスンでは、神によって任じられた男性の役割について話し合うことを説明します。男性にとって、夫や父親としての役割以上に大切な役割はありません。これらの役割を、義をもって果たすようにする男性は、天父にさらに似た者となります。

一人の生徒に、エペソ5：25を声に出して読んでもらいます。

- この聖句から夫が取るべき行動について、どのような原則を学びますか。（生徒は異なった言葉を使うかもしれませんが、次の原則を見つけるはずです。夫は、イエス・キリストが教会を愛したように、妻を愛さなくてはならない。）

- イエス・キリストが示した教会に対する主の愛にはどのようなものがあるでしょうか。
- 妻に接する態度において、夫はどのような点でイエス・キリストに倣うことができるでしょうか。

スペンサー・W・キンボール大管長（1895–1985年）の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「キリストは教会と教会の人々を非常に愛されました。主は自発的に彼らのために迫害に耐えられ、彼らのために屈辱的な侮辱を受けられ、彼らのために苦痛や身体的虐待に平然と耐えられ、最後には彼らのためにその貴重な命を与えられたほどです。

夫がそのように自分の家族を扱う準備ができたなら、妻だけでなく家族全員が夫のリーダーシップに応じることでしょう。」（“Home, the Place to Save Society,” Ensign, 1975年1月号, 5）

- キンボール大管長の言葉について考えるとき、どのような思いを持ちますか。
- 現代の父親はどのような方法で家族のために犠牲を払うのでしょうか。

天の御父は男性が義にかなった夫であることに努めるよう願っておられることを証してください。

エペソ5：23；教義と聖約121：36–46

父親は義にかなって管理しなければならない

生徒に「家族—世界への宣言」の第7段落を調べ、天父が父親に期待しておられる事柄について学ぶように言います。

- 管理するとはどういう意味でしょうか。（他の人々に導きや指示を与えること。）
- 「神の計画により」という言葉を覚えておくことは、神が父親に与えられた責任を男性が果たすのにどのような助けとなるでしょうか。

父親が家庭で管理する方法を生徒が一層理解できるよう、一人の生徒にエペソ5：23を声に出して読むように言います。その後、別の生徒に、エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）の次の言葉を読んでもらいます。



「使徒パウロは次のように指摘しています。『キリストが教会のかしらで……あられるように夫は妻のかしらである。』（エペソ5：23, 強調付加）このような人こそ、わたしたちが家庭を管理する場合に模範とすべき父親です。救い主は教会を指導する際に、過酷で無慈悲な方法を取られたことは一度もありませんでした。教会に対して無礼であったり、怠慢であったりされたこともありません。また、その御心を果たすために威圧的な方法を取られたこともありません。救い主はいつも、啓発し、高め、慰めを与えるという方法を取ってこられました。……救い主

は、わたしたちが家族を霊的な面において指導する際に模範とすべき御方です。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』181）

- 使徒パウロとベンソン大管長が教えている原則を、あなたならどのように述べますか。（生徒は次のような原則を述べるでしょう。男性が家庭でふさわしく神権を行使するなら、彼は妻と子供たちに義にかなった影響を与えることができる。さらに、次の原則を生徒に紹介します。夫と父親の役割を、義をもって果たすようにする男性は、天父にさらに似た者となる。）

夫や父親が家庭で管理する方法をさらに説明するため、ハワード・W・ハンター大管長による次の言葉を分かち合うとよいでしょう。



「神の定めにより、家庭を管理する責任は神権者のうえに置かれています（モーセ4：22参照）。主は、妻が夫の助け手（訳注—英語では「helpmeet」で、meetは「対等」を意味する）、つまり対等で不可欠の、完全な協力者となるよう望んでいらっしゃいます。義にかなった管理をするには、夫婦間の責任分担が必要となります。家庭のもるもるの事柄に知恵を出し合い、協力して取り組むのです。これに反して、妻の気持ちや助言を無視するか、尊重せずに家庭を管理する男性は、正しからざる支配をしているのです。」（「義にかなう夫、父親」『聖徒の道』1995年1月号、58参照）

生徒に、教義と聖約121：36—46を開くように言います。生徒に、これらの節をエペソ5：23、25と相互参照するように提案します。（相互参照という聖文研究の技術を育むため、適切であればこのような参照情報を余白に書き加えるよう生徒に勧めます。）

生徒に数分間時間を与え、教義と聖約121：36—39を研究し、これらの節で説明されている指導者がどのような点でイエス・キリストが示された類の指導者に反しているのか考えてもらいます。

- 「神権の権利」という言葉には、どのような意味があると思いますか。（神権を受けた男性には、神が特定の権利と権能を付与されます。その男性は、義にかなって行動するときのみ、これらの権利を行使することができます。）
- 神権者が義にかなった生活をしなかったらどうなるでしょうか。（神はその人から天の力を退かせ、その人は神権の権能を行使できなくなる。聖霊は深く悲しむ。）

父親がどのように家族を導くべきか理解するため、何人かの生徒に教義と聖約121：41—46を順番に声に出して読んでもらいます。

- これらの節ではキリストのような属性についてどのようなことが説明されているのでしょうか。これらの属性を身につけた父親は、なぜ天の力を引き寄せることができると思いますか。

- これらのキリストのような属性は父親が家族を管理するのをどのように助けるでしょうか。（これらのキリストのような属性は女性も育むべきであることを明らかにするとよいでしょう。）
- 家族を導く方法において天の御父とイエス・キリストの模範に従うよう努めている男性の伴侶や子供であったらどう感じるかを説明してください。

1973年に十二使徒定員会によって記された次の声明を見せて分かち合います。

「父親は指導者です。それも最も大切な指導者です。過去においてもそうでしたし、将来もそうです。父親であるあなたは、永遠の伴侶から援助と助言と励ましを受けて家庭を管理します。ふさわしさの度合いや資格とは関係なく、神がそう定められたからそうするのはです。」（“Father, Consider Your Ways,” Ensign, 2002年6月号, 16）

- 姉妹の皆さん、若い男性が将来の家族の中でその神聖な役割と責任を尊んで大いなるものとするよう励ますために何ができるでしょうか。
- 各々が、すなわち、男性も女性も、将来の家族を導く備えをさらに良くするために、今、何ができるでしょうか。

マタイ2：13－16；1テモテ5：8；教義と聖約約75：28；83：2，4

父親は家族を扶養し、守らなければならない

生徒に、1テモテ5：8および教義と聖約75：28；83：2，4を読むように言い、父親のその他の重要な義務を見つけてもらいます。（生徒にこれらの聖文を相互参照するように勧めるとよいでしょう。）

- 主は父親が家族に生活必需品を提供するよう期待しておられるのはなぜだと思いますか。（生徒が答える際に、母子家庭では、母親が家族を扶養できることを指摘します。）
- まだ結婚していない若い男性に対して、これらの聖文はどのような意味を持つでしょうか。

一人の生徒に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910－2008年）による次の声明を読んでもらいます。



「教育を受けるために努力してください。受けることのできる訓練は全て受けてください。社会は、皆さんの力にふさわしい報いを与えてくれることでしょう。……自分の家族を養うことは、皆さんにとって何よりも大切な責任です。」（「いつか結婚する女性にふさわしく生活する」『聖徒の道』1998年7月号, 57）

若い男性と若い女性の両方が可能な限り多くの教育と職業訓練を受けるために、自分の生涯でこの時期をうまく用いることは、家族の将来の安全のために不可欠であることを生徒たちに強調します。

家族の宣言の中で、教会指導者は、父親は家族を扶養し、守らなければならないと教えています。

- 今日、家族を脅かす危険にはどのようなものがあるでしょうか。
- あなたはこれまでどのようなときに、義にかなった父親がどのように家族を守るのを見てきましたか。

ハワード・W・ハンター大管長の次の言葉を見せ、一人の生徒に読むように言います。



「義にかなう父親は子供たちの社交活動、教育、霊的な活動や責任のために時間を取り、一緒にいて彼らを守ります。」（「義にかなう夫、父親」『聖徒の道』1995年1月号、59）

- この勧告を将来の家族、あるいは現在の家族に対してどのように応用できるでしょうか。

生徒に、家族を強め、守るよう努める方法について考えてもらい、その後、思いついたことを記録するように言います。

幼いイエスの世話をしたヨセフの模範から重要な原則を学べることを説明します。一人の生徒に、マタイ2：13–16を読むように言い、ヨセフが幼子であるキリストをどのような危険から守ったかを見つけてもらいます。

自分の家族を守るために引越す必要はないにせよ、幾つかの重要な内容を分析することによって、これらの節に倣う、または自分自身に応用することができることを生徒に伝えます。

- 13節では、主はヨセフに何を伝えておられますか。
- ヨセフはいつ、どのようにこの警告に対応しましたか。
- 家族を守ることに、どのような点で父親はヨセフの模範に従うことができるでしょうか。（生徒が次の原則を理解していることを確認します。父親が主からの導きを求め、従うときに、家族をもっとよく守ることができる。）

男性と女性は主の計画を果たす必要がある

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老による次の話を見せて、生徒の一人に声に出して読んでもらいます。



「もしあなたが適齢期の若い男性で結婚していないとしたら、つまらない事柄を追い求めて時間を無駄にしてはなりません。前向きな姿勢で人生を歩み、結婚することに焦点を当ててください。この時期をただ流されるままに過ごさないでください。若い男性の皆さん、ふさわしくあって伝道の業を果たしてください。そして、ふさわしい永遠の伴侶を見つけることを最優先しましょう。……

結婚生活を通して、わがままになったり身勝手になったりする傾向を克服するための理想的な環境に身を置くことができます。若いうちに結婚するように勧められる理由の一つは、変えるのが難しい不適切な人格ができてしまわないようにするためであると思います。」（「結婚がもたらす永遠の祝福」『リアホナ』2011年5月号, 95, 96-97）

- 今日の世の中で、若い男性や若い女性が結婚を遅らせるために、どのような圧力があるのでしょうか。
- なぜ敵は、若い男性や若い女性が結婚や子供を産むことに至る可能性のある関係を追い求めることから、気をそらそうとするのでしょうか。
- なぜ教会指導者は一貫して若い男性に結婚に至る可能性のある関係を積極的に求めるよう勧告するのだと思いますか。

（注—この話し合いの間中、あなたのクラスの何人かの若い男性は、自分ではどうしようもない状況のために、決して結婚すること、または父親になることがないかもしれないという事実に関心を持ってください。）

レッスンを終えるに当たり、あなたの生徒の状況をよく考えます。義にかなった夫や父親になるために自分の義務を果たすため、男性の生徒に何をしようチャレンジすることができるのでしょうか。いつか自分の家族の利益になるよう、例えば、他の人に忍耐と愛を示すなど、特定のキリストのような徳を育むことに焦点を当てるよう全ての生徒に勧めることができます。

生徒の読書課題

- マタイ2：13-16；エペソ5：23, 25；1テモテ5：8；教義と聖約75：28；83：2, 4；121：36-46
- D・トッド・クリストファーソン「真の男になる」『リアホナ』2006年11月号, 46-48

第10課

女性の神聖な役割と責任

はじめに

神の幸福の計画の重要な部分として、天父は女性に妻、そして母親になるという神聖な役割を与えられました。「家族—世界への宣言」は、「母親には、子供を養い育てるという主要な責任があり」、父親

と母親は「対等のパートナーとして互いに助け合う」と教えています（『リアホナ』2010年11月号、129）。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「義にかなった女性の影響力」『リアホナ』2009年9月号、3-7
- 「女性の神聖な役割を理解する」『リアホナ』2009年2月号、25
- 第20章「教会の女性」『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』214-225

教えるための提案

教義と聖約25：1-3, 10, 13-16

末の日における義にかなった末日聖徒の女性の偉大な影響力

スペンサー・W・キンボール大管長（1895-1985年）の次の預言を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「終わりの時に教会に大きな発展がもたらされようとしています。その多くは、世界中にいる善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられることが理由となって起きるでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、また、……世の中の女性と良い意味で区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう。」（『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』223-224）

- なぜ義にかなった末日聖徒の女性が教会の大きな発展の理由になると思いますか。

この考えを展開するため、生徒に、教義と聖約25：1-3, 10, 13-16を調べ、末日聖徒の女性が世の中の女性と良い意味で「区別され、異なって」いることを示す言葉や語句を見つけるように言います。生徒がこの啓示の背景を理解するのを助けるため、これはエマ・スミスのための個人的な啓示であるものの、教会の全ての女性に当てはめることができるということを説明します。

- これらの節から、義にかなった女性が求めるべき特性についてどのようなことが学べるでしょうか。
- 教義と聖約25章で教えられている教義や原則を、あなたならどのように述べますか。（生徒が答える際に、次の原則を指摘します。主の弟子として、**女性は神の王国を築くのを助けるために自分の神聖な賜物や才能を使うことができる。**）

スペンサー・W・キンボール大管長と十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老による次の言葉を紹介します。



「義にかなった女性であることは、いつの時代においてもすばらしいことです。救い主の再臨に先立つ、この地上における最後の時期に義にかなった女性となることは、特別に気高い召しです。今日、義にかなった女性が持つ力と影響力には、もっと平穏であった時代に比べて10倍の威力があります。」（『教え—スペンサー・W・キンボール』 217–218）



「姉妹の皆さん、皆さんが影響を与える分野は独特であり、男性は同じことができません。神の娘である皆さん以上に強い説得力や力をもって救い主を擁護できる人は他にいません。皆さんは、そのような強さと確信を内に秘めています。改心した女性の声の持つ力は計り知れず、今、教会はこれまで以上に皆さんの声を必要としているのです。」（M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」『リアホナ』2014年9月号、37）

クラスの女性たちに、家や教会や地域社会で持つことができる自分の影響力について考えるとき、どのような考えや気持ちを抱くか尋ねます。教会における指導者として女性が持つ大きな役割を強調します。

ワードや支部の女性の強さや影響力によって個人が天の御父に近づくのを見た経験を分かち合うよう、クラスの兄弟たちに言ってもよいでしょう。

2テモテ1：5；3：14–15；アルマ56：47–48；57：21

シオンの母親として神によって任じられた女性の役割

一人の生徒に十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が述べた次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「男性と女性が持っている賜物、強さ、物の見方、傾向は異なります。それが、わたしたちが互いを必要とする基本的な理由の一つです。家族をもうけるためには男性と女性が必要です。主の業を遂行するためには男性と女性が必要です。」（「男性と女性と神権の力」36）

- 明らかな肉体的な違い以外に、一般的に言って、男性と女性が互いに異なっていると分かるのはどのような点ですか。

このような一般的な違いは別として、男性と女性には神によって任じられた役割もあります。そのことは「家族—世界への宣言」にも説明されています（第7段落参照）。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が述べた次の言葉を読みます。



「親愛なる姉妹の皆さんは天地が造られる前に、子供を産んで、養うこと、それにより神に栄光を帰すよう選ばれました（教義と聖約132：63参照）。」（「何を選びますか？」『リアホナ』2015年1月号，19）

- 神の子供を産んで養うときに、どのようにして女性は神に栄光を帰すことができるのでしょうか。（生徒が考えを発表する際に、次の原則を理解できるよう助けます。神の子供を産んで養うという、母親として神によって任じられた役割に進んで取り組むとき、女性は神に栄光を帰し、より一層神の両親のようになる。この世に子供をもたらすことは、天の御父の救いの計画に不可欠の部分であることを説明します。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の次の話を紹介します。



「今日、世には、子供をもうけることの重要性を過小評価し、出産の時期を遅らせるよう、あるいは子供の数を制限するよう勧める声が多く聞かれます。最近、（別の教会の）クリスチャンで5人の子供を持つ母親のブログを娘が紹介してくれました。このような書き込みがありました。『こんな文化で〔育つ〕と、聖書が教える母親の概念を理解するのがとても難しい。……優先順位では子供は大学教育よりずっと下だし、世界旅行よりも確実に下だ。夜好きなときに外出できることや……現在の、あるいは将来のどんな仕事より低い。』そして、こう付け加えています。『母親であることは趣味ではない。召しである。』」（「子供」『リアホナ』2011年11月号，28）

- 子供をもうけることの重要性を「過小評価」とはどういう意味でしょうか。
- 女性が子供をもうけることの重要性を「過小評価」するような圧力にはどのようなものがありますか。
- 子供をもうけることの重要性について適切な視点を持ち続けるために、教会のヤングアダルトには何ができるのでしょうか。

いつ子供をもうけ、何人子供をもうけるかについての決定は、夫と妻と神との間の個人的な事柄であることを生徒に確信させてください。今後のレッスンで、より詳細にこれらの事柄について話し合います。

生徒に、2テモテ1：5；3：14–15およびアルマ56：47–48；57：21を読んで比較し、子供について母親が持つ義にかなった影響力を見つけてもらいます。

(聖句を比較し学ぶことは、生徒が自分の生活全体に活用することができる聖文研究の技術です。)

- これらの聖句は母親の役割についてどのようなことを教えているでしょうか。(次の原則を強調します。母親が子供たちに福音を教えるとき、子供たちが信仰を得て、義にかなって生活するよう備える助けとなる。)
- サタンは母親の役割をおとしめるために躍起になっている理由を説明するのに、これらの聖句はどのように役立つでしょうか。
- 女性が母親としての役割において成功する助けとなる特性にはどのようなものがあるでしょうか。

あなたのクラスの何人かの若い女性は、決して結婚することはない、また結婚しても、子供をもうけられないかもしれないという事実に対して敏感であってください。元中央扶助協会会長会顧問のシェリー・L・デュー姉妹による次の話を使い、母親の役割は全ての女性の神聖な受け継ぎであることを生徒が理解できるよう助けます。



「ふさわしい男性がこの世で神権を受けるよう予任されたのと同じように、義にかなった女性は前世で母性の特権を授けられました。子どもを産むことは、もちろん母性の一部ですが、母性はそれだけのものではありません。それはわたしたち女性の本質です。まさに女性の真髄であり、神聖な特質や特性であり、御父がわたしたちに与えられた比類ない性質です。……

子どもを持つのを待たなくてはならない人もいます。……しかし、わたしたち一人一人に定められた主の時刻表は、女性の天性を否定するものではありません。ですから、わたしたちの中には、単に母性を発揮する他の方法を見つけさえすればよいという人もいます。周囲には、愛と導きを必要としている人がたくさんいるのですから。」(「わたしたちは皆、母親ではないでしょうか」『リアホナ』2002年1月号, 112-113)

- デュー姉妹の話は母性に対する理解を深めるのにどのように役立つでしょうか。

自分自身の母親の義にかなった影響力についての考えや気持ちを分かち合いたい生徒がいるか尋ねます。

元中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹による次の話を見せます。ベック姉妹は神によって与えられた役割を果たす必要性について女性に向けて話しました。一人の生徒にこの話を読むように言い、他の生徒には女性がその役割を果たせなかったらどうなるか考えてもらいます。



© Busath.com

「わたしたちがその役割を果たさなければ、誰もわたしたちに代わってその役割を果たすことはできません。……〔天父の幸福の計画におけるわたしたちの担当部分〕を委任することはできません。誰かに譲ることもできません。それはわたしたちの責任なのです。わたしたちは、その役割を拒み否定することもできます。それでもなお、養いを与えることはわたしたちの役割であり、わたしたちは責任を負っています。生まれる前に知っていたことを全て思い出す日が来ることでしょう。そのとき、わたしたちは、すさまじい争いの中、この特権のために戦ったことを思い出すでしょう。この責任をどのように果たしますか。わたしたちは日々、わたしたちにしかなし得ない業に、力を注いでいるのです。」（「女性の神聖な役割を理解する」『リアホナ』2009年2月号, 25）

- 「わたしたちがその役割を果たさなければ、誰もわたしたちに代わってその役割を果たすことはできません」という言葉についてどのように思いますか。
- もし女性がその「役割」を果たさなくなったら、家族から、ワードや支部から、そして世界から何が失われることになるのでしょうか。
- ヤングアダルトの女性は、どのような点で天の御父の王国の女性としての神聖な役割を果たすことができるのでしょうか。

義にかなった妻や母親になるという女性の神聖で重要な役割について証し、天の御父はいつの日かその義にかなった子供たちに全ての祝福をお与えになることを強調します。母親がこれまで神聖な役割を果たしてきたことに対して、どれほど敬服しているか、自分が知っている母親に伝えることを検討するよう生徒に勧めます。

女性が天父の幸福の計画において自分は何者であるかを知っており、その知識に基づいて行動するときにもたらされる祝福について証を分かち合いたい生徒がいるか尋ねてレッスンを終えます。

生徒の読書課題

- 2テモテ1：5；3：14－15；アルマ56：47－48；57：21；教義と聖約25：1－3, 10, 13－16
- 「女性の神聖な役割を理解する」『リアホナ』2009年2月号, 25

第11課

永遠の結婚に備える

はじめに

ヤングシングルアダルトはイエス・キリストの福音に従って生活するときに、将来を楽しみにし、希望を持って自分の人生を生きることができます。彼らが主からの指示を求めるとき、天の御父は永遠の結

婚について決断する際に導いてくださいます。このレッスンは、主から天の援助を受けることができると知ることにより、生徒がより大きな自信をもって結婚に臨むのに役立ちます。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「水に映る影」（教会教育システムディボーションナル、2009年11月1日）、lds.org/media-library
- ジェフリー・R・ホランド「恐れることはない、ただ信じなさい」（ジェフリー・R・ホランド長老との夕べ、2015年2月6日）、lds.org/broadcasts

教えるための提案

教義と聖約88：40

結婚への備え

将来の伴侶に求める特性のリストを作ったことがある生徒に手を挙げてもらいます。数人の生徒に、そのリストにある特性を幾つか発表してもらいます。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「一部の若い人たちは、伴侶に求める特性の買い物リストを持っており、それによって潜在能力を測定しているように見えます。『あなたはわたしが求めるものを全て持っていますか。』あなたが特定の霊的な資質を持っている永遠の伴侶を持つことを望むなら、あなた自身がこれらの霊的な資質を育むために努力しなければなりません。そうするなら、これらの資質を持っている誰かがあなたに魅力を感じることでしょう。」（“Understanding Heavenly Father’s Plan,” LDS.org [英語]）

- ベドナー長老の言葉の中から、どのような原則を学べるでしょうか。（生徒が次の原則を確実に見つけるようにします。特定の霊的な資質を持っている永遠の伴侶を持つことを望むなら、自分自身がこれらの霊的な資質を育むために努力しなければならない。）

生徒たちに教義と聖約88：40を読み、この節はどのような点でたった今確認した原則を裏付けるのか見つけるように言います。

- 結婚を追い求めている人は、この節に記録された真理をどのように応用することができるでしょうか。

- 若い人々が自分の友人を選ぶ際に、この節にある真理をどのように応用したのを見たことがありますか。

生徒に、将来の伴侶の中に見いだしたいと思う資質について考えるように言います。生徒に、その同じ資質を自分は持っているかどうか考えてもらいます。自分自身をさらに結婚に備えるため、教義と聖約88：40にある原則を用いる方法について考えるよう生徒に言います。

マルコ5：35－36；教義と聖約6：36

「恐れることはない。ただ信じなさい」

生徒に質問します。

- 結婚についてどのようなことを楽しみにしていますか。
- 若い人々が結婚について恐れを感じてしまう原因となり得るものにはどのようなものがあるでしょうか。（答えをホワイトボードに書きます。）

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の話を声に出して読んでもらいます。残りの生徒には、若い人々が結婚について恐れを感じてしまう理由に耳を傾けるように言います。



「極端な場合、〔若い人々は〕今すぐにでも、世界が流血と災害、すなわち伴侶や子供を巻き込みたくない悲惨な状態で終わるのではないかと恐れています。それほど深刻でない場合、より標準的な場合でも、世の中の情勢は益々難しくなり、就職はほとんど不可能になるのではないかと、また大学を卒業し、教育ローンを返済し、就職し、家を持ってからでなければ結婚について考えるべきではないのではないかと恐れているのです。……

さらには、わたしが話しかけた実の大勢の若人が、実際結婚したとしても、離婚に関する統計の一部となるだけ……ではないかと恐れているのです。……結婚の成功に関するそのような不信感と、映画やテレビで何度も繰り返す描かれる、純潔、貞潔、家庭生活に対する下品で、汚れた、そしてしばしば悪魔的な嘲笑をつなぎ合わせると、何が問題なのか見えてきます。」（「『恐れることはない。ただ信じなさい』」〔ジェフリー・R・ホランド長老との夕べ、2015年2月6日〕、lds.org/broadcasts）

- ホランド長老が言及した理由の一つによって結婚を恐れている人を誰か知っていますか。

生徒に、教義と聖約6：36を読み、オリバー・カウドリに対する主の勧告をどのように永遠の結婚に備えることに応用できるか考えてもらいます。次に、一人の生徒にマルコ5：35－36を声に出して読んでもらいます。会堂司であったヤイロはイエスのもとにやって来て、主に娘を癒やしてほしいと願ったことを説明します。ヤイロに対する救い主の励ましは、結婚の備えをしている人々にどのように応用できるか、クラスの生徒に考えてもらいます。

- 「あらゆる思いの中で」主を仰ぎ見ることは、どのようにわたしたちが自分の将来を考えるとときに「疑〔わず、〕恐れ〔ない〕」でいられる助けとなるでしょうか。

- オリバー・カウドリとヤイロに対する主の勧告は、結婚することについて恐れを持っている人々をどのように助けるでしょうか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の原則を書きます。イエス・キリストを信仰をもって仰ぎ見るなら、わたしたちは恐れを克服し、将来に自信を持つことができる。）

ジェフリー・R・ホランド長老が述べた次の言葉を紹介します。クラスの生徒には、ホランド長老とホランド姉妹が結婚するときに、結婚することを選ぶためには信仰が必要であった理由に耳を傾けるよう言います。



「『ホランド姉妹とわたしが』結婚したとき、二人とも、まだBYUの学生でした。どちらの親もわたしたちの面倒を見ることは全然できませんでした。将来、大学院に行くことなど夢のまた夢でした。結婚式の日、二人の手持ちは合計300ドルだったのです。そんな状況で結婚生活を始めるのはとんでもないことだったかもしれません。しかし、実にすばらしい結婚生活でした。正しいことだと分かっているのに、実際より1日長く結婚を延ばしていたら、どのような機会を失っていたでしょう。……後になってジェームズ・E・ファウスト管長が決してはならないと何度も繰り返し教えてくれたのですが、『恐れのために誤った選択を〔して〕』いたらわたしたちは何を失っていたらこうと考えると身震いします。」（「『恐れることはない。ただ信じなさい』」）

- ホランド長老姉妹の状況は、どのような点で今日の多くの若い人々の状況と似ているのでしょうか。
- 「恐れのために誤った選択をする」とはどういう意味でしょうか。なぜこれが意思決定を行うには悪い方法なのでしょうか。

一人の生徒に、次のトーマス・S・モンソン大管長の証と約束を声に出して読んでもらいます。



「愛する兄弟姉妹、恐れてはなりません。元気を出してください。未来は皆さんの信仰と同じく希望に満ちています。」（「元気を出しなさい」『リアホナ』2009年5月号, 92）

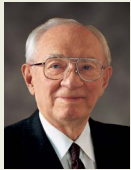
- この預言者の励ましについて深く考えるとき、将来についてどのような思いや感情を持ちますか。

レッスンのこの部分を応用する方法を生徒が熟考するよう助けるために、自分は結婚することについて幾らかでも恐れを抱いているかどうか考えるように言います。将来についての恐れを主に対する信仰と置き換える方法について深く考えてもらいます。

教義と聖約6：22-23；8：2-3；9：7-9；11：12-14

結婚する相手を選ぶ際に神の導きを求める

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）の次の声明を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「皆さんが結婚する相手を選ぶことは、人生の中で最も重要な決断です。神殿で結婚することに代わるものではありません。……ふさわしい人と、ふさわしい場所で、ふさわしいときに結婚してください。」（「人生の責務」『リアホナ』1999年5月号，4）

- 結婚する相手について、どうしたらこの最も重要な決断を正しく下すことができるでしょうか。

生徒に二人一組になってもらいます。各組に次の聖句を一緒に読むよう割り当てます。教義と聖約6：22-23；8：2-3；9：7-9；11：12-14。（これらの節は、個人的な啓示を受ける方法について繰り返されるテーマの一例です。そのような例は教義と聖約の初期の章に多く見られます。「テーマとは、書物全体を織り成す糸のように、繰り返し登場し、全体をまとめる特徴や概念のことです。」〔デビッド・A・ベドナー、「生ける水の源」（ブリガムヤング大学ファイヤサイド，2007年2月4日），5，speeches.byu.edu〕）

生徒に、教義と聖約の聖句を研究する際、次の状況を考慮するように言います。あなたの友人がある人とある程度の時間付き合っており、その人と結婚すべきかどうか助言を求めにあなたのもとにやって来たと思ってください。あなたは友人にどうするよう助言するでしょうか。

生徒が聖典を研究する時間を取ってから、各組のうちの一人の生徒に、現在付き合っている人がいる友人の役をやってもらいます。各組のもう一方の生徒には、これらの節がどのように友人が決断を下す助けとなるのか説明してもらいます。この活動が終わってから、決断を下すことについての次の原則を生徒が理解していることを確かめます。わたしたちは心の中で決断を「考え抜き」、最善の決断を行い、決断が正しいかどうか神に尋ねるべきである。その後、平安と喜びが心と思いにもたらされるなら、その決断は良いものである。以下の原則を強調します。決断を下すときに主の導きを求めるなら、自分の選択が正しい場合、主はわたしたちの思いに告げ、心を平安と喜びで満たしてください。

- 個人の啓示を受けることについてこれらの節が教えている事柄が真実であることをどのようにして知るようになりましたか。

次のような状況に対応する方法を検討するよう生徒に言います。あなたが付き合っている人は、決断を下すために今までこのプロセスに従っており、そのうえで自分たち二人が結婚すべきであるという印象を受けていると説明していません。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の言葉を見せて、生徒の一人にその言葉を読み上げてもらいます。



「『わたしはあなたがわたしの永遠の伴侶になるという啓示を受けました。ですから、あなたはわたしと結婚しなければなりません』というようなことを言う男性がいることをよく耳にします。もしそれが真実の啓示なら、相手の女性が本当に知りたいと思ったときに、直接啓示による確認を与えられるはずで、す。ですから、前述のような啓示に気を留める必要はありません。女性も自分自身で導きを求め、決定を下すべきなのです。また、男性側も自分の取るべき行動について導きを求め、啓示を受けることはできますが、女性に指示するための啓示を受けることはできません。自分の管理権外のことなのです。」（“Revelation”〔ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 1981年9月29日〕, 6, speeches.byu.edu〔英語〕）

信仰の目をもって永遠の結婚を楽しみにしているなら、平安を感じることができると生徒に証します。このレッスンで述べられた原則を使って、永遠の結婚という輝かしい機会に備えるよう、生徒を励まします。

生徒の読書課題

- マルコ5：35－36；教義と聖約6：22－23, 36；8：2－3；9：7－9；11：12－14；88：40
- ディーター・F・ウークトドルフ「水に映る影」（教会教育システムディボーションナル, 2009年11月1日）, lds.org/media-library

第12課

神殿の儀式と聖約

はじめに

末日の預言者は次のように宣言しました。「聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010

年11月号，129）このレッスンでは、生徒が神殿の儀式を受けることを通して、現世において神聖な祝福を享受し、永遠の命を得ることができると学びます。

背景となる読み物

- ボイド・K・パッカー「聖なる神殿」『リアホナ』2010年10月号，29–35
- D・トッド・クリストファーソン「聖約の力」『リアホナ』2009年5月号，19–23

教えるための提案

教義と聖約97：10–17；109：12–21；124：37–40，55

神殿の目的

お気に入りの神殿の写真を生徒に見せ、気に入っている理由を述べます。

- なぜわたしたちに神殿が与えられているのでしょうか。

この質問に答えられるよう、次の聖句をホワイトボードに書きます。生徒に聖句の一つを読んでもらい、天父が神殿を与えられた理由を見つけてもらいます。

教義と聖約97：10–17

教義と聖約124：37–40，55

- これらの聖句によると、天父が神殿を与えられた理由にはどのようなものがあるのでしょうか。（生徒が答える際に、次の原則を理解できるよう助けます。天父は、その子供たちが必須の儀式と知識を受け、御父のもとに住む備えをするために、神殿を与えられる。）
- これらの節のどの表現が、神殿は神のみもとに住む備えをする助けとなることを教えているのでしょうか。

生徒に、教義と聖約109章にはカートランド神殿の奉献の祈りが含まれていることを伝えます。生徒に、教義と聖約109：12–21を素早く読み、神殿が神のみもとに住む備えとなる点のリストを作るように言います。

- これらの聖句によると、どのような点で神殿は神とともに住むためにわたしたちを備えるのでしょうか。（生徒は以下のことを述べるでしょう。神殿で、わたしたちは主の力を感じ、知恵を学び、聖霊の全きを受ける。わ

たしたちは神殿ですぐに悔い改めるよう励まされる。神殿に参入するときには清くあるよう求められる。時間が許せば、生徒に出エジプト19：10-14を参照してもらいます。それはモーセが古代イスラエルの民を主のみもとに行けるよう、物質的にも霊的にも備えようとした方法について説明しています。

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老とブリガム・ヤング大管長（1801-1877年）が語った次の言葉を見せます。



「神殿の第一の目的は日の栄えの王国における昇栄に必要な儀式を行うことです。神殿の儀式はわたしたちを救い主へと導いてくれ、イエス・キリストの贖罪を通してもたらされる祝福を与えてくれます。」（ロバート・D・ヘイルズ「神殿の祝福」『リアホナ』2009年10月号, 14）



「あなたの〔神殿の〕エンダウメントとは、主の宮においてこれら全ての儀式を受けることです。これらはあなたがこの世を去った後に、番人として立つ天使たちの前を通して御父の前に行くために必要な儀式です。」（『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』330-331）

- これらの言葉は、神殿の儀式を受けることの重要性を正しく認識するのにどのように役立つでしょうか。

教義と聖約84：19-21

神殿で受ける神権の儀式は、わたしたちがもっと神のようになるのを助ける

次の言葉を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「教会において、儀式は神権の権能を通して行われる神聖で外形的な行為です。儀式の中には昇栄に不可欠なものもあります。これらの儀式は救いの儀式と呼ばれています。その中には、バプテスマ、確認、（男性の場合）メルキゼデク神権への聖任、神殿のエンダウメント、結婚の結び固めが含まれます。」（『真理を守る—福音の参考資料』46参照）

- 「救いの儀式」はその他の福音の儀式とどのような点で異なっているでしょうか。（その他の儀式、例えば、乳児の祝福、病人の癒やしなどは、昇栄のために必須ではありません。）

先へ進む前に、例えば、バプテスマやメルキゼデク神権への聖任など、神殿の儀式を受ける前に幾つかの救いの儀式が行われることを指摘します。しかしながら、レッスンのこの部分では、神殿で執行される救いの儀式に焦点を当てます。一人の生徒に、教義と聖約84：19-21を声に出して読んでもらいます。他

の生徒には、メルキゼデク神権によって管理される儀式を受ける際に授けられるものは何かを見つけてもらいます。

- 「神性の力」という言葉は、どういう意味だと思いますか。（「神性の力」とは神聖になる、あるいは神のようになる力のことであると説明するとよいでしょう。）
- 教義と聖約84：20–21で教えられている原則を、あなたならどのように述べますか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに以下を書きます。**神殿の儀式と聖約を通して、わたしたちはさらに神のようになることができる。**）

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老が語った次の言葉を各生徒に配ります。神殿の儀式を受けることがどのようにさらに神のようになる助けとなるのか教えている言葉や語句に印をつけるよう生徒に言います。



「若い男性や女性が受けることのできる神権の祝福で最大のものは、神殿での祝福でしょう。神殿では天国の一部をかいま見ることができます。……神殿の外ではとても届きそうもない永遠に関わる喜びが、突然、身近に感じられるようになります。

神殿内では救いの計画が説明され、神聖な聖約が交わされます。これらの聖約は、神聖な神殿のガーメントを身に着けることをも含めて、エンダウメントを受けた入々に力を与え、彼らを悪魔の力から守ってくれます。

……

神殿の儀式の極致は永遠の結婚です。花婿と花嫁は、忠実であれば、永遠にわたって夫婦、親子がともに主のみもとで生活できることを約束されます。これは永遠の命と呼ばれます。」（「神権がもたらす祝福」『聖徒の道』1996年1月号, 37）

印をつけた所について話し合います。

- ヘイルズ長老が説明したのと同様に、神殿の儀式を受けることで、あなたはこれまでどのような祝福を受けてきたでしょうか。

生徒に少し時間を与え、神殿の礼拝をより意味のあるものにするため、また、神のようになる助けとなることに、さらに焦点を当てるために行える事柄を書き留めてもらいます。

出エジプト19：3–6；教義と聖約109：22–26

神殿の聖約を守る

神殿の礼拝には、神殿の儀式を受けることに密接に関連している、もう一つの重要な目的があることを生徒に知らせます。十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を紹介し、その目的に耳を傾けるよう生徒に言います。



「末日聖徒イエス・キリスト教会には、人が聖なる御子の御名により、天の御父との聖約に入れるように、そのための儀式を行う神権の権威が存在します。わたしは証します。神は聖約を尊ぶ人に対して約束を果た〔されます。〕」（「聖約の力」『リアホナ』2009年5月号, 22）

- 福音の救いの儀式を受けるとき、わたしたちは何に入るのでしょうか。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老とジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を見せ、主と交わす聖約の重要な特徴を見つけてもらいます。



「聖約とは神と地上にいる子供たちとの間の合意です。そして、福音の聖約は全て神が条件を決められるということを理解することが大切です。皆さんやわたしが聖約の性質や内容を決めることはありません。むしろ、わたしたちは道徳的な選択の自由を行使して、永遠の御父が定められたとおりに聖約の条件と要求を受け入れるのです。」（デビッド・A・ベドナー「いつも主の御霊を受けられるように」『リアホナ』2006年5月号, 28）



「聖約とは拘束力のある霊的な契約です。わたしたちがある特定の方法、つまり、御子である主イエス・キリストの方法で生活し、考え、行動することを御父である神に立てた厳粛な約束です。それに対し、御父と御子、そして聖霊はわたしたちに、永遠の命という完全な栄光を約束しておられます。」（ジェフリー・R・ホランド「聖約を守る—伝道に出ようとする人たちへのメッセージ」『リアホナ』2012年1月号, 49）

- 聖約についてのこれらの言葉で、心に残ったのはどの部分ですか。
- 福音の聖約の条件を全て神が決められるということはなぜ大切なのでしょう。か。（神こそがわたしたちに永遠の命を与えてくださる御方でいらっしゃるのです、それを授ける際に条件を設定する権利を有しておられます。わたしたちが神にささげることができる犠牲は、神に従うことを選ぶ選択の自由以外にありません。この話し合いの一環として、以下を強調します。主との聖約を守るなら、わたしたちは現世において祝福されるとともに永遠の命を手に入れることができる。）

生徒に二人一組になるように言います。それぞれの組の一人の生徒には出エジプト19：3-6を研究するよう、もう一方の生徒には教義と聖約109：22-26を研究するように言います。生徒に、聖約、特に神殿の聖約を守る人々が手にするのできる祝福を見つけてもらいます。十分に時間を取った後、お互いに見つけたことをペアで話し合ってもらいます。（出エジプト記の聖句に関連して、わたしたちがいつの日か聖なる国民となり、神のみもとに住むことができる王や王妃としての資格を持つようになる最初の一步は聖なる神殿で始まるということを生徒が理解していることを確認してもよいでしょう。黙示1：6；5：10；19：16；教義と聖約76：55-56も参照。）

- 主と交わした聖約はどのようにあなたの祝福や守りとなってきたでしょうか。

一人の生徒に、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長（1876–1972年）による次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「神殿に入ると、わたしたちは主に仕え、主の戒めを守り、世の汚れに染まらないことを、手を挙げて聖約します。自分が何をしているのかよく理解しているならば、エンダウメントはわたしたち全てにとって生涯にわたり守りとなるでしょう。この守りは神殿に行かない人には与えられない守りです。

わたしは父〔ジョセフ・F・スミス大管長〕がこう言うのを聞いたことがあります。『自分は試練や誘惑を受けるとき、主の家で交わした約束と聖約について考える。それらは自分を守ってくれる。』……これらの儀式は、一つには、そのような守りのために行われます。わたしたちが尊ぶならば、それらの約束と聖約は、わたしたちを現世においては救い、来世においては昇栄へと導いてくれます。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・フィールディング・スミス』217）

- このレッスンを通じて、クラスで分かち合いたいと感じるどのような思いや印象がありますか。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「全ての人にとって人生とは、日の栄えの王国におられる神のみもとへ帰る、故郷への旅なのです。

儀式と聖約は、神のみもとに行くための資格証明書になります。ふさわしくなってそれを受けることは、生涯の目標であり、最後までそれを守ることは、この世におけるチャレンジです。」（「誓約」『聖徒の道』1987年7月号, 25）

神殿の儀式を受けることは確かに「生涯の目標」であることを証してください。神殿の儀式は、天父のみもとに行くために必要な資格証明書を手に入れる助けとなります。

自分の生活において礼拝や神殿で儀式を受けることを優先しているかどうか、生徒に深く考えてもらいます。神殿で交わした、あるいはこれから交わす聖約にさらに焦点を当てるために何ができるか、書き留めるよう生徒に言います。

生徒の読書課題

- 出エジプト19：3–6；教義と聖約84：19–21；97：10–17；109：12–26；124：37–40, 55
- ボイド・K・パッカー「聖なる神殿」『リアホナ』2010年10月号, 29–35

第13課

神殿での礼拝を改善する

はじめに

聖なる神殿における礼拝は、わたしたちがイエス・キリストのより良い弟子となるよう備え、『[そこで] 得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰.....ることを可能にするのです。』（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）ハワード・W・ハンター

大管長（1907–1995年）は神殿を「教会員の大いなる象徴」とするよう奨励しました（「教会員の大いなる象徴」『聖徒の道』1994年11月号, 6）。このレッスンでは、生徒は神殿での礼拝を豊かにし、それによって家族の生活に大きな祝福をもたらす方法を学びます。

背景となる読み物

- リチャード・G・スコット「神殿での礼拝—苦難のときに強さと力を与えてくれる源泉」『リアホナ』2009年5月号, 43–45
- L・ライオネル・ケンドリック「神殿での経験を豊かなものとする」『リアホナ』2001年7月号, 94–96
- 『聖なる神殿に参入する備え』（小冊子）

教えるための提案

詩篇24：3–5；ヨハネ2：13–16；教義と聖約109：10–13, 20–22
神殿に参入するためのふさわしさ

自宅に最も近い神殿の写真を見せます。聖きを主にささぐという言葉が全ての神殿の外壁に刻まれていることを指摘します。生徒に、ヨハネ2：13–16を読み、この話が神殿の聖なる性質をどのように表しているか考えてもらいます。

- この話は、わたしたちが神殿に対して執るべき態度をどのように表しているでしょうか。
- どのような点で現代の人々は神殿に対する不敬を示しているでしょうか。

生徒に、教義と聖約109：20を読んでもらいます。これはカートランド神殿の奉獻の祈りの一部です。

- この節からどのような原則を学べるでしょうか。（生徒の答えには次の原則が含まれているはずで、清くないものが神の宮に入るのを許さないよう、神は命じられた。聖典の中では、神殿は常に清さ、純潔、神聖、価値のある場所として描かれていることを指摘します。神殿について読むときに、この関連性に注意するよう生徒に勧めます。）
- 神殿に参入する前に個人が満たさなければならないふさわしさの標準にはどのようなものがあるでしょうか。

生徒に数分間時間を与え、教義と聖約109：10－13，21－22，および詩篇24：3－5を研究し、神殿でふさわしく礼拝することに関連している祝福を見つけてもらいます。生徒が見つけた箇所に印をつけるよう提案するとよいでしょう。

- これらの節によれば、ふさわしい状態で神殿に参入する人々にはどのような約束が与えられているでしょうか。（主の栄光が主の民のうえにとどまる。神殿に参入する人々は主の力を感じ、そこが聖別された聖い場所であることを認める。神殿で、主は主の御名をわたしたちの上に置かれ、わたしたちは主の力を帯びて出て行く。神殿で、わたしたちは主から祝福と義を授けられる。）
- これらの約束がわたしたちのふさわしさにかかっているのはなぜでしょうか。
- 神殿推薦状の資格を得ることが努力に値するかどうか疑問に思っている人に対して、あなたなら何と言いますか。

一人の生徒に、次のトーマス・S・モンソン大管長の話を声に出して読んでもらいます。



「神殿のもたらす永遠の祝福を理解している人は、これらの祝福を受けるためにいかなる犠牲、いかなる代価、いかなる苦勞もいといません。……いつの日か永遠の家族として天の御父のみもとに戻れるようにし、高い所から祝福と力を授けてくれる神殿の救いの儀式には、あらゆる犠牲と努力を注ぐ価値があることを彼らは知っています。」（「聖なる神殿—世界に輝くかがり火」『リアホナ』2011

年5月号，92)

- 神殿の儀式を受けることによって、あなたはどのような祝福を受けてきましたか。

有効な神殿推薦状を手に入れ、残りの人生を通して保持し続けるよう生徒を励まします。主の神殿において謙遜に主を礼拝するとき、主の聖なる宮で忠実な者だけが手に入れられる祝福を授けられることを強調します。

3ニーファイ17：1－3

神殿での礼拝を向上させる

ホワイトボードに次の言葉を書き、どのようにその文を完成させるか生徒に尋ねます。

神殿で得るものは_____に懸かっている。

幾つか答えが出てから、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉を見せます。



「神殿で何を得るかは、大部分、謙遜さと敬虔な気持ちと学ぼうという願いを抱きながら、わたしたちが何を持って参入するかによります。もし素直に心を開くなら、神殿の中でわたしたちは御霊から教えを授かることができます。」（The Holy Temple〔1980年〕，42）

- 「謙遜さと敬虔な気持ちと学ぼうという願い」という精神を抱いて行くな
ら、神殿での経験はどのような影響を受けることになると思いますか。
（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の原則を書きます。**謙遜さと
敬虔な気持ちと学ぼうという願いを持って神殿に行くなら、わたしたちは
御霊により教えを受ける。**）

救い主がニーファイ人を訪れられたとき、主は、神殿参入するときにわたした
ちが従うことができる、神聖な事柄を理解するための規範を教えてください
ことを生徒に説明します。一人の生徒に、3ニーファイ17：1-3を声に出して読
んでもらいます。

- 神聖な事柄を理解するのに備えられるよう、救い主は主の教えに耳を傾け
る者たちに何を行うよう教えられましたか。
- 神殿での経験の質を向上させるために、わたしたちはどのようにこの規範
に従うことができるでしょうか。（わたしたちは、神殿で経験したことを
深く考え、理解できるよう祈り、次回の参入に備え、状況が許す限りしば
しば神殿に戻って来るようにすべきです。）

七十人のL・ライオネル・ケンドリック長老による次の言葉を読み、生徒に
は、わたしたちが神殿での礼拝を改善する方法について述べている言葉に耳を
傾けるように言います。



「神殿に参入することと豊かな霊的経験をすることは別の問題です。
真の神殿の祝福は、神殿において豊かな経験ができて初めて得られ
るものです。それには神殿に対する敬虔の念と礼拝の精神が必要で
す。……

敬虔とは単に静かにしているだけではありません。精神を集中する
こと、学ぼうとの意欲と御霊の導きを受け入れようとする姿勢が必
要です。さらなる光と知識を求めることです。敬虔さを欠く態度は神会への不敬で
あるのみならず、必要なことを御霊から学べなくしてしまいます。」（「神殿での
経験を豊かなものとする」『リアホナ』2001年7月号，94）

- この話の中で、あなたにとって特に意味のある言葉は何ですか。それはな
ぜでしょうか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老による次の勧告を読み、生徒
には、自分が神殿訪問する際に応用できる提案に耳を傾けるように言います。



「•神殿の儀式に関連する教義、特にイエス・キリストの贖罪の意味を理解する。

•神殿の儀式に参加しながら、自分とイエス・キリストの関係、主と天の御父の関係について考える。この簡単な行いによって、神殿の儀式が持つ神聖な性質がさらに理解できるでしょう。

•神殿の儀式から注がれる比類ない祝福に対して、常に祈りをもって感謝を表す。それらの祝福が自分にとってどれほど大きな意味を持つものであるかを、日々の生活を通じて天の御父と神の愛子に示しましょう。

•神殿を定期的に訪問する予定を立てる。

•神殿内で急ぐ必要のないよう時間を十分に取る。

•異なる儀式を受け、神殿の全ての儀式に参加できるようにする。

•主の宮に入るときに腕時計を外す。

•思いと心を開いて、儀式の各部分で語られることに注意深く耳を傾ける。

•自分が身代わりの儀式を行っている人のことを心に留める。その人がこれらの儀式がきわめて重要なものであることを認め、そこから恵みを受けるにふさわしくあるように、またはふさわしくなる備えができるように、ときどき祈りましょう。」（「神殿での礼拝—苦難のときに強さと力を与えてくれる源泉」『リアホナ』2009年5月号、43）

- これらのアイデアのうち、どれを取り入れることがあなたにとって最も恩恵となるでしょうか。
- 主の宮での礼拝をさらに意義深いものとするために、あなたや他の人々は何を行ったことがありますか。これらのことを行うとき、どのような違いが生じるでしょうか。（この話し合いの一環として、大管長会による次の声明について話し合うとよいでしょう。「教会員が自分の先祖の名前を見だし、それらの名前を儀式のために神殿に提出するとき、神殿での経験はとてども実り多いものとなります。」〔大管長会からの手紙、2012年10月8日付〕）

神殿での経験を向上させるために行うよう感じた事柄を書き留めることを生徒に奨励します。自分が書いた事柄を実行するよう生徒を励まします。

教義と聖約109：8

啓示の場所

カートランド神殿の奉献式の祈りの中で、預言者ジョセフ・スミスは神殿の目的について幾らか述べたことを説明します。生徒に教義と聖約109：8を読むように言います。その目的の一つは「学びの家」となることであったと指摘します。

- 神殿では何が学べると期待しますか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）の次の話を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「この神聖な建物は、神に関わる崇高で神聖なことを学習する学びやともなります。ここでは、愛に満ちた御父が、時代を問わずその息子娘のために定めてくださった計画について、その概略を学びます。また、前世からこの世の生涯を経て次の世に至る、人の永遠の旅路について、その壮大な行程が示されます。根底となる偉大な基本的真理が、それを聞く誰にでも理解できるよう、明確にまた簡潔に教えられています。」（「ソルトレーク神殿」『聖徒の道』1993年11月号，6）

- 神殿の儀式を受けることは、どのようにして天父の計画の偉大な基本的真理を学ぶ助けとなるでしょうか。
- 3ニーファイ17：1-3に記録された規範に従うことは、どのような点で神殿の中でさらに学ぶ助けとなるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレイ大管長が述べた次の言葉を紹介합니다。



「苦しんでいるとき、難しい判断を下さなければならなくなったとき、あるいはまた、複雑な問題を処理しなければならなくなったとき、これまで実に多くの人々が天からの導きを求めて、祈りと断食の精神で神殿に参入してきました。その結果、天からの声を直接聞くことがなくとも、進むべき方向についてそのとき強く心に感ずるものがあり、やがて時が過ぎてそれが祈りに対する答えだと分かった、と証している人々は大勢います。」（「ソルトレーク神殿」『聖徒の道』1993年11月号，6）

神殿についての気持ちや証を述べたい人がいるかどうか生徒に尋ねて、レッスンを終えます。生徒は今、多くの決定を下す必要がある、自らの人生における非常に重要な時期にあることを強調します。主の宮において、聖徒は神の御霊や、慰め、導きを感じることができることを証してください。

生徒の読書課題

- 詩篇24：3-5；ヨハネ2：13-16；3ニーファイ17：1-3；教義と聖約109：8-22
- リチャード・G・スコット「神殿での礼拝—苦難のときに強さと力を与えてくれる源泉」『リアホナ』2009年5月号，43-45

第14課

シオンの山において救う者となる

はじめに

神殿の業を通し、主は、イエス・キリストの福音の知識がないまま亡くなった全ての人々が「神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなる」ことを可能にされました（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129）。このレッスンで

は、生徒は、エリヤの霊がどのように家族歴史の業に参加し、「シオンの山において救う者」（オバデヤ1：21参照）となるような動機づけをするかを学びます。

背景となる読み物

- デビッド・A・ベドナー「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号、24–27
- クエンティン・L・クック「根と枝」『リアホナ』2014年5月号、44–48

教えるための提案

教義と聖約138：27–37、58–59

霊界におけるイエス・キリストの教導の業

生徒に、何人くらい先祖が福音を聞くことなく、または救いの儀式を受けることなく亡くなったのか考えてもらいます。

救い主は亡くなった後、死者の霊を訪れられたことを生徒に思い出してもらいます。この訪れの詳細は、ジョセフ・F・スミス大管長（1838–1918年）による示現として、教義と聖約138章に記録されています。（これは聖文を研究するときに、生徒が背景を理解するのを助ける例であることに留意してください。）

数人の生徒に、交代で教義と聖約138：27–37を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、聞きながら、主が霊界における教導の業の最中に行われたことを見つけてもらいます。

- 死者の霊が贖われるために、救い主はどのような方法を備えられたでしょうか。（以下の真理を強調します。救い主は霊の獄にいる人々に福音を宣べ伝えるために義にかなった霊たちに任務を与え、教え、備えられた。）
- 34節によれば、福音の原則はなぜ霊の獄にいる人々に宣べ伝えられなければならないのでしょうか。（次のことを説明します。「肉においては人間として裁きを受ける」とは、全ての人々が同じ標準で裁かれるため、神の子供たちは全て、生者であろうと死者であろうと、福音を受け入れ、救いの儀式を受ける機会が与えられることを意味します。教義と聖約137：7–9も参照）

生徒たちに教義と聖約138：31，58－59を読み，霊界で福音を教えられた人々は「救いを受け継ぐ者」となるために何を行わなければならないかを見つけるように言います。

- これらの節によれば，死者の霊たちは「救いを受け継ぐ者」となるために何を行わなければならないでしょうか。（次の原則を明らかにします。霊の獄にいる人々が福音のメッセージを教えられてから，彼らは悔い改め，神殿で執行される身代わりの儀式を受け入れるかどうか選ぶことができる。）

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老による次の言葉を紹介します。



「ある人々は誤解して，死者は知らない間にモルモンの教えに改宗させられるとか，生前に別の宗教に属していた人をモルモンとして生活したことにするといったようなことができると考えています。わたしたちには，どうしたわけか，人に信仰を強要する力があるとする見方です。もちろんそれは違います。神は初めから人に選択の自由を与えられました。『悔い改める死者は，神の宮の儀式に従うことによって贖われる』のですが，それは儀式を受け入れたときだけです〔教義と聖約138：58〕。」（死者の贖いと，イエスへの証『リアホナ』2001年1月号，10参照）

生徒を二人一組に分け，神の計画は全ての人々に，生者であろうと死者であろうと，福音と救いの儀式を受けられるようにするということを教会員ではない人に説明するというロールプレーをしてもらいます。

オバデヤ1：21；マラキ4：5－6；教義と聖約110：13－16；128：18
わたしたちは「シオンの山において救う者」とならなければならない
（オバデヤ1：21参照）

生徒に，家族歴史活動に参加する方法を見つけてもらいます。（家族の名前を探求し神殿に提出する，家族の写真やストーリーを集め保存する，索引作成をするなど。）

- 家族歴史活動に参加することは，亡くなった家族に対する気持ちにどのような影響を与えるでしょうか。

生徒がこれらの気持ちの源を理解する助けとなるよう，十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を見せて，それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「ラッセル・M・ネルソン長老は，エリヤの霊とは『家族が神聖な起源を有していることを証する聖霊の現れ』であると教えています（「新たな収穫の時」『リアホナ』1998年7月号，38）。聖霊のこの独特の影響力は，先祖と，過去と現在の家族を確認し，記録し，彼らを大切にするように人々を促しています。エリヤの霊は教会員と教

会員でない人の双方に影響を与えています。」（「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号, 25）

ホワイトボードに「エリヤの霊」についての次の定義を書くとよいでしょう。

エリヤの霊は、過去と現在の家族を確認し、記録し、彼らを大切にしようわたしたちに影響を与える聖霊の現れである。

一人の生徒にマラキ4：5-6を声に出して読んでもらいます。

- この節によれば、約束された預言者エリヤの訪れは、どのように世の家族と末日における主の救いの業に影響を与えるのでしょうか。（1836年4月3日、復活したエリヤがカートランド神殿においてジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れ、メルキゼデク神権の結び固めの鍵を授けたことを生徒に思い出してもらいます〔教義と聖約110：13-16〕。）
- 父の心と子供たちの心を互いに向けさせるとはどのような意味でしょうか。

一人の生徒に、預言者ジョセフ・スミス（1805-1844年）によるこれらの節についての次の説明を声に出して読んでもらいます。



「さて、ここの向けるという言葉は、つなぐ、すなわち結び固めると訳されるべきです。では、この重要な使命の目的は何でしょうか。あるいはどのようにして果たされるのでしょうか。鍵が渡され、エリヤの霊が来て、……聖徒たちが救う者としてシオンの山に登らなければなりません〔オバデヤ1：21参照〕。

しかし彼らはどのようにしてシオンの山において救う者となるのでしょうか。神殿を建て、バプテスマフォントを築き、亡くなった全ての先祖のために行ってあらゆる儀式を受け、……、彼らを贖うのです。ここに先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖につなぐ鎖があり、これによってエリヤの使命が果たされるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』472-473）

- ジョセフ・スミスは、わたしたちが亡くなった親族に代わって神殿の儀式を受けるとき、何になると言いましたか。（シオンの山において救う者。）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）の次の言葉を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「文字どおりシオンの山の救う者となるのです。これはどういう意味でしょうか。贖い主が全ての人のために御自身の命を身代わりの犠牲として与え、それによって救い主になられたように、わたしたちも神殿で代理の働きを行うとき、僅かながら、幕の向こう側にいる人々を救う者となるのです。彼らは、地上にいる人々によって自分たちのために何かがなされない限り、前進できないからです。」（「結びの言葉」『リアホナ』2004年11月号, 105）

イエス・キリストはわたしたちの身代わりとして贖いをなされたことを説明します。亡くなった人に代わって身代わりの儀式を執行するとき、わたしたちは「シオンの山において救う者」となります。「シオンの山」という言葉は、神の天にある町または新エルサレムの町など、幾つかの場所を指しています（ヘブル12：22；教義と聖約76：66；84：2-4；列王上8：1参照）。

- 「シオンの山において救う者」という言葉を理解することは、どのような点でわたしたちの過去と現在の家族が神殿の祝福を受けるのを助けるためにさらに多くのことを行おうという動機づけとなるのでしょうか。

この話し合いの一環として、D・トッド・クリストファーソン長老による次の言葉を分かち合うとよいでしょう。



「わたしたちはイエス・キリストの贖罪の力が際限なく及ぶことを、先祖を探し出し、彼らが自分では行えない救いの儀式を執行することによって証しています。イエス・キリストは「すべての人のために死」なれたのです〔2コリント5：15〕。」（「死者の贖いと、イエスへの証」『リアホナ』2001年1月号, 11）

教義と聖約128章には預言者ジョセフ・スミスから末日聖徒に宛てた手紙が記録されていることを説明します。その手紙の中で、ジョセフはマラキ4：5-6を引用し、それらの節について靈感によりもたらされた注釈を与えています。

生徒に教義と聖約128：18を黙読してもらいます。ジョセフ・スミスが亡くなった家族の贖いの業に携わる理由を説明した箇所に印をつけるよう生徒に言います。生徒が見つけたことについて話し合ってから、以下を話し合います。

- 先祖のために救いの儀式を行う努力をすることは、どのようにわたしたちにも救いをもたらすことになるのでしょうか。

ホワイトボードに次の言葉を書きます。**見つけ、提出し、そして教える。**

わたしたちが神殿活動と家族歴史活動を行うとき、これら3つの言葉が、わたしたちが行うよう奨励されている手順について、どのように述べているのか説明するよう生徒に言います。（生徒が必ず以下のことを見つけるようにします。神殿の儀式の業のために名前を見つ、備える。これらの名前を神殿に**提出し**、その人々のために神殿の身代わりの儀式を行う。他の人々に同じことを行うよう**教える**。）



生徒がこれらの手順に従うことからもたらされる祝福について理解するのを助けるために、デビッド・A・ベドナー長老による以下の言葉

を見せ、生徒に声に出して読んでもらうか、ビデオ“The Promised Blessings of Family History” (lds.org/topics/family-history/fdd-cook/blessings-video [英語]) を見せます。生徒が読むか見る際、家族歴史活動を行うことからもたらされる約束された祝福を見つけてもらいます。



「わたしは教会の若い人々に、エリヤの霊について学び、経験するよう勧めます。学び、先祖を探し出し、亡くなった皆さんの親族のために主の宮で身代わりのバプテスマを行う準備をするように勧めます（教義と聖約124：28－36参照）。他の人々が家族歴史を確認するのを助けるように、皆さんに切に勧めます。

皆さんが信仰をもってこの勧めに従うとき、皆さんの心は先祖に向かうでしょう。……先祖に対する愛と感謝が増すでしょう。救い主についての証と従いたいという気持ちが強くなり、不動のものとなるでしょう。わたしは約束します。皆さんはますます強まるサタンの影響から守られるでしょう。この聖なる業に参加し、これを大切にすると、青少年の時代にも生涯にわたっても守られるでしょう。」（「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号，26－27）

- 家族歴史の活動を行う人々にはどのような祝福がもたらされますか。

家族歴史の活動を行うことで祝福を受けたという個人的な経験を分かち合うことができる生徒はいないか尋ねます。

- 先祖の儀式を受けたことがある生徒は、これらの神聖な経験をしたことについて、どのような気持ちを分かち合うことができるでしょうか。

生徒に、FamilySearch.orgで利用可能なリソースを使って家族歴史を探求し、必要に応じて、ワードや支部の家族歴史相談員に助けを求めよう勧めます。自分の先祖の名前を見つける計画を立て、身代わりの儀式を行うためにそれらの先祖の名前を神殿に提出し、そして、他の人々に同じことを行うよう教えるよう生徒を励まします。

生徒の読書課題

- オバデヤ1：21；マラキ4：5－6；教義と聖約110：13－16；128：18；138：27－37，58－59
- デビッド・A・ベドナー「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号，24－27

第15課

永遠の結婚

はじめに

永遠の結婚は、日の栄えの王国の最高の階級である昇栄に欠かすことのできないものであり、それは、神殿で正当な権能によって結び固められ、そのときに交わした聖約に従って生活することによってのみ

得られるものです。この課を学ぶことにより、正しい相手と正しい場所で正しい権能によって結婚することが、最も重要な決断であることを生徒たちは再確認するでしょう。

背景となる読み物

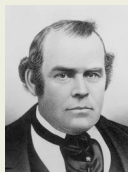
- ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号、92-95
- 「誉れある、幸福な、実り多い結婚生活」『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』第18章、189-201
- クリー・L・コッフオード，“Marriage in the Lord’s Way, Part One,” *Ensign*, 1998年6月号、7-12

教えるための提案

教義と聖約132：1-24

永遠の結婚の教義

教会の最も初期の時代から永遠の結婚の重要性が教えられてきたことを説明します。しかし、永遠の結婚の教義は、ノーブー時代まで預言者ジョセフ・スミスによって広く教えられてはいませんでした。十二使徒定員会のパーリー・P・プラット長老（1807-1857年）が、結婚は永遠に続くものだと初めて知ったときにどのように感じたかを語った次の言葉を見せます。一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「最愛の妻とこの世においても永遠の世においても固く結ばれると教えてくれた人、それはジョセフでした。……この愛情はさらに強めることができ、その愛情の中で永遠に進歩成長できると教えてくれたのも、二人が永遠に結ばれるので、子孫が天の星のように、海辺の砂のように数限りなく増えると教えてくれたのも、ジョセフでした。……昔から愛情していましたが、その理由は知りませんでした。今や—清い心—すなわち高められた強い気持ちで愛することができるようになりました。」（*Autobiography of Parley P. Pratt*, パーリー・P・プラット・ジュニア編〔1938年〕, 297-298）

- 結婚に対するプラット長老の新しい理解は、妻への感情にどのように影響したでしょうか。

永遠の結婚についての主の多くの教えが教義と聖約132章に見いだせることを説明します。一人の生徒に、教義と聖約132：19を声に出して読んでもらいま

す。他の生徒には、聞きながら、結婚が永遠のものになるために満たさなければならぬ条件を見つけてもらいます。

- 結婚が永遠のものとなるために満たさなければならないのは、どのような条件でしょうか。（生徒たちは次のことを理解するでしょう。**神の御言葉により結婚し、約束の聖なる御霊により結び固められ、聖約にとどまる人々にとって、結婚は永遠である。**）
- 「聖約の中にとどまる」とはどういうことでしょうか。（結婚の聖約の諸条件を守ること。一人の男性と一人の女性が永遠の結婚に入るとき、互いに、そして神と厳粛な約束を交わします。伴侶に対して、完全なる貞節をもってお互いに常に変わず愛し、仕えることを約束します。神に対して、神殿で交わした聖約の諸条件を守ることが厳粛に約束します。）
- 結婚は「約束の聖なる御霊により結び固められ〔る〕」とはどういう意味でしょうか。（約束の聖なる御霊とは、聖霊の呼び名の一つであると指摘してもよいでしょう。聖霊は、「慰め主」や「啓示者」など、多くの呼び名を持っています。それぞれの呼び名は、聖霊の具体的な責任や働きを示しています。）

約束の聖なる御霊という呼び名を生徒たちが理解できるように、次の言葉を提示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「聖霊は約束の聖なる御霊である（使徒2：33）。聖霊は人の義にかなった行いや儀式、聖約を、神に受け入れられるものとして確認される。約束の聖なる御霊は、救いの儀式が適切に執行されたこと、またそれに伴う聖約が守られていることを御父に証される。」（『聖句ガイド』「約束の聖なる御霊」 scriptures.lds.org）

- 神殿で結び固められる以上のことがなぜ昇栄に必要なのか、その理由を説明するのにこの言葉はどのような助けになるでしょうか。それ以外に何がなければならないでしょうか。（わたしたちが義にかなった生活をし、バプテスマ、聖餐、神権への聖任、神殿の儀式を含め、全ての救いの儀式に忠実であり続けることも必要です。わたしたちが忠実であり続けるときのみ、聖霊は聖約が守られていることを御父に証します。）

次の図表を使って、市民結婚と比較対照することで、永遠の結婚への生徒たちの理解を深めてもらいます。ホワイトボードに図表を書き写します。

市民結婚

教義と聖約 132：15 – 18

日の栄えの結婚

教義と聖約 132：19 – 24

クラスの生徒に、二人一組になってもらいます。それぞれの組の一人の生徒に、教義と聖約132：15－18を研究してもらい、もう一人には、教義と聖約132：19－24を研究してもらいます。市民結婚を待っている人の状態と永遠の結婚を待っている人の祝福を述べている言葉や表現を、生徒たちに書き出してもらいます。

時間を十分に取ってから、見つけたことを生徒たちに互いに分かち合ってもらいます。その後、次の質問をする。

- 死後、市民結婚をする人の状態は永遠の結婚をする人の状態とどのように違うでしょうか。（生徒の答えを聞きながら、ホワイトボード上の図表にそれらの答えを書いていくとよいでしょう。20－24節に述べられている状態は、アブラハムの聖約の中で約束された祝福に似ていることを指摘するとよいでしょう〔創世17：1－7；22：17参照〕。）

この質問に答えられるように、七十人のクリー・L・コッフオード長老による次の言葉を分かち合うとよいでしょう。



「日の栄えの結婚の約束に関わる権威は神から来るものであり、その約束を尊ばなかったために起こる結果も神から来るのです。神殿外での結婚において、花婿と花嫁の約束に関して権威を持つのは、その二人の誠実さです。それ以上ものではありません。それ以上にはなれないのです。その権威は人から来るのであり、神から来るものではありません。」（“Marriage in the Lord’s Way, Part One,”

Ensign, 1998年6月号, 9)

- ホワイトボードに書かれている状態を比較して、あなたはどのように考えますか。
- 神殿で結婚し、聖約に忠実に生活しようと努める人たちの家庭で、どのような祝福を目にしたことがありますか。聖約を尊ぶためにそれらの夫婦がしていることは何でしょうか。（この話し合いの一部として、七十人のL・ホイットニー・クレートン長老による次の結婚についての話を分かち合うとよいでしょう。「結婚ほど喜びをもたらし、善を生み、人を高める人間関係は他にない。」〔「結婚—よく見て覚えましょう」『リアホナ』2013年5月号, 83〕）

教義と聖約132章には、多妻結婚の実施についての主の教えの幾つかも含んでいることを生徒たちに説明します。主は、全てのことの回復の一部として多妻結婚の律法を実施するよう聖徒たちにお命じになりました（使徒3：21；教義と聖約132：45参照）。1890年にウィルフォード・ウッドラフ大管長が、主は教会員が多妻結婚をすることをもはや求めてはおられないということを明らかにするまで、教会員はこの律法を実行していました。多妻結婚について現在の教会の立場を明確にするために、一人の生徒に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910－2008年）の次の言葉を読んでもらいます。



「もしわたしたちの教会員の中に多妻結婚を実行している者が見つかった場合、その人は教会で科することのできる罰則の中でも最も重い罰である破門の処分を受けることになります。……1世紀以上も前に、神は、多妻結婚の実施を中止するようにとその預言者ウィルフォード・ウッドラフに明確に示されました。これはつまり、現在、多妻結婚は神の律法に反するという事です。法的にも宗教的にも多妻結婚が認められている国々においてさえ、教会は、結婚は一夫一妻でなければならないと教えており、多妻結婚を実行している人々を教会員として受け入れることもしていません。」（「人々がわたしたちについて尋ねること」『リアホナ』1999年1月号, 77-78）

多妻結婚について生徒たちから質問がある場合は、福音のテーマ、「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」lds.org/topicsを参照してもらいます。

教義と聖約131：1-4

永遠の結婚を選ぶことの大切さ

一人の生徒に、教義と聖約131：1-4を声に出して読んでもらいます。主が定められた方法で結婚することが大切な理由をクラス全員に見つけてもらいます。

- 結婚の新しくかつ永遠の聖約に入ることを選ぶ人々を待っているのは、どんな祝福でしょうか。（生徒たちが次の原則を理解していることを確認します。わたしたちは結婚の新しくかつ永遠の聖約に入るときに、日の栄えの王国の最高の階級に高められることができる。ここでの新しくという言葉は、この聖約がわたしたちの神権時代に新しく回復されたという意味であることを説明します。永遠という言葉は、この聖約が永遠に続くこと、またそれは救いの計画の一部として前世の霊界において定められたことを意味しています。アダムの時代からずっとイエス・キリストの福音の一部なのです。増し加えるという言葉については、預言者ジョセフ・スミスが日の栄えの王国の最高の階級を得る人々は「日の栄えの栄光において増し加えられ、子孫が増え続ける」と教えました〔**History of the Church**, 第5巻, 391で引用）。）

ラッセル・M・ネルソン長老の次の話を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「〔救い〕とは、肉体と霊の死から救われることを意味します。……〔昇栄〕とは、日の栄えの王国における最も幸福で栄光に満ちた状態に到達することを意味します。」（「救いと昇栄」『リアホナ』2008年5月号, 7-8）

「救いは個人的な事柄ですが、昇栄は家族の事柄です。神殿で結婚し、その結婚が約束の聖なる御霊により結び固められる人々のみが、死後も配偶者であり続け、日の栄えの栄光の最高の階級すなわち昇栄を得るのです。」（「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 92）

- なぜ永遠の結婚はそれほど重要なのでしょうか。（生徒の答えを聞きながら、御霊に導かれるままに、今日の世の人々が結婚を、自分たちのための神の計画を実現するというよりもキャリアのようなものを尊重することで、結婚しないことを選択し荒廃していく傾向にあることを強調してもよいでしょう。結婚を拒否することで、神が現在から永遠にわたって与えたいと望んでおられる祝福を失っています。）
- 神殿結婚が、市民結婚や結婚せずに一緒に暮らすことよりも大きな幸福の可能性を与えるのはなぜだと思いますか。

自分たちの標準をいかなる形であれ妥協させない限り、全ての聖徒たちが最終的に永遠の結婚の祝福にあずかることを生徒たちが理解できるように、ハワード・W・ハンター大管長（1907–1995年）の次の言葉を一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「永遠の結婚や永遠の家族をはじめとする全ての祝福は、ふさわしければ誰にでも与えられるということです。ある人にとってはこの祝福を受けるのに長い時間がかかり、場合によっては来世まで待たなくてはならないこともあります。祝福が拒まれることは決してないのです。」（「あらゆる人々のための教会」『聖徒の道』1990年8月号, 43）

- 皆さんの中で神殿結婚をしたいのにその機会に恵まれない人たちを知っている人はどれぐらいいますか。ハンター大管長の話にある約束は、その人たちにとってどのような助けとなるのでしょうか。

生徒たちに、次の質問のうちの一つまたは両方への答えを書き留めてもらってレッスンをまとめます。

- わたしは、神殿で結び固め受けるためにどんな決意をしているだろうか。
- 神殿での結び固めに備えるために、わたしの生活のどんな部分を変えるまたは成長させることが必要だろうか。

神殿結婚に備えるために行っていることを数人の生徒たちに分かち合ってもらいます。神殿で結び固められたときに交わした聖約を夫と妻が守るときに、二人は永遠に結ばれるという証を分かち合います。この知識があなたの人生にどのように祝福となってきたかを分かち合います。

生徒の読書課題

- 教義と聖約131：1–4；132：1–24
- ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 92–95

第16課

生殖の神聖な力

はじめに

「生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号，129）全ての神の子供たちにとって，純

潔の律法に従って生活するには，思いと同様に行いにおいても高潔であることが求められます。夫と妻の性的な交わりは美しくかつ神聖なものであり，生殖と愛情表現のために神が定められたものです。

背景となる読み物

- デビッド・A・ベドナー「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号，41–44
- ダリン・H・オクス「ポルノグラフィー」『リアホナ』2005年5月号，87–90
- リンダ・S・リーブズ「ポルノグラフィーからの保護—キリストを中心とする家庭」『リアホナ』2014年5月号，15–17
- 「性的な清さ」『若人の強さのために』35–37

教えるための提案

詩篇24：3–4；マタイ5：8；モルモン書ヤコブ2：31–35；アルマ39：3–5，9；教義と聖約42：22–24；121：45–46

主の純潔の律法

次の文章をホワイトボードに書いて，どのように完成させるかを生徒たちに尋ねます。

「この時代にはびこっている罪は_____。」

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）の次の言葉を表示して，生徒に声に出して読んでもらいます。



「この時代にはびこっている罪として性的不道徳があります。預言者ジョセフは，このことでイスラエルの長老たちは他のいかなる人々よりも，多くの誘惑，多くの攻撃，多くの苦難に遭うと言っています。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』203）

- ベンソン大管長の言葉は現在のわたしたちの社会にどのように当てはまるでしょうか。

『若人の強さのために』の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。それを聞きながら、生徒たちに主の純潔の律法を一つの文章でどのように述べるかを考えてもらいます。

「性的な清さに関する主の標準は明確で不変です。結婚する前にどのような性的な関係も持つてはなりません。結婚した後は伴侶に対して完全に誠実であってください。……

結婚する前に、情熱的なキスをしたり、相手の上に覆いかぶさったり、服の上から裸を脱いで裸で裸、人の隠れた神聖な場所に触れてはなりません。性的な思いを刺激するいかなる行為もしてはなりません。自分の体に対してもそのような感情を刺激してはなりません。」（『若人の強さのために』35-36）

- 一つの文章で、主の純潔の律法をどのように述べますか。（生徒の答えを聞きながら、家族の宣言から次の教義を強調します。「**生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。**」〔「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129〕）
- 『若人の強さのために』からの引用の第2段落に概略されている警告は、さらに深刻な道徳的罪を犯すことからどのように守ってくれるのでしょうか。

ホワイトボードに以下の表を書き写します。クラスを二つに分けて、一方に「結果」という表題の下の聖句を研究してもらい、残りの半分には「祝福」という表題の下の聖句を研究してもらいます。生徒たちが研究するときに、聖典の脚注を参照するよう勧めます。

純潔の律法を破ることが招く結果—

モルモン書ヤコブ2：31-35

アルマ39：3-5, 9

教義と聖約42：22-24

純潔の律法に従って生活することから得られる祝福—

詩篇24：3-4

マタイ5：8

教義と聖約121：45-46

十分な時間を取った後、学んだことを全員で話し合ってもらいます。その後、次の質問をします。

- 純潔の律法を犯すことが招く結果は、この戒めを守ることの重要性をどのように示しているのでしょうか。
- 純潔の律法に従うことの祝福をどのように経験しましたか。

家族の宣言の次の真理を表示します。

「わたしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）

- この言葉はあなたにとってどのような意味がありますか。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老とデビッド・A・ベドナー長老の次の話を用いて、生徒たちがこの真理への理解を深めるのを助けます。一人の生徒にこの話を声に出して読んでもらい、クラス全員に、純潔の律法が永遠に重要である理由に耳を傾けるように言います。



「肉体は霊にあってきわめて重要な位置を占めています。この特筆すべき、また非常に大切な末日聖徒の教義は、性的な罪がなぜそれほど重大な罪なのかを明らかにしています。わたしたちは次のように主張しています。神が授けられた他の人の肉体を神の承認なくして不当に扱う人は、まさしくその人の霊を傷つけ、人生の中心的な目的と過程、すなわちボイド・K・パッカー長老の言葉を借りれば、命への『真の鍵』を台なしにしているのです。男性であれ女性であれ他の人の肉体、すなわち他の人の霊を利用する人は、（人の霊を救い、永遠の命を可能にくださった）キリストの神聖な贖罪を汚していることとなります。」（ジェフリー・R・ホランド「個人の清さ」『リアホナ』1999年1月号, 84参照）



「男女間の結婚は、前世の霊が現世へ入るための承認された手段です。結婚前の禁欲、結婚後の貞節はこの神聖な手段を汚れから守るものです。生殖の力には霊的に重要な意味があります。この力を誤って用いるならば、御父の計画と現世の生活の目的が損なわれます。創造主である天の御父と御子は、御二方の創造の力の一部をわたしたち一人一人に委ねられました。……その神聖な力についてどう思うか、どう用いるかによって、現世における幸福と永遠の世における行く末がほぼ決定されるのです。」（デビッド・A・ベドナー「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号, 42）

- 純潔の律法はなぜ永遠に重要なのでしょうか。
- 生殖の力を使うことは、現世と永遠におけるわたしたちの幸福にどのように影響するのでしょうか。

生徒たちに、純潔の律法に従う助けとなるように、取り入れることができる警告を書き留める時間を与えます。

マタイ5：27-28；ローマ8：6；教義と聖約63：16

ポルノグラフィーの危険

生徒たちに次の聖句を読んでもらいます。マタイ5：27-28；ローマ8：6；教義と聖約63：16生徒に、「最初の聖句から始めて、次の聖句と相互参照し、同じようにして最後の聖句まで相互参照していく」という聖句の鎖づくりという聖文研究の技術を練習してもらおうとよいでしょう。

- これらの聖句はどんな行為を禁じていますか。（生徒たちに認識してもらいたい行為の一つはポルノグラフィーの使用です。）
- これらの聖句が明らかにしているポルノグラフィーを見たり読んだりすることが招く結果は何でしょうか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老とリチャード・G・スコット長老および中央扶助協会会長会第二顧問のリンダ・S・リーブズ姉妹が語った次の言葉を見せます。一人の生徒にそれらを声に出して読んでもらい、他の生徒にはポルノグラフィー使用することが招くその他の結果を調べてもらいます。



「ポルノグラフィーは、異性との間に正常な感情に基づく、ロマンチックで霊的な関係を築く能力を損ないます。」（ダリン・H・オークス「ポルノグラフィー」『リアホナ』2005年5月号, 89）



「サタンはポルノグラフィーの常習的な力を利用して、御霊に導かれる能力を制限する達人となっています。どのような形であれ、不道徳で、精神をむしばむ、破壊的なポルノグラフィーの猛攻撃は、大きな悲しみ、苦しみ、心痛、結婚生活の破綻を引き起こしてきました。」（リチャード・G・スコット「霊的な導きを得るために」『リアホナ』2009年11月号, 8）



「ポルノグラフィーは危険なものであり、生活を支配する力を持ち、御霊を失わせ、感情をゆがめ、人を欺き、人間関係を破綻させ、自制心を奪い、さらに時間と思いと活力のほとんどを失わせることを〔子供と青少年〕は知る必要があります。」（リンダ・S・リーブズ「ポルノグラフィーからの保護—キリストを中心とする家庭」『リアホナ』2014年5月号, 15）

ポルノグラフィーの使用やその他の不道徳に悩んでいる生徒たちに、ビショップや支部会長を訪ねるように励まします。悔い改めを通して、平安や幸福を取り戻す方法を見つけることができると生徒に確信させます。次の真理について証をします。ポルノグラフィーを避けることは、この世の人生においても永遠にわたってもより大きな幸福へと導く。ポルノグラフィーの使用に関わっている生徒たちを助けられるように、次の教会ウェブサイトホワイトボードに書き出すとよいでしょう。

overcomingpornography.org

addictionrecovery.lds.org

創世2：21－24

結婚生活における性的な交わりの役割

注：本課のこの部分は本質的に扱いが難しいので、預言者の教えに頼り、自分と伴侶とのことを話したりするなど、ここに書かれている以上のことを教えることは避けます。

主が述べられた方法である結婚により二人の間に生じる性的な交わりは、神聖であり、適切で、特別なものであることを証します。

一人の生徒に創世2：21－24を声に出して読んでもらいます。

- 具体的には言及していませんが、これらの聖句は夫と妻の間の性的な交わりの目的は何だと示唆しているのでしょうか。（自分の伴侶と一体になること。）

ジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を表示します。



「人間の性的な交わりは、結婚した男女のために取っておかれているものだという事です。なぜならそれが神により定められた欠けるところのない一体化、すなわち完全性と一致の究極的象徴だからです。エデンの園に始まり、結婚は一人の男性と一人の女性が、その心、希望、生活、愛、家族、未来、その他あらゆるものに関し完全に合体するということを意味します。」（「個人の清さ」『リアホナ』1999年1月号、84）

- ホランド長老の話は、どのように夫と妻の性的な交わりの目的をより理解する助けとなるのでしょうか。（生徒たちは次のことを理解するでしょう。結婚生活での性的な交わりは、夫と妻の間の霊的および情緒的なきずなを強める。）

配布資料として次の話を配ってもよいでしょう。生徒一人一人にプリントを配り、結婚生活における性的な交わりの目的にアンダーラインを引いてもらいます。



「夫と妻の（つまり夫と妻だけの）二つの性の合体は、この世に子供をもたらすという最も重要な目的のためにあります。性的な経験は、単なる戯れや、情熱や情欲を満たすためだけに主が意図されたことでは決してありません。」（スペンサー・W・キンボール, “The Lord’s Plan for Men and Women,” 1975年10月号、4）



「末日聖徒イエス・キリスト教会には、性道徳という一つの不変な標準があります。性的な関係は神の計画の中で定められた婚姻関係を結んだ男女間でのみ認められています。そのような関係は単に好奇心や性欲を満たすためのものでもなく、自分中心の娯楽や遊びでもありません。……それは現世の生活において人の神聖な特質や可能性を表す最高の方法の一つであり、夫婦間の情緒的、精神的きずなを

強める一つの方法です。」（デビッド・A・ベドナー「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号, 42）

生徒たちがどの目的にアンダーラインを引いたかを話し合います。

純潔の律法について学んだことを生徒たちに深く考えてもらい、その後で次の質問に対する答えを自分のノートに書いてもらいます。

- 純潔の律法を理解することは、道徳的に清い生活をする決意をどのように強めるでしょうか。
- 純潔の律法に従って生活する理由は何ですか。

最後に、クラスで話し合った原則について証を述べて、レッスンをまとめます。

生徒の読書課題

- 創世2：21－24；詩篇24：3－4；マタイ5：8, 27－28；ローマ8：6；モルモン書ヤコブ2：28, 31－35；アルマ39：1－9；教義と聖約42：22－24；63：16；121：45－46
- デビッド・A・ベドナー「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号, 41－44
- 「性的な清さ」『若人の強さのために』35－37

第17課

増えよ，地に満ちよと いう戒め

はじめに

増えよ，地に満ちよという戒めは，天父の永遠の計画の不可欠な部分であり，今日も有効です。この課は，生徒たちが生ける預言者の言葉を研究し，祈り

を通して天父の導きを求めるときに，この世に子供たちをもたらすことについての決断をするに当たり導かれるということを理解できるよう助けます。

背景となる読み物

- ニール・L・アンダーセン「子供」『リアホナ』2011年11月号，28-31
- ラッセル・M・ネルソン「墮胎—無抵抗な者への暴行」『リアホナ』2008年10月号，14-19

教えるための提案

創世1：27-28；9：1；35：11

今なお有効な子供をもうけなさいという戒め

レッスンの前に，次の文章をホワイトボードに書きます。「家族—世界への宣言」

「神がアダムとエバに授けられた最初の戒めは，彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち，増えよ，地に満ちよ，という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。」

次の質問をしてレッスンを始めます。

- これらの二つの文章について考えるとき，どのような思いが浮かびますか。

生徒たちに，創世1：27-28，創世9：1，および創世35：11を調べ，増えよ，地に満ちよという戒めを神が命じられた人の名前を見つけてもらいます。聖文の鎖を作りながら，自分の聖典の中でこれらの参照聖句をつなぐように生徒たちに勧めるとよいでしょう。この戒めは，どの福音の神権時代にも与えられたことを，生徒たちが理解していることを確認します。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が語った次の言葉を見せて，それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「子供を産み、神の霊の子供たちに肉体を与えられるということは、夫婦にとって最高の特権です。わたしたちは家族の大切さを信じています。そしてわたしたちは、子供の大切さを信じています。

夫婦に子供が生まれるとき、夫婦は子供たちを地上に連れて来るといふ天の御父の計画の一部を実行しているのです。」（「子供」『リアホナ』2011年11月号, 28）

次の原則を述べることにより、この言葉の中の最後の文章を強調します。夫婦が子供たちをこの世に連れて来るとき、天の御父の幸福の計画の一部を実行している。ホワイトボードの文章に言及し、次の質問をします。

- 主が現代の預言者を通して、「増えよ、地に満ちよ」という戒めを現代において繰り返してこられたのはなぜだと思いますか。（例として、1960年から、アメリカ合衆国の既婚の母親の出産率は45パーセント減少したことを生徒たちに話すとよいでしょう。）
- 夫婦が子供をもうける機会が少なくなっている理由は、何だと考えられるでしょうか。（答えには、金銭的な不足、まだ学業を終えていない、まだ仕事に就いていないなどがあるかもしれません。）
- 神の子供たちのための神の計画を理解することは、いつ何人子供をもうけるか決めようとしている夫婦にとって、どのような助けになるでしょうか。

夫婦は、困難な状況のときでさえも、子供をもうけるという戒めを守ることを可能にする神からの祝福を受けることを説明します。ニール・L・アンダーセン長老が話した、七十人のジェームズ・O・メイソン長老の人生から、次の経験を紹介します。



「メイソン長老は結婚してわずか数週間後に、家族への責任というものに対する優先順位を学ぶ経験をしました。長老は言いました。

『わたしとマリーは、わたしが医学校を卒業するまでは、彼女が仕事を続けるのはやむを得ないことだと思っていました。自分たちの希望とは違うけれども、子供はその後でと思っていたのです。〔ある日わたしの実家で教会の機関誌を見ていると〕結婚の責任に焦点を当てた、当時十二使徒定員会の一員だったスペンサー・W・キンボール長老の記事が目に入りました。キンボール長老によると、増え、地を満たすことは一つの神聖な責任だということでした。実家が教会執務ビル〔の近く〕にあったので、わたしはすぐにそちらに向かい、記事を読んで30分後には机を挟んでスペンサー・W・キンボール長老と向かい合っていました。（今ではそう簡単にはいきませんが。）

わたしは医者になりたいのだと説明し、子供もうけるのを遅らせる以外に方法はないと言いました。キンボール長老は辛抱強く耳を傾け、それから優しい声で言いました。『メイソン兄弟、主はあなたが医者になるために御自身の最も大切な戒めをあなたが破ることを望まれるでしょうか。主の助けがあれば、子供をもうけても医者になることができるはずですよ。信仰を忘れたのですか。』

メイソン長老はこう続けました。『それから1年足らずで最初の子が生まれました。わたしとマリーは熱心に働き、主は天の窓を開いて祝福してくださいました。』4年後に医学校を卒業するまでに、メイソン家族はもう二人の子に恵まれました。」（「子供」29）

- この経験談でどのようなことが印象に残りましたか。

結婚しているということは、子供をもうけるという戒めを守るための不可欠な部分だということを強調します。「家族の宣言」から次の言葉を読みます。

「子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。」

- 子供が「結婚のきずなの中で」生まれるときに、子供にとってどんな良いことがありますか。
- 子供をこの世にもたらすことにより、天父の計画が成就する助けをすることについて、どんな思いや気持ちを抱きますか。

1ニーフアイ15：11；教義と聖約29：6

主の導きを求める

ニール・L・アンダーセン長老の次の言葉を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「いつ、そして何人子供をもうけるべきかは、夫婦と主の間で個別に決めるべきことです。このような神聖な事柄は心から祈ったうえで決断し、大いなる信仰をもって実行すべきです。」（「子供」28；斜体文字付加）

- これらの決断は「大いなる信仰をもって実行」すべきであるということは、どのような意味でしょうか。

生徒に、1ニーフアイ15：11と教義と聖約29：6を研究し、夫婦がいつ、そして何人子供をもうけるべきかについて答えを求めるとき、使うことができる幾つかの原則を学んでもらいます。

- いつ、何人子供をもうけるかという夫婦の決断を助けるこれらの引用部分で、どんな原則を見いだしましたか。（以下の原則を強調します。夫婦が信仰を働かせて祈りにより主に求めるとき、主は子供をもうけることについての決断に導きを与えてくださる。）
- これらの事柄について主と相談することが夫婦にとって重要なのは、なぜだと思えますか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「夫婦は何人子供をもうけるべきでしょうか。二人に世話が可能な子供全員です。もちろん、子供を世話するというのは、ただ命を与える以上のことを意味しています。子供たちは、愛され、しつけられ、教えられ、食べ物や衣服や住む場所を与えられ、子供たち自身が良い両親として能力を十分に発揮し始められるように育てられなければなりません。」 (“The Great Plan of Happiness,”

Ensign, 1993年11月号, 75)

- 夫婦が何人子供をもうけるかを決めるために、オークス長老の教えはどのように役立ちますか。

このレッスンをする間、この世では両親になる機会がないことも考えられる生徒たちを気遣ってください。ニール・L・アンダーセン長老の次の言葉が役に立つでしょう。



「結婚している義になかった夫婦で、心から望みながらも子供に恵まれない人たちや、子どくさんの家族を計画していたのに望んでいたほど多くの子供に恵まれていない夫婦にとって……、出産は心の痛む話題かもしれません。

死すべき状態にある間に経験する試練については、必ずしも説明できるわけではありません。時に人生は非常に不公平です。主が命じられたことをそのとおりに行いたいと望んでいるときには特にそうです。主の僕として、次の約束に疑問の余地がないことを約束します。『この世において永遠の結婚と親になる祝福を受けられない状態にある忠実な会員は、神と交わした聖約を守っている限り、約束されたすべての祝福を永遠という時の中で受ける。』〔『手引き2—教会の管理運営』1.3.3〕（「子供」30）

詩篇127：3；教義と聖約59：6

命の神聖さ

一人の生徒に詩篇127：3を声に出して読んでもらいます。

- 「子供たちは神から賜った嗣業であ〔る〕」とはどういう意味でしょうか。（子供たちは神からの贈り物です。）

「家族の宣言」から次の言葉を読みます。「わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。」この原則の証—子供たちは神からの賜物であるとわたしたちが理解するとき、子供たちの命の神聖さをさらに理解します。世界の至る所で、墮胎が容認されており、毎年何百万という墮胎が行われています。墮胎についての教会の方針を生徒たちが理解する助けとなるように、次の話を紹介して、墮胎が正当とされる状況について耳を傾けるように言います。

「人の命は神から与えられた神聖な賜物です。個人的または社会的な都合による人工妊娠中絶は、神の御心と戒めに反するものです。……末日の預言者たちは、『あなたは……殺してはならない。これに類することをしてはならない』という主の宣言に基づいて堕胎に公然と反対してきました（教義と聖約59：6）。この件に関する預言者たちの勧告にあいまいな点は一切ありません。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は堕胎手術を受けたり、実施したり、勧めたり、費用を支払ったり、手配したりしてはなりません。どのような方法であれ、堕胎を勧める教会員は、教会宗規上の処置を受けることになるでしょう。

教会の指導者は例えば、近親相姦や暴行による妊娠の場合、母体の生命や健康が重大な危機にさらされていると資格ある医療機関によって判断された場合、あるいは胎児に重大な障がいがあるとして誕生後も生き延びる可能性がないと資格ある医療機関によって確認された場合など、幾つかの例外的な状況を除いて、堕胎は正当化できないと語っています。しかし、これらの例外的な状況であっても、堕胎が自動的に正当化されるわけではありません。たとえこのような状況に直面している人であっても、地元の教会の指導者と相談し、熱心な祈りを通して神からの確認を得てからでなければ、堕胎を考えるべきではありません。」（福音のテーマ「堕胎」lds.org/topics）

- どのような例外的な状況の下で堕胎が正当化されるでしょうか。
- そのような状況がある場合でさえ、堕胎を考えている人々はどんな勧告を求めるべきでしょうか。

養子縁組が堕胎に代わる無私を選択肢であることを生徒たちが理解する助けとなるように、次の言葉を紹介しします。

「わたしたちは……父親と母親のいる安定した家庭に、養子縁組を通して自分の子供を委ねる未婚の親に対する支援を表明します。また、そうした子供を養子として迎え入れる既婚の母親と父親への支援も表明します。

……。父親と母親の双方と、安全で、子育てに適した、安定した関係を保つことは子供の福利に欠かせません。養子縁組を選択するとき、未婚の親は、自身の子供にこの最も大切な祝福を与えるのです。養子縁組は、愛に満ちた無私の決断であり、子供にとっても生みの親や養父母にとっても、この世から永遠にわたる祝福となります。」（大管長会の声明、2006年10月4日付、『リアホナ』2008年10月号、19で引用）

このレッスンをまとめる際、あなたの人生に子供がもたらした喜びの証を分かち合います。この世に子供たちをもたらず神聖な機会にふさわしく備えるように、生徒たちを励まします。

生徒の読書課題

- 創世1：27–28；9：1；35：11；詩篇127：3；1ニーファイ15：11；教義と聖約29：6；59：6；モーサヤ2：27–28
- ニール・L・アンダーセン「子供」『リアホナ』2011年11月号、28–31

第18課

結婚関係を育む

はじめに

「夫婦は、互いに愛と関心を示し合う……という厳粛な責任を負っています。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）夫婦の関係に天父とイエス・キリストを交え、イエス・キリス

トの福音の原則に一致して生活することによって、夫と妻は神の計画の目的である究極の幸福を得ることができます。

背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「結婚のきずなをはぐくむ」『リアホナ』2006年5月号, 36-38
- デビッド・A・ベドナー「結婚—神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号, 50-55
- L・ホイットニー・クレートン「結婚—よく見て覚えましょう」『リアホナ』2013年5月号, 83-85

教えるための提案

マタイ19：3-8；エペソ5：25, 28-31；教義と聖約25：5, 13-15；42：22

実りある結婚生活を築く

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「結婚には、どんな人間関係にも増して、大きな幸福をもたらす可能性があります。しかし、その幸福を十分享受していない夫婦もいます。そのような夫婦は、恋心が薄れ、互いの存在を当たり前に思い、他への興味や無関心の影を放置しているため、結婚の本来の姿を見失っています。もっと注意深く育めば、結婚生活はさらに幸せなものになります。」（「結婚のきずなをはぐくむ」『リアホナ』2006年5

月号, 36)

- 結婚生活を「薄れ」させるのは、どんな習慣や態度だと思いますか。

結婚生活を薄れさせる夫婦は、離婚によって結婚生活を終わらせるという選択をすることもあることを説明します。救い主がこの世での教導の業をなされたとき、数人のパリサイ人がささいな理由でさえも離婚は正当とされると論じ合い、離婚についての意見を尋ねることでその論争にイエスを巻き込もうとしました。マタイ19：3-8を一人の生徒に声に出して読んでもらい、生徒たちに、結婚に対する救い主とパリサイ人の見解の差異を見つけてもらいます。必要ならば、離縁状とは男性が妻を出す前に妻に渡す法的な書状であることを説明します。

- 3節のどんな言葉が結婚と離婚に対するパリサイ人の見解を表していますか。（「何かの理由で」「夫がその妻を出す」または離婚するのは、差し支えなかった。）
- この考えに反論して結婚の厳粛さを断言している8節において、イエスは何を教えられたでしょうか。（アダムとエバの時代から、結婚は永遠に続くように神が意図されました。この教義を強調するために、生徒たちに8節と伝道3：14およびモーセ4：18を相互参照してもらおうとよいでしょう。）

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が語った次の言葉を紹介する。



「昇栄を目指す結婚には、離婚は想定されていません。結婚生活は永遠に存続すると信じ、互いに神のようになることを目標としているからです。二人は主の神殿において永遠に結婚します。しかし、ある結婚はそうした理想に向かって進みません。『[わたしたち]の心が、かたくななので』[マタイ19：8] 主は日の栄えの標準に基づく結果を今は強要なさいません。主は離婚した人も、より高い律法で定められている不道德の染みがないものとして、再び結婚することを認められるのです。」（「離婚」『リアホナ』2007年5月号, 70）

昇栄を目指す結婚生活に至るために、夫と妻にできることを生徒たちが理解できるように、家族の宣言の第6段落の最初の文章を生徒に読んでもらいます。

- 夫と妻は互いに相手に対してどんな義務があるでしょうか。（生徒の答えを聞きながら、家族の宣言から次の文章をホワイトボードに書きます。「夫婦は、互いに愛と関心を示し合う……という厳粛な責任を負っています。」）
- 結婚した夫婦が「互いに愛と関心を示し合う……という厳粛な責任」があるとはどういう意味でしょうか。

生徒たちがこの責任をさらによく理解できるように、クラスの半分の生徒たちに教義と聖約25：5、13–15を読んでもらい、他の半分の生徒たちには教義と聖約42：22とエペソ5：25、28–31を読んでもらいます。生徒に、結婚のきずなを育む方法を教えている原則を探してもらい、その後、見つけたことをホワイトボードに書いてもらいます。十分に時間を取った後で、ホワイトボードに書かれた事項の一つを選んでもらい、自分にとってどんな意味があるかを説明してもらいます。

七十人会長会のL・ホイットニー・クレートン長老の次の言葉を紹介し、**結び合う**と**終止符を打つ**という二つの言葉への特別な見識に耳を傾けるように言います。



「わたしが見た最高に幸せな結婚では、『ともに愛を持って生活する』という最高に幸せな戒めの一つに従順であることがすぐに分かります[教義と聖約42：45]。夫たちに主は命じられました。『あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わなければならない。その他のものと結び合ってはならない。』[教義と聖約42：22] 教会手引きには次のように書かれています。『この戒めの**結び合う**とは、

誰かに完全に献身し、誠実であるという意味である。結婚した男女は互いに仕え合い、愛し合うことによって、また互いと神に対して完全に忠実であるという聖約を守ることによって、神と結び合い、互いに結び合う。……〔夫も妻も〕独身生活に終止符を打ち、生活の最優先事項として夫婦関係を築き上げる。彼らは神と互いに対して交わした聖約を守ることよりも、他の人や関心事を生活の中で優先させることはない。』〔『手引き第2部—教会の管理運営』1.3.1〕よく見て覚えましょう。成功している夫婦の愛は、互いへの完全な献身が伴う愛です。』（「結婚—よく見て覚えましょう」『リアホナ』2013年5月号、84—85）

- 夫または妻が、互いに「結び合う」ために「終止符を打」たなければならぬことには、どんなことがあるでしょうか。
- あなたの知っている夫婦は、どんな行動で伴侶に愛や関心を示していますか。
- 皆さんの未来の伴侶に対して、無私的愛や関心を示す備えができるように、今何をしていますか。

アブラハム5：15—18

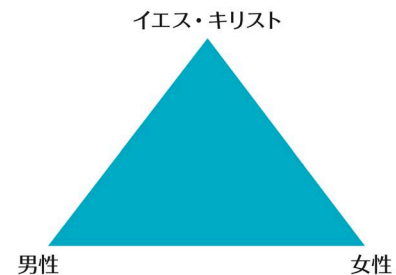
結婚において一体となる

一人の生徒に、アブラハム5：15—18を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、聞きながら、これらの聖句が夫と妻の関係について教えていることを見つけてもらいます。

- これらの聖句によると、夫と妻がどのような目標に向かってともに努力すべきでしょうか。（「一体」になること。）

次の図をホワイトボードに描きます。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉のコピーを各生徒に配って、一人の生徒に第一段落を声に出して読んでもらいながら、クラス全員に図表が表していることを考えてもらいます。



「結婚の聖約を交わした二人の間には主イエス・キリストがおられます。救い主が三角形の頂点におられることに注目してください。女性は三角形の底辺の一方の端に、男性は反対側の端にいます。さて、この男女がそれぞれ着実に『キリストのもとに来て、キリストによって完全に』なろうと努力したら、二人の関係はどうなるでしょう（モロナイ10：32）。贖い主のおかげで、また贖い主を通じて、二人の距離は次第に縮まります。

夫と妻がそれぞれ主に近寄り（3ニーファイ27：14参照）、互いに仕え合い、大切にし合い、経験を共有し、一緒に成長し、一つになり、それぞれの異なった性質を組み合わせて祝福が受けられるようになれば、御父が子供たちに熱望しておら

れることが徐々に成就するのが実感できるようになります。御父の計画の最大の目的である究極の幸福は、永遠の結婚の聖約を交わし、それを尊ぶことによって得られるのです。」（「結婚—神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号, 54）

- ベドナー長老によると、夫と妻が互いに近づくことを可能にするのは何でしょうか。（生徒の答えを聞きながら、次の原則を強調します。夫と妻がキリストのもとに来るために努力するとき、結婚において一つになることができる。
- キリストのもとに来ることが、どのように夫と妻が近寄る助けになると思いますか。

ベドナー長老の話の第2段落を、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。その後、次の質問をします。

- ベドナー長老によると、神が与えたいと望んでおられる「究極の幸福」を受け取るために夫婦は何をしなければならいでしょうか。
- 結婚生活において一致と喜びを得るために、夫婦がどんなことをしているのを見たことがありますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899—1994年）の次の言葉を読んでから、その真理を証します。



「結婚は神の前に取り交わされる神聖な聖約であるとみなされなくてはなりません。夫婦は互いに対してだけでなく、神に対しても義務を負っているのです。神は、その誓約を重んじる夫婦に祝福を約束されました。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』170）

- 互いの間だけでなく神とも交わした神聖な聖約として結婚をみなすならば、伴侶に対する互いの行動にはどんな違いが生じるでしょうか。
- 神殿結婚に備えるために今何ができるでしょうか。

永遠の結婚に備えるために、今行っていることと将来行う予定について、自分のノートに書くよう生徒にチャレンジします。

生徒の読書課題

- マタイ19：3—8；エペソ5：25，28—31；教義と聖約25：5，13—15；42：22；アブラハム5：15—18
- L・ホイットニー・クレートン「結婚—よく見て覚えましょう」『リアホナ』2013年5月号，83—85

第19課

キリストを中心とした生活と家庭を築く

はじめに

預言者ヒラマンは、イエス・キリストの堅固な基の上に生活を築くならば、サタンはそれを破壊する力を持たないと息子たちに教えました（ヒラマン5：12参照）。この課で、生徒たちは、イエス・キリストの基の上に家庭を築く方法について話し合います。

家族一人一人がイエス・キリストの教えを中心に生活するときに、家族は関係を修復したり強めたりして、さらに大きな幸福を見いだすことができます。

背景となる読み物

- ヘンリー・B・アイリング「わたしたちの完全な模範」『リアホナ』2009年11月号, 70–73
- リチャード・G・スコット「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号, 29–31

教えるための提案

ヨハネ15：1–5, 10–11；ヒラマン5：12

キリストを中心とした生活と家庭を築く

ホワイトボードに簡単な家かその他の建物を描くことから、レッスンを始めます。生徒たちと次のことを話し合います。

- 家やその他の建造物にとって、基（土台）にはどんな価値があるでしょうか。
- 幾つかの建築資材が他のものよりもより強固な建築基礎を造れるのはなぜでしょうか。

全ての家族がある程度の困難を抱えており、サタンは全ての家族を崩壊させようということを生徒たちに思い起こしてもらいます。モルモン書から、わたしたちはサタンが家族に及ぼす影響を最小限にする確かな方法を学びます。

生徒たちにヒラマン5：12を研究し、基について教えていることを見つけてもらいます。

- イエス・キリストの上に基を築くとはどういう意味だと思いますか。
- イエス・キリストの基の上に築くために、家族にできることは何でしょうか。（考えられる答えには次のものがあります。イエス・キリストの福音を学び生活する、イエス・キリストの模範に従うよう努める、神の戒めに従う、またはキリストの贖いの力を得る。）
- ヒラマン5：12にある約束は、イエス・キリストの岩の上に基を築こうとする家族に、どのように当てはめることができるでしょうか。（答えは次の

原則への理解を示しているはずですが、**家族がイエス・キリストの上に基を築くときに、サタンはそれを破壊する力を持たない。**)

救い主は、この世を去る少し前に、御自身の上に基をどのように築けばよいのか家族が分かるように、たとえをお示しになりました。数人の生徒に、ヨハネ15：1-5、10-11を声に出して読んでもらいます。他の生徒には聞きながら、これらの聖文にある主の比喻をイエス・キリストの上に基を築こうと励んでいる家族に、どのように当てはめることができるか考えてもらいます。

- もしもイエス・キリストがぶどうの木でわたしたちが枝ならば、その実は何を表すのでしょうか。(その実は、イエス・キリストの弟子たちの良い働きと行いを表しています。)

ヨハネ15：4-10には「つながる」という言葉が数回使われていることを生徒たちが認識するように助けます。次のことを説明します。この文脈における**つながる**という言葉は、「永久にとどまる」ことを意味し、わたしたちが確固として永久にイエス・キリストと主の教会につながったままでいることを示唆しています(ジェフリー・R・ホランド「わたしにつながっていなさい」『リアホナ』2004年5月号, 32)。言葉の繰り返しに気づくことは、個人的な研究に役立つ聖文研究の技術であることを簡単に説明するとよいでしょう。聖文における言葉の繰り返しは、筆者が重要な考えを強調していることを意味している場合がしばしばあります。

- 5節と11節によると、救い主につながっていることの祝福は何でしょうか。(わたしたちが救い主につながっているならば、わたしたちはたくさんの実を結び、満ち満ちる喜びを受けることができる。)
- 家族の一人一人が救い主につながっていようと励むとき、家族にはどんな祝福がもたらされると思いますか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老が述べた次の言葉を読みます。



「状況の違いにかかわらず、わたしたちは自分の家庭と生活を主イエス・キリストを基としたものにできます。主はこの世における真の平安の源であられるからです。」(「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号, 29)

- イエス・キリストを中心としている家庭を皆さんはどのように言い表しますか。キリストを中心とした家庭には、どんな特徴がありますか。

さらに大きな救い主の影響を家庭に招くように、もっと十分に救い主につながるためにできることを、生徒たちに深く考えてもらいます。家族の一人一人との関わりにおいて、自分は何を変えられるかについて考えるよう生徒に勧めます。

ヒラマン14：30-31；3ニーファイ11：29-30**選択の自由を正しく用いることによって、感情をコントロールする**

どの家族も問題に直面しているものだと繰り返し話して、レッスンの次の部分に移ります。家族の一人一人がイエス・キリストを生活の中心にしようとしても、義にかなった自分たちの望みを阻む状況に直面することがあります。ホワイトボードに次のように書きます。

「君がわたしを怒らせたのだ。」

「あなたのせいでかとなったのよ。」

これらの言葉が真理に基づいているかどうか、生徒たちに深く考えてもらいます。

一人の生徒に、ヒラマン14：30-31を声に出して読んでもらいます。これらの聖句がホワイトボードに書いてある言葉とどのように関連しているかをクラス全員に考えてもらいます。

- これらの聖句に、隣人との関係に当てはまる、どのような重要な真理を見いだせるでしょうか。（以下の真理を強調します。天父がわたしたちに**選択の自由を与えられたので、わたしたちは怒るか怒らないかを選ぶことができる**。七十人のリン・G・ロビンズ長老は次のように教えています。「怒りは意識的に選ぶものであり、意志に基づいて決めることなのです。ですから、わたしたちは怒らないという選択が可能なのです。わたしたちが選ぶのです。」〔「選択の自由と怒り」『聖徒の道』1998年7月号、86〕
- 誰かの行為や言葉が人を怒らせると思いつくことによって、どんな問題が生じるでしょうか。

生徒に3ニーファイ11：29-30を黙読してもらいます。口論を「やめるように」という救い主の教えを指摘します（3ニーファイ11：30）。生徒たちに、情緒的および肉体的な虐待のような、辛辣な物言いやその他の義に反する振る舞いは、決して正当とされないことを思い起こさせます。

怒らないという選択をすることを常に覚えているために自分にできることを、生徒たちに考えてもらいます。それぞれの考えを分かち合ってもらいます。特に家族の間で怒らないことを選ぶことによって、選択の自由を正しく使うことを生徒たちに決意してもらいます。

3ニーファイ12：22-24；モロナイ7：45, 48；教義と聖約64：9-11；88：119, 123-125**悔い改めと赦しは、傷ついた家族関係を癒やすことができる**

ホワイトボードに次の原則を書きます。

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」

生徒たちに、この言葉が「家族—世界への宣言」から来ていることを話します（『リアホナ』2010年11月号, 129）。

家族にさらに大きな幸福をもたらすことのできるイエス・キリストの教えの幾つかを生徒が見つけられるように、教義と聖約88：119, 123–125を生徒たちに黙読してもらいます。重要な教えに印をつけたり、目立つ色を塗ることを勧めます。その後で、これらの聖句にある教えに従って生活することにより家族がどのように強められるかについて、生徒たちに話し合ってもらいます。

イエス・キリストの教えが軽んじられるとき、家族に問題や困難がしばしば生じることを、生徒たちに思い起こしてもらいます。大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長の次の言葉を見せて、生徒の一人に声に出して読んでもらいます。



「人間関係のひずみや破綻は、人類の歴史と同じくらい古くからあります。……地上の全ての人々は、争い、憤り、復讐心という破壊的な感情に何らかの形で影響されていることでしょう。自分がこの感情を抱いていることに気づくことさえあるでしょう。」（「憐れみ深い人たちは憐れみを受ける」『リアホナ』2012年5月号, 70）

- 主イエス・キリストのどのような教えが、家族同士の関係のひずみや破綻さえも解消する助けとなるでしょうか。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。救い主が教えておられる、家族の関係を強めることができる真理がこれらの聖句一つ一つに含まれていることを説明します。

3ニーファイ12：22–24

モロナイ7：45, 48

教義と聖約64：9–11

一人の生徒にこれらの聖句を声に出して読んでもらい、その後で次のことを話し合います。

- これらの聖句にあるどんな教えが、争い、不親切、またその他の行為によって損なわれた家族同士の関係を、元に戻す助けとなるでしょうか。
- あなたはこれまで、赦すことによってどのように家族の関係が改善されるのを見てきましたか。

- 他人よりも家族に傷つけられたときの方が、時として相手を赦すことが難しいのはなぜでしょうか。

ディーター・F・ワークトドルフ管長とハワード・W・ハンター大管長
(1907-1995年)の次の言葉を表示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「罪を犯さない人はいません。皆さんもわたしも、誰もが間違いをします。わたしたちは皆、傷ついたことがあります。皆、人を傷つけたことがあります。

わたしたちが昇栄と永遠の命を得られるのは、救い主の犠牲によるのです。心を和らげることによって、主の道を受け入れ、高慢さを克服するとき、わたしたちは家庭と自分の生活に、和解と赦しをもたらすことができます。」(ディーター・F・ワークトドルフ「幸せな家族になる一つの鍵」『リアホナ』2012年10月号, 6)



「イエスがその手を置かれたものは皆生き返る……。もしイエスがその御手を結婚生活の上に置かれるならば、結婚生活は命を得、もし家族の上に御手を置かれるならば、その家族はよみがえるのです。」(『歴代大管長の教え—ハワード・W・ハンター』150)

- 今日話し合った原則に従うことで、救い主がその御手を家族の上に置いていただけるようになるのはなぜでしょうか。

悔い改めと赦しの原則が、どのように自分自身の家族関係を修復したり強めたりする助けとなるのかを、生徒たちに考えてもらいます。家族一人一人との関係でこれらの原則を当てはめるために、早速行動するように励まします。

生徒の読書課題

- ヨハネ15：1-5, 10-11；ヒラマン5：12；14：30-31；3ニーファイ11：29-30；12：22-24；モロナイ7：45, 48；教義と聖約64：9-11；88：119, 123-125
- リチャード・G・スコット「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号, 29-31

第20課

信仰と証を守る

はじめに

家族と個人には、イエス・キリストへの信仰を育み、強い証を持ち続けるという、神聖な義務があります。末日では、「真の選民」でさえもサタンに惑わされると救い主は警告されました（ジョセフ・ス

ミスーマタイ1：22）。この課では、信仰を損なおうとする、サタンの力を防ぐための証を強めることに重点を置きます。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号, 21-24
- ジェフリー・R・ホランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号, 93-95

教えるための提案

ヨハネ14：26-27；エペソ4：11-14；1ニーファイ15：23-24；2ニーファイ31：19-20；アルマ5：45-46；ヒラマン3：28-30；教義と聖約11：13-14；21：4-6

強い証はサタンからの防御になる

十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老（1917-2008年）がかつて、次の話をしたことを述べます。何年も前にウクライナの田舎でオオカミの群れがうろついていました。オオカミたちがただ一つ恐れるものは火でした。町から遠く旅をしてくると、人々は大きなかがり火を炊き、夜通し燃やし続けてオオカミが近づかないようにしなければなりませんでした。

一人の生徒に、次の言葉を読んでもらいます。



「旅人たちは、火をおこし、赤々とした火を絶やさずにおくことが、ただ単にあれば便利だし暖かいといったたぐいのものではなく、命を守るために不可欠であることをよく理解していました。……

わたしたちも、今日人生という道を旅するとき、オオカミの群れから自分自身を守る必要があります。霊的な意味で、わたしたちの前には、サタンという悪質なおおかみの群れが、誘惑や悪事、罪という姿を借りて、待ち構えています。現代は危険な時代です。そうした貪欲なオオカミたちが、信仰の弱い者や確信を持たずにいる者を求めて、霊的に人里離れた所でうろついているからです。……わたしたちは皆、襲われる危険性があります。しかしながら、わたしたちは、熱く燃える証によって自分の身を守ることができます。その証は、適切に点火され、注意深く絶やさぬように燃やし続けてきたあのかがり火と同じです。」（「証という霊のかがり火」『聖徒の道』1993年1月号, 40）

- 今日の世の中において、強い証を保つことが「命を守るために不可欠」であるのはなぜでしょうか。（少し話し合いをしてから、ホワイトボードに次のことを書きます。わたしたちが証を強めるとき、信仰は攻撃されにくくなる。）
- 信仰への攻撃に対して、あなたが家族や隣人を強める際に、強い証を持つことはどのように助けとなるでしょうか。

次の表を見せるか、ホワイトボードに書きます。括弧内の太字の原則は書かないでください。それらの原則は教師を援助するためのものです。信仰を弱めようとする力から守ってくれる原則を探しながら、これらの欄の一つにある聖句を生徒たちに読んでもらいます。生徒たちに、教義や原則の明確な言葉の中に読み取ったことをまとめてもらってから、それらの言葉を分かち合ってもらいます。

2ニーファイ31： 19–20 ヒラマン3： 28–30	エペソ4： 11–14 教義と聖約 21：4–6	ヨハネ14： 26–27 教義と聖約11： 13–14	1ニーファイ 15：23–24 アルマ5： 45–46
（イエス・キリストへの信仰を固く保つときに、わたしたちは永遠の命に至る細くて狭い道を押進むことができます。）	（主の使徒たち、預言者、その他の教会の指導者に従うときに、欺瞞から守られます。）	（わたしたちの信仰が攻撃されるときに、主は聖霊を通して平安と指示を与えられます。）	（断食、祈り、そして聖文研究は、信仰と証を強めて困難に耐えられるようにしてくれます。）

- これらの原則は、信仰への攻撃に対して皆さんや皆さんの知っている人をどのように強めましたか。
- 自分の信仰に悩んでいる知人を強めるために、皆さんはこの知識をどのように使うことができるでしょうか。

次のことを生徒たちに思い起こしてもらいます。「信仰は個人の義に対する報いとして授けられる神の賜物です。義にかなった人がいる場所には常に与えられます。神の律法に忠実であればあるほど、授けられる信仰も大きくなります。」（ブルース・R・マッコンキー、**Mormon Doctrine**, 第2版 [1966年], 264）イエス・キリストへの信仰を持ち、預言者に従い、御霊を求め、聖文を研究することは、証を守り強めることを証してください。これらのことを怠るときに、信仰は弱まり、証は失われてしまいます。

この点について例証するために、一人の生徒に、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が述べた次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「わたしがトロントの伝道部会長だった頃にわたしと一緒に奉仕した素晴らしい宣教師の一人が、数年前にわたしに会いに来ました。わたしは彼に尋ねました。『長老、わたしに御用ですか。』

『会長、わたしは証を失いかけていると思うのです』と、彼は言いました。

そんなことは信じられませんでした。わたしは、どうしてそんなことがあり得るのですか、と尋ねました。

『反モルモンのある文献を初めて読みました』と、彼は言いました。『幾つかの疑問が湧きました。でも誰も答えてはくれないのです。わたしは訳が分からなくなって、証を失いそうだと思っています。』

わたしが彼の疑問が何なのかを尋ねると、彼は話してくれました。それらは標準的な反教会の問題でしたが、分かりやすく答えることができるように、資料を集める時間が少し欲しいと思いました。それで、10日後に会うことを約束して、そのときに彼の疑問の一つ一つに答えましようと言いました。彼が立ち去ろうとしたときに、呼び止めて、

『長老、あなたは今日ここでわたしに幾つかの質問をしましたが、わたしもあなたに一つ質問があります』と、言いました。

『何ですか、会長。』

『あなたがモルモン書を読んでから何年になりますか』と、わたしは尋ねました。

彼は視線を下に落とししました。そのまましばらく床を見つめていました。そしてわたしの方に目を向けました。『何年もたちます、会長』と、彼は告白しました。

『分かりました』と、わたしは言いました。『あなたはわたしに課題を出したのですから、わたしがあなたに課題を出すのはフェアですよね。今日から次の約束の日まで、毎日最低1時間モルモン書に書いてあることを読むと約束してほしいのです。』彼はそうすることに同意しました。

10日後に彼はまたわたしのオフィスに来ました。わたしは準備ができていました。わたしが書類を出して彼の質問に答え始めようとする、彼はわたしの話を遮りました。

『会長、それは必要ないようです。』それから説明してくれました。『わたしは、モルモン書が真実の書物であることを知っています。ジョセフ・スミスが神の預言者であることを知っています。』

『そうか、それは素晴らしいじゃないですか』と、わたしは言いました。『でも、とにかくあなたの質問の答えを聞いてもらいましょう。これに長い時間取り組んだのだから、ちょっとそこに掛けて聞いてください。』

わたしは全ての質問に答えて、彼に尋ねました。『長老、この答えから何を学びましたか。』

すると彼は言いました。『主に等しい時間をささげなさい。』

わたしたちはその思いを心に刻み、それを携えてこの世での人生を最後まで歩んで行けますように、主に等しい時間をささげましょう。」 (“When Shall These Things Be?” Ensign, 1996年12月号, 60)

- バラード長老が分かち合った経験から、皆さんは何を学びましたか。

- 皆さんの個人的な、また家庭での生活において、主に「等しい時間」をささげることが、サタンに対して、どのように自分自身や家族を強めるでしょうか。
- 今これらの原則を実践することは、あなたがさらに良い伴侶や両親になるために、どのような備えになるでしょうか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の話を一人の生徒に読んでもらうことで、レッスンのこの部分をまとめます。



「たゆまず朝晩祈り、日々聖文を研究し、毎週家庭の夕べを開き、定期的に神殿に参入するとき、わたしたちは「わたしのもとに来なさい」という主の招きに積極的に応じていることになります。わたしたちがこれらの習慣を育めば育むほど、サタンはわたしたちを損なおうとますます躍起になりますが、その力は次第に弱まります。これらの手段を使うことによって、わたしたちは選択の自由を行使し、主の贖いの犠牲のあらゆる賜物を受けることができるようになるのです。

.....積極的に主のもとに行くなら、わたしたちはあらゆる誘惑と苦悩、そして直面するあらゆる困難な問題を堪え忍ぶことができます。」（「信仰を行使することを最優先とする」『リアホナ』2014年11月号、94-95）

信仰の問題を克服した経験で、あまり個人的すぎないことを、誰か分かち合うことができるか、生徒たちに尋ねます。

ルカ23：31-32；3ニーファイ18：32；教義と聖約108：7-8

隣人の信仰を強める

生徒たちが自分の証を保つことに悩んでいる人を知っていたら、手を挙げてもらいます。

生徒に、ルカ22：31-32；3ニーファイ18：32；および教義と聖約108：7-8を研究して比較してもらい、教会の、特に家族に対して、誠実な会員として担う義務を学んでもらいます。十分な時間を取った後、学んだことを分かち合ってもらいます。生徒たちは、次の原則を理解しているでしょう。わたしたちがイエス・キリストの福音へと改心するとき、隣人の信仰を強める義務がある。

トーマス・S・モンソン大管長が述べた次の言葉を紹介します。



「教会へ戻り、態度や習慣、行動を変えるための重要かつ根本的な理由は二つあります。教会に戻る第1の理由は、自分の持っている永遠の可能性を誰かが示してくれて、その可能性を達成しようと決意するのを助けてくれたからです。活発に教会に集っていない会員は、そうしたすばらしい可能性が自分の手の届くところにあることが分かると、いつまでも平凡な生活を送ることに満足できなくなるのです。

教会へ戻る第2の理由は、愛する者や『聖徒たちと同じ国籍の者』〔エペソ2：19〕が救い主の勧告に従い、自分を愛するように隣人を愛してきたからであり、他の人の夢や理想を実現するのを助けてきたからです。

このような過程を促進する力は、これまでも、そしてこれからも、愛の原則にほかならないのです。」（「救助の責任」『リアホナ』2013年10月号, 5）

- 愛はなぜ隣人の信仰を強めるときに、そんなに重要な促進力なのだと思いますか。
- 霊的に悩んでいる人の信仰を強める助けとなるために、皆さんや皆さんが知っている人は、これまでどんなことをしてきましたか。
- さらに効果的に隣人の信仰を強めるには、どのようなステップを踏むことができますか。

愛を示したり、この課で話し合った原則に従うときに、生徒たちは友人や家族の信仰を取り戻したり強めたりできるという証をすることでレッスンをまとめます。

生徒の読書課題

- ルカ22：31－32；ヨハネ14：26－27；エペソ4：11－14；1ニーファイ15：23－24；2ニーファイ31：19－20；アルマ5：45－46；ヒラマン3：28－30；3ニーファイ18：32；教義と聖約11：13－14；21：4－6；108：7－8
- ジェフリー・R・ホランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号, 93－95

第21課

愛と義をもって子供たちを育てる

はじめに

「両親には、愛と義をもって子供たちを育て……るという神聖な義務があります。」（「家族—（世界への宣言）『リアホナ』2010年11月号，129）両親

が、言葉と行いで愛と証を示し、家庭の夕べ、家族の祈り、そして家族の聖文研究を規則正しい習慣とするときに、この義務を達成できます。

背景となる読み物

- リチャード・G・スコット「信仰を行使することを最優先とする」『リアホナ』2014年11月号，92-95
- ジェフリー・R・ホランド「子供たちのための祈り」『リアホナ』2003年5月号，85-87

教えるための提案

ルカ15：11-20；エペソ6：4

子供たちを愛し関心を示すという両親の責任

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が述べた次の言葉を紹介しします。



「わたしの一番下の娘が4歳くらいのときでした。ある晩、わたしは病院の仕事から遅く帰ってきました。妻はぐったりと疲れ果てた様子です。……そこで、わたしが4歳になる娘を寝かせようと言いました。そして、命令をし始めたのです。『服を脱いで、ハンガーに掛けなさい。パジャマを着て、歯を磨いて、お祈りしなさい。』まるで軍隊の鬼軍曹でした。突然、彼女は小首をかしげ、悲しそうな目でわたしを見詰めてこう言いました。『お父さんって、「しなさい」ばかり。』

彼女は大切な教訓をわたしに教えてくれました。……子供は決して親の所有物ではありません。親には子供を愛し、導き、彼らを独り立ちさせる特権があるだけです。」（「耳を傾けて学ぶ」『聖徒の道』1991年7月号，22）

- この経験で、ネルソン長老はどんな原則を教えているのでしょうか。（両親は、子供を愛し、導く特権を持っている。）

家族の宣言から次の言葉を読むか見せて、生徒たちに重要な言葉や表現を認識してもらいます。「夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。……両親には、愛と義をもって子供たちを育て……るという神聖な義務があります。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号，129）生徒にとって、どのキー

ワードが印象的か、またそれはなぜかを尋ねます。必要に応じて次の質問をする。

- 両親の責任と義務を表すために、なぜ「厳粛な」と「神聖な」という言葉が使われていると思いますか。

愛されて育った子供は、どのように自分の家族関係を信頼し続けることができるか、主はそのことを示すとえを教えられたことを生徒たちに話します。放蕩息子は父親に愛されていることを知っていたという証拠を調べながら、ルカ15：11－20を生徒たちに黙読してもらいます。十分な時間を取った後で、生徒たちが見つけたことを分かち合ってもらいます。

このたとえにある父親について生徒が理解を深められるように、一人の生徒に、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「放蕩息子のたとえには、家族、特に両親のための力強い教えがあります。『本心に立ちかえつ〔た〕』〔ルカ15：17〕下の息子は、家に帰る決心をしました。

父親が自分を拒まないことを、彼はどのようにして知ったのでしょうか。それは、父親がどういう人であるか彼がよく知っていたからです。年若い息子のやむを得ない誤解や争い、愚かな行為に対して、父親は、理解ある心と思いやりの気持ち、穏やかな受け答えと聞く耳、そして、赦しの抱擁で彼に接したのでしょうか。また、自分の帰りを待つ家がどのようなところなのかを知っていたので、息子は家に帰ることができると思ったのでしょうか。」（「『優しい親の情を込めて』家族への希望のメッセージ」『リアホナ』2004年5月号、90）

- ヘイルズ長老は父親からのどのような愛の表現を認識したでしょうか。愛を示し、関心を示す家庭環境へと導く両親の行いには、他にどんなものがあるでしょうか。（エペソ6：4を用いて、この質問についてのクラスの話し合いを補足するとよいでしょう。）
- 子供たちに対する愛を示す両親について、どんな模範を見たことがありますか。
- いつか自分の子供たちに愛や関心を示す備えをするために、今何をしていますか。

教義と聖約68：25－28；93：36－40

義の中で子供たちを育てる

生徒たちに一人の小さい子供の写真、できればあなた自身の子供の写真を見せます。

- 霊的に成長するために子供が必要とする、欠かせない教えは何でしょうか。

教義と聖約93：36－40と68：25－28にある教えを研究し比較しながら、この質問について生徒たちに考えてもらいます。（注一「聖句や教義、原則は、」他

の聖句と「比較……するときに、明確になることがよくある。」〔『福音を教え学ぶ』, 22〕)

- 両親の責任に関するどんな原則を、これらの聖句から学ぶことができますか。(言葉は異なるかも知れませんが、生徒は次の原則を理解するでしょう。光と真理の中で子供たちを育てるとき、両親は主の命令に従っている。これらの聖句の文脈では、「光」は霊的な知識と義の原則の理解を示していることを説明します。)
- 家庭において、イエス・キリストの福音の原則と儀式を子供たちに教えることが、両親にとって不可欠なのはなぜでしょうか。

生徒がこの質問に答えるのを助けるために、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉を紹介します。



「聖文の中で主は『信仰の盾』について教え、それは『悪い者の放つ火の矢をことごとく消すこと〔が〕できる』と言われました(教義と聖約27:17)。

信仰の盾を作るのに最も良い場所は家庭です。教会のレッスンや活動を通して盾を磨くことはできますが、盾を作り、一人一人に合わせ

て仕上げていくのは家庭なのです。」(「恐れてはならない」『リアホナ』2004年5月号, 78-79)

- あなたがこれまで見た中で、親が子供に「光と真理に導く義の原則」を効果的に教えた例はどのようなものがありますか。
- イエス・キリストの福音を知っていても子供たちに福音の原則を教えていない両親について、教義と聖約68:25の中にどんな行く末が述べられているでしょうか。(生徒たちが次の原則を理解できるように助けます。イエス・キリストの福音を知っている両親が、もしも子供たちに福音の原則を教えないならば、神に対して報告する責任がある。)

子供たちに福音の原則を教えるために、両親は家庭において模範となるべきであるという義の実践を、教会の指導者たちが繰り返し確認してきたことを説明します。



この課の最後にある配布資料を生徒たち一人一人に配り、その資料に書かれている説明を読みます。十分に時間を取った後で、聖霊に促されるままに次のような質問をします。

- これらの3つの、家族の実践からどのような恵みを得ましたか。
- 皆さんが結婚して子供をもうける前に、祈りの習慣、聖文の研究、そして家庭の夕べの実践を育むことは、なぜ重要だと思いますか。

両親が子供たちに福音の原則を教える別の場面があることを生徒たちが理解できるように、デビッド・A・ベドナー長老とジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を紹介します。



「親は、子供に証を述べる何げない機会を見逃さないよう、靈的に注意を払っているべきです。そのような機会は、あらかじめ計画したり、予定を立てたり、台本を書いたりする必要はありません。実際、計画性が低ければ低いほど、そのような証によって教化され、影響が長続きする可能性が高まります。……

例えば、夕食を囲んで家族が何げなく話をしているときは、ありふれた一日の中で親が経験した具体的な祝福について詳しく話し、証を述べる最良の場かもしれません。」（デビッド・A・ベドナー「目をさましてうむことがなく」『リアホナ』2010年5月号, 42）



「できる限りはっきり目に見える形で福音に従った生活を送ってください。聖約を守って、親が聖約を交わしていることが子供たちに分かるようにしてください。神権の祝福をしてください。そして証をしてください。子供たちが何となく自然に自分たちの信仰を理解できるようになるだろうなどと思込めないでください。……

子供たちはわたしたちが聖文を愛していることを知っているのでしょうか。わたしたちが聖文を読み、印を付け、日々聖文に親しんでいることを知っているのでしょうか。たまたまドアを開けたときにわたしたちがひざまずいて祈っているのを見たことがあるのでしょうか。子供たちとともに祈るだけでなく、親の純粋な愛情から子供たちのために祈るのを聞いたことがあるのでしょうか。わたしたちが断食を……信じていることを知っているのでしょうか。わたしたちが神殿の中で幸せを感じるの……を、子供たちは知っているのでしょうか。地元の指導者や中央幹部を、彼らが不完全であるにもかかわらず愛し支持しているということを知っているのでしょうか。……わたしたちが心の底から神を愛していることを知っているのでしょうか。神の独り子の御顔を拝し、その足元に伏したいと切望していることを知っているのでしょうか。子供たちがこれらのことを知っているように、わたしは祈っています。」（ジェフリー・R・ホランド「子供たちのための祈り」『リアホナ』2003年5月号, 87）

- 皆さんの両親や知り合いの両親は、福音の原則を教えるためにどのように日常の機会を生かしてきましたか。
- 明らかに分かるように福音に従って生活することは、なぜ両親にとって重要なのでしょうか。
- 光と真理を子供たちに教えることができるよう福音の知識を深めるために、今何をしていますか。

両親は、子供たちを愛することを通して、天の御父のみもとに戻るよう導き、福音の原則を教え、良い模範を示すことにより、「愛と義をもって子供を育て〔る〕」ことができることを証します。

生徒の読書課題

- ルカ15：11－20；エペソ6：4；2テモテ3：15；3ニーファイ18：21；教義と聖約68：25－28；93：36－40
- ジェフリー・R・ホランド「子供たちのための祈り」『リアホナ』2003年5月号, 85－87

家族の祈りの祝福, 家族の聖文研究, 家庭の夕べ

教師が教会指導者の次の教えを読み上げている間に, 日々の家族の祈りと聖文研究, そして毎週の家庭の夕べからもたらされる祝福にアンダーラインを引きます。



十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えています。

「親である皆さん, 朝と夜に家族の祈りの力で子供たちに武具を身に着けさせ, 彼らを守る手助けをしてください。……家族で祈ることを通して注がれる力強い祝福によって, 日々の世の影響から子供たちを守ってください。家族の祈りは, 日々の生活の中で妥協する余地のない最優先事項とするべきです。

……聖文研究を毎日の生活の中でなくてはならないものとしてください。子供たちが御霊の促しに気づき, それを理解し, その促しに従って行動するようになってほしいと願うなら, 親は子供と一緒に聖文を研究しなければなりません。……日々たゆまず聖文を研究することによって, 皆さんは不安な状況の中で平安を見だし, 誘惑に対抗する強さを見いだします。神の恵みに対する強い信仰を育み, イエス・キリストの贖罪によって, 神の定められたときに, 全ての事物が正されることを知るでしょう。」(「信仰を行使することを最優先とする」『リアホナ』2014年11月号, 93-94)



中央扶助協会会長会のリンダ・S・リーブズ姉妹は次のように教えました。

「わたしは毎日の聖文研究と祈り, それに毎週の家庭の夕べから受ける祝福を……証しなければなりません。これらを実行することによってストレスから解放され, 家庭に導きを受け, 家庭に一層の守りをもたらすことができます。」(「ポルノグラフィーからの保護—キリストを中心とする家庭」『リアホナ』2014年5月号, 16)



トーマス・S・モンソン大管長は次のように宣言しています。

「家族の祈りは罪悪から守る最大のとりでであり, 幸福と喜びの最高の源です。」(「幸福な家庭のしるし」『リアホナ』2001年10月号, 4)

次の質問について, 深く考えてください。

- 皆さんの家族の中で経験した, または誰かの家族の中で見たことのある祝福はこれらの中のどれですか。
- これらの祝福をさらに豊かに受けるために, 皆さんが今できることは何でしょうか。

第22課

実りある家庭を築く

はじめに

「家族—世界への宣言」は、両親が子供たちに教えるべき原則を述べています。この課では、「尊敬、……思いやり、労働、健全な娯楽活動」について子供たちに教えるという、両親の責任について話し合います。また「互いに愛し合い仕え合い、神の戒め

を守り、……法律を守る市民」になるように子供たちを教えるという両親の義務についても話し合います。」（『リアホナ』2010年、129）これらの原則を教えることは、両親が実りある家庭を築く助けとなります。

背景となる読み物

- ダリン・H・オクス「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号、104–108
- スーザン・W・タナー「わたしはあなたに話したでしょうか……」『リアホナ』2003年5月号、73–75

教えるための提案

実りある家庭の原則

デビッド・O・マッケイ大管長（1873–1970年）の次の言葉を表示して、生徒たちがこの課を学ぶ準備をします。



「いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない。」（J・E・マカロック, Home: The Savor of Civilization [1924年], 42から引用; Conference Report, 1935年4月, 116)

- このコースで学んできたことを考えると、実りある家庭を築く助けとなる幾つかの原則は何ですか。

この質問に答える助けとなるように、次の言葉を表示して読み上げます。「家族—世界への宣言」—

「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとって確立され、維持されます。」

これらの原則のほとんどが、これまでのレッスンで話し合われてきたことを生徒たちに説明します。これまでに話し合われていない特質に重点を置くために、次のことをホワイトボードに書きます。

尊敬

思いやり

労働

健全な娯楽活動

生徒を小さいグループに分け、グループごとにこれらの特質の一つを割り当てます。次の質問について、グループごとに話し合ってもらいます。

尊敬

- 両親が子供たちに尊敬を示すときに、家族の中にはどんな良いことが生じるでしょうか。子供たちが両親に尊敬を示すときはどうでしょうか。両親がお互いに尊敬を示すときはどうでしょうか。
- あなたの家族の経験から、尊敬を示すことの模範として何か分かち合うことができますか。

思いやり

- 両親が子供たちに自分たちの家族に対して思いやりを持つことを教える方法には、どんなものがあるでしょうか。
- あなたの家族や知人の家族の経験から、思いやりについて教えることの模範として何か分かち合うことができますか。

労働

- 労働はなぜ実りある家庭の一部なのでしょう。
- 自分の子供たちが労働に喜びと満足を見いだすために、両親はどのように助けることができるでしょうか。
- あなたの家族や知人の家族の経験から、働くことを子供たちに教えている模範として何か分かち合うことができますか。

健全な娯楽活動

家族と一緒に過ごす時間が限られている場合には、最も価値のある活動を選ぶことが賢明だということをこのグループに話します。このグループに、十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老が述べた次の言葉を読んでもらい、次の質問を話し合ってもらいます。



「さまざまな選択肢を考慮するとき、『良い』というだけでは不十分であるということ覚えておく必要があります。『より良い』選択肢もあれば、『最も良い』選択肢もあるのです。……

最も重要な選択肢には家族の活動が含まれます。……家族との時間をどう過ごすか選択するうえで、単に良いことのために利用できる時間を使い切ってしまう、より良いことや最も良いことを行う時間がなくならないように気をつけなくてはなりません。ある友人が夏の間、まだ子供たちが幼い自分の家族を、史跡巡りを含めたいろいろな旅行に連れて行きました

た。友人は夏の終わりに、これらの良い夏の活動の中でどれがいちばん楽しかったか10代の息子に尋ねました。父親はその息子の答えから学び、その話を聞いたわたしたちも皆学びました。息子はこう答えたのです。『この夏で一番楽しかったことは、お父さんと一緒に芝生の上に寝転んで、星を見ながら話をしたことだよ。』豪華な家族の活動は子供たちにとって良いことではありますが、愛に満ちた親と一対一で接する時間よりも良いものとは限りません。」（「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号, 105）

- この父親と息子の経験は、どうして家庭における「健全な娯楽活動」の価値を理解する助けになるのでしょうか。
- 娯楽活動をより意義のあるものにするために、どうしたら家族は力を合わせることができるのでしょうか。

時間を十分に取ってから、グループでの話し合いのまとめをクラス全員で分かち合ってもらいます。

大管長会のディーター・F・ワークトドルフ管長の次の言葉を表示して、一人の生徒に声に出して読んでもらい、レッスンのこの部分をまとめます。



「『いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない』ので、家族を優先順位の高い位置に置かなければなりません。夕食を囲んだり、家庭の夕べをしたり、ただ一緒に楽しい時間を過ごしたりするなど、簡単なことを一緒に行うことで、愛にあふれた、深い家族関係を築くことができます。家族関係において、愛するとは、時間をともに過ごすことです。互いのために時間を取ることは、家庭での一致を図るための鍵です。」（「最も大切な事柄について」『リアホナ』2010年11月号, 21）

- 両親や他の家族たちがあなたと有意義な時間を過ごしたときの経験を分かち合ってもらえますか。

ホワイトボードに書いた特質のどれについてでも、どんなふうに家族を祝福したかという思いや証を分かち合いたい人がいるか、生徒たちに尋ねます。

申命6：4－7；教義と聖約134：5－6；信仰箇条1：12

子供たちを教えるという両親の義務

両親には子供たちを教えるという神聖な義務があるということについての具体的な事柄を探しながら、「家族—世界への宣言」の6段落目を調べてもらいます。生徒の答えを聞きながら、次のことをホワイトボードに書きます。

互いに愛し合い仕え合う
 神の戒めを守る
 法律を守る市民となる

以下の原則を強調します。互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、法律を守る市民となるよう子供たちを教えるように、両親は命じられている。

生徒たちに、申命記第6章を開いてもらいます。この章は、戒めをどのように守るかについてモーセがイスラエルの子孫たちに教えたことを述べていると説明します。生徒たちに、申命6：4-7を黙読し、聖文に「あなたに」「あなたが」「あなたは」「あなたの」と書かれているたびに自分の名前に置き換えて、自分へのメッセージのように読んでもらいます。

- 自分自身の名前に置き換えることは、これらの聖句への理解にどう影響しますか。
- 7節によると、両親はどれぐらい頻繁に自分の子供を教えなければなりませんか。

ホワイトボードの「互いに愛し合い仕え合う」という言葉に注意を向けます。大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長（1920-2007年）の次の言葉を読むことで、この言葉の意味を話し合い、それから次の質問をします。



「人々のために無私の精神を発揮する機会を毎日のように訪れます。無私の行為は無限にあります。優しい言葉、助けの手、優しい笑顔などは、簡単ですが、無私の行為です。」（『何の得になるんだ』『リアホナ』2002年11月号，21）

- 皆さんが、自分の家族を愛し仕える機会は、毎日何回ぐらいありますか。
- 自分の家族に仕えることを生活の優先事項にするためには、何ができるでしょうか。

生徒たちに少し時間を与えて、家族にもっと仕え愛を示すために何ができるかを深く考えてもらいます。

ホワイトボードの「神の戒めを守る」という言葉に注意を向け、次のことを質問します。

- 神の戒めを子供たちに教える第一の責任がある人は両親であるべきなのはなぜですか。

元中央若い女性会長のスーザン・W・タナー姉妹の次の言葉を紹介します。この話の中で、タナー姉妹は、少し前に結婚して自分自身の家庭を築き始めた娘に与えた助言を思い出して話していることを説明します。



「あなたのおじいさんとおばあさんたちの家庭を見習ってください。どちらの祖父母も『子供たちを光と真理の中で』育ててきました（教義と聖約93：40）。あなたのお父さんの家は学びの家でした。お父さんは、おじいさんのお葬式で、教会の集会で学ぶ福音の原則は、自分の家ですすでに学んだことばかりだったと話しました。教会はお父さんの家庭にとって不足を補ってくれる存在だったので

す。」（「わたしはあなたに話したでしょうか……」『リアホナ』2003年5月号，73）

- どうしたら自分の家族のために、タナー姉妹が述べたような「学びの家」を築く備えができるでしょうか。将来子供を持ったときに、その子供たちが自分の育った家庭について話すとしたら、皆さんはどんな考えを持ちますか。

ホワイトボードの「法律を守る市民になる」という言葉に注意を向けます。教義と聖約134章は「政府と法律全般に関する所信の宣言」を記録していることを、生徒たちに話します（134章の前書き）。一人の生徒に前書きを声に出して読んでもらうことで、この章の背景への生徒の理解を助けます。その後、一人の生徒に、教義と聖約134：5-6を声に出して読んでもらい、別の生徒に信仰箇条の第12条を読んでもらいます。クラス全員に、自分が住む地の法律について主が教えられている事柄を見つけてもらいます。

- 自分の住む地の政府と法律についてのどの教えが印象的ですか。（その他の教えについては、教義と聖約58：21および98：4-6を生徒たちに読んで相互参照してもらうとよいでしょう。）
- 自分の住む地の法律に従うことを子供たちが学ぶ第一の場所が家庭であることは、なぜ重要だと思いますか。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926-2004年）による次の言葉を紹介するとよいでしょう。



「本来の務めを果たす親が減れば、警官がもっと必要になります。影響力のある親が不足すれば、必ず警官も不足するようになります！同様に、立派な家庭の数が十分でなければ、刑務所の数も十分でなくなります。」（「汝の家族を特に護るべし」『聖徒の道』1994年7月号，96）

- 両親は子供たちに、自分の住む地の法律に従うようにどのように教えることができると思いますか。
- 自分の住む地の法律と政府の行政官に誠実に従い敬意を示す人を、誰か知っていますか。このような態度は、その人の子供たちにどのような影響を与えられますか。

両親は実りある家庭を築くために教えなければならないという原則について、今後数日の間に時間を取って深く考えるよう生徒たちに勧めます。現在の自分の生活においてこれらの原則にどのように従うか、また将来の自分の家族にどう取り入れるかについて計画してもらいます。

生徒の読書課題

- 申命6：1-7；ヨシュア24：15；モーサヤ4：14-15；教義と聖約58：21；98：4-6；134：5-6；信仰箇条1：12

- ダリン・H・オークス「良いこと，より良いこと，最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号，104-108

第23課

物質的に必要なものを与える

はじめに

神は、自分自身の物質的な必要や、家族の基本的な必要を満たす責任を個人に委ねられました。両親には、子供たちに「生活必需品」を提供するという神聖な義務があります。（「家族—世界への宣

言」『リアホナ』2010年11月号, 129）この課では、自立の原則が現在と将来にわたる物質的また霊的な安定にどのように貢献するかを学びます。

背景となる読物

- M・ラッセル・バラード, “Becoming Self-Reliant—Spiritually and Physically,” **Ensign**, 2009年3月号, 50–55
- ロバート・D・ヘイルズ「物心両面で賢い養い手となる」『リアホナ』2009年5月号, 7–10
- マービン・J・アシュトン, “One for the Money,” **Ensign**, 2007年9月号, 37–39
- 「賢明な生活」ウェブサイト, providentliving.org

教えるための提案

マルコ6：1–3；ルカ2：51–52

自立

ホワイトボードに次の質問を書きます。「イエス・キリストは、現世での教導の業のために御自身をどんな方法で備えられたのでしょうか。」救い主が後年の教導の業のために、早くから御自身を備えられた方法を探しながら、マルコ6：1–3とルカ2：51–52を生徒たちに読んでもらいます。生徒の答えを聞きながら、次のことをホワイトボードに列挙します。

（職業上）大工として父親と働かれた

（教育上）知恵を増された

（肉体的に）能力を増された

（霊的に）神との愛を増された

（社会的に）人との愛を増された

- この5つ分野で救い主の模範に従うことは、自分自身や将来の家族の必要を満たす備えをするうえで、どのような助けになるのでしょうか。

スペンサー・Wキンボール大管長（1895－1985年）の次の言葉を読み、キンボール大管長が末日聖徒一人一人の責任として認識したことは何か、生徒たちに耳を傾けるように言います。



「教会とその会員は、自立し、独立するように主から命じられています（教義と聖約78：13－14参照）。

それぞれの人の社会的、情緒的、霊的、肉体的、および経済的な幸福に対する責任は、第1にその人自身に、第2にその人の家族に、そして第3に、もしその人が忠実な教会員であるならば、教会にあります。

真の末日聖徒は、肉体的または情緒的に能力があるならば、自分自身や家族の福利に対する責任を自分の意思で他人に転嫁したりはしません。真の末日聖徒は可能な限り、主の導きと自らの労働によって、自分自身と家族の霊的・物質的必要を満たすことでしょうか。」（『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』116）

- わたしたち一人一人にはどんな責任があると、キンボール大管長は言っていますか。
- 「自立し、独立する」ようになることはなぜ重要なのでしょうか。（生徒たちは、次のことを見つけるでしょう。自立するようになると、自分自身と家族のために、生活の霊的および物質的必要を満たすことができる。）

自分たちにとって自立とはどんな意味があるかを、生徒たちに分かち合ってもらいます。その後で、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の話を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「自立すると、自分の霊的・物質的な福利に関する責任、さらに天の御父から託された人々に対する責任を果たすこととなります。自立しているときにだけ、真に救い主に倣って人に奉仕し、祝福をもたらすことができるのです。

自立は目的を達する手段であると理解することが大切です。わたしたちの究極の目標は、救い主のようになることです。その目標は無私の気持ちで人に奉仕することによって強化されます。自立の度合いによって、奉仕する能力が増したり、弱まったりします。（「福音に基づく福祉のビジョン：行いで示す信仰」『福利と自立に関する基本原則』1－2）

- 自立の究極の目標は何でしょうか。
- 自立していないと、どうして奉仕する能力が弱まるのでしょうか。

自立について生徒たちがさらに理解できるように、元中央扶助協会会長のジュリー・B・ベック姉妹の次の言葉を表示します。



©Busath.com

「自立するにはどうしたらよいでしょうか。十分な知識，教育，読み書きの能力，お金や資産の賢い管理，霊的な強さ，緊急時や不測の事態への備え，健康，社会的・情緒的な安定などにより，自立することができます。」（「福祉に関する扶助協会会長の責任」『福利と自立に関する基本原則』5）

ホワイトボードの上部に沿って次の言葉を書きます。**教育，財政管理，霊的な強さ，家庭生産と家庭貯蔵，健康，そして職業。**自立は，これらの6つの分野のバランスのとれた生活であることを生徒たちに説明します（『主の道にかないて助けをなすー福祉に関する指導者用ガイド』〔小冊子〕，1-2参照）。ヤングシングルアダルトが将来の家族のために物質的また霊的必要をさらに満たし，教会にさらに奉仕するために，これら各々の分野でもっと自立するためにできることは何かを，全員で話し合う時間を少し取ります。ホワイトボードに生徒の答えを書きます。生徒たちの考えには次のことが含まれるかもしれません。

教育ー大学や職業専門学校で学位や資格を取る，学習習慣を改善する，さらなる職業技術を学ぶ，基本的な家の修繕や自動車修理の方法を学ぶ。

財政管理ー十分の一や断食献金を正直に納める，予算を立てそれを守ることを学ぶ，自己訓練を学ぶ，不必要な負債を避ける，負債を完済する，収入があるたびに幾らか貯金をする。

霊的な強さー祈る，聖文を研究する，目的をもって断食する，定期的に神殿に参入する。

家庭生産と家庭貯蔵ー食料を保存し貯蔵する方法を学ぶ，（たとえわずかな野菜でも）家庭菜園をする。

健康ー知恵の言葉に従う，定期的に運動する，健康的な食事をする，十分な睡眠を取る，健康保険に加入する。

職業ー新しい職業技術を伸ばす，高い勤労意欲を育む，上級の資格を得る。

- これらの分野の一つにおいて，自分自身の自立を増すために何をしたことがありますか。この努力は，自立と自尊心についてのあなたの思いをどのように高めましたか。それは，自分自身の必要を満たしたり，教会においてもっと十分に奉仕したりする能力を，どのように高めましたか。

これらの6つの分野の一つにおいて改善するために，生徒たちに目標を立ててもらいます。

マラキ3：8-12；マタイ6：19-21；1テモテ6：7-10；2ニーファイ9：51；モルモン書ヤコブ2：13-14，18-19；教義と聖約104：13-18

財政管理

今はまだ備えられていなくとも，いつかは自分自身の必要を満たし，家族を持ったときにはその必要を満たす責任を持つことになることを生徒たちに思い起

こしてもらいます。ですから、生徒たちは、物質的な資源の利用に賢くなることを学ばなければなりません。

それぞれの生徒に次の聖句の幾つかを読んでもらうよう割り当て、賢明な財政管理に関する原則を見つけてもらいます。

マラキ3：8-12（什分の一や献金の律法に従う）

マタイ6：19-21（この世の財産に心を置くことを避ける）

1テモテ6：7-10（今持っているものに満足する—「金銭を愛することは全ての悪の根源である」）

2ニーファイ9：51（価値のないものにお金や労力を費やしてはならない）

モルモン書ヤコブ2：13-14, 18-19（正しい目的のために富を求める）

教義と聖約104：13-18（自分の富を貧しい人や助けが必要な人のために使う）

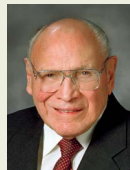
時間を十分に取ってから、生徒たちが見つけたことをクラス全員と分かち合ってもらいます。生徒たちが次の原則を理解していることを確認します。**賢く財政の原則を取り入れることで、個人と家族は自分の財政的安定を増し、隣人を助けるために備えることができる。**（聖文の中で主が、富を得ることと貧しい人や助けの必要な人を援助することとの関係をしばしば示されたことを指摘するとよいでしょう。例として、モルモン書ヤコブ2：18-19と教義と聖約104：18を参照します。）

- 自分の生活に賢く財政の原則を取り入れたことで、どんな祝福を経験しましたか。

教義と聖約104：78

不必要な負債を避ける

教義と聖約104：78を読み上げます。十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老（1917-2008年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



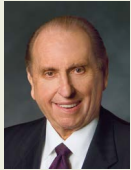
「負債は一種の束縛であることを忘れないでください。それはシロアリのようなものです。クレジットカードで物を買うとき、手にするのは繁栄の幻にすぎません。物を所有しているように見えても、実際は物に所有されているのです。

質素な家、教育費、あるいは必要とされる1台の車など、一部の負債はやむを得ないと思います。けれども出費をよく考えずに消費者金融などを利用して、経済的に束縛されてはなりません。」（「この世の負債と天の負債」『リアホナ』2004年5月号、41）

- 負債はなぜ束縛になるのでしょうか。（生徒の答えを聞きながら、次の原則を理解できるように助けます。**不必要な負債を避けることは、金銭的な束縛から個人や家族を守る。**）ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）は次のように教えました。「家族に深刻な負債があっては、自立はで

きません。人に負い目があっては、自立も自由もありません。」（「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号, 62）

一人の生徒に、トーマス・S・モンソン大管長の次の勧告を読んでもらいます。



「『昨日のぜいたく品は今日の必需品』などという格言めいた言葉で言い訳するのはやめましょう。不必要なものが必需品になることなどあり得ません。今日多くの新婚夫婦が、何台もの車を持ちたがり、両親が一生涯働いて手に入れたような邸宅に住みたがります。そして、夫婦の給料の合計を基にした長期ローンを組むのです。事情が変わってからでは遅すぎます。妻が出産したり、家族の誰かが病気になったり、失業したり、自然災害に遭ったりすると、そのような返済計画は、すぐに立ち行かなくなってしまいます。収入の範囲内で生活することは絶対です。」（「変化の時代にあって変わらぬ真理」『リアホナ』2005年5月号, 20）

- 欲しいものと必要なものの違いが分からない個人や家族に、起こり得る行く末にはどんなことがあるでしょうか。
- 欲しいものと必要なものを見分ける方法にはどのようなものがあるでしょうか。

生徒に、次の質問について考えて、自分のノートに答えを書いてもらいます。

- 皆さんは生活のどの分野で、もっと自立できるでしょうか。
- どうしたら物質的資源をもっとよく管理できるでしょうか。

生徒の読書課題

- マラキ3：8－12；マタイ6：19－21；マルコ6：1－3；ルカ2：51－52；1テモテ6：7－10；；2ニーファイニーファイ9：51；モルモン書ヤコブ2：17－19；教義と聖約56：17；75：28；104：13－18, 78
- ロバート・D・ヘイルズ「物心両面で賢い養い手となる」『リアホナ』2009年5月号, 7－10

第24課

教会のシングルアダルト会員

はじめに

イエス・キリストの福音は、結婚と家族の関係を通して得られる永遠の祝福を強調しています。しかし多くの教会の会員は、今は結婚して家族を作るための機会がない環境にいます。この課は、独身の教会員が主の王国に重要な貢献をするこ

とを強調します。結婚と家族の祝福は時として遅くなりますが、それらは神との聖約を、義をもって守る人々に与えられないなどということは決してありません。

背景となる読み物

- ゴードン・B・ヒンクレー「独身成人との語らい」『聖徒の道』1997年11月号, 16-24
- スペンサー・J・コンディ「尊く、大いなる約束を求める」『リアホナ』2007年11月号, 16-18

教えるための提案

1コリント12：12-20, 25-27

家族を優先する教会の独身会員

既婚者や子供を持つ会員が多くいるワードや支部に参加するときに、教会の独身会員が経験するかもしれない問題を幾つか生徒たちに分かち合ってもらいます。（独身の教会員は、結婚や家族について教える集会やレッスンで、気落ちしたり、孤独感や疎外感を持つ場合があります。）

- 教会の集会や活動で、シングルアダルトが受け入れられ尊重されていると感じられるように、他の教会員はどんなことができると思いますか。

ハワード・W・ハンター大管長（1907-1995年）の次の言葉を表示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「教会は全ての会員のためにあります。……伴侶のあるなしを問わず、わたしたちは皆それぞれ個性があり、必要としている事柄も異なるのです。ただ共通しているのは神の子として一人一人価値ある者とみなされたいと望んでいることです。……」

わたしたちの教会はイエス・キリストの教会であり、既婚者や独身者、その他いかなるグループまたは個人の教会でもありません。」（「あらゆる人々のための教会」『聖徒の道』1990年8月号, 42）

使徒パウロは、教会を人間の体にたとえ、一人一人の教会員を体の部分にたとえたことを説明します。数人の生徒たちに順番に1コリント12：12-20を声に出

して読んでもらいます。他の生徒たちには、パウロが体の部分をどのように教会の会員にたとえたかを見つけてもらいます。

- 体の部分の一つでもなくなったら、わたしたちはどんな問題を抱えるでしょうか。
- パウロの比喻は、教会と教会の会員についてどんな原則を教えているでしょうか。（生徒たちは、幾つかの原則を見つけるかもしれません。次の原則が必ず強調されるようにします。どの教会員も価値があり、教会に重要な貢献をすることができる。）
- ワードや支部の独身会員が、教会にどんな貢献をしているのを見たことがあるでしょうか。

一人の生徒に、1コリント12：25－27を声に出して読んでもらいます。教会員が一つになるためにできることは何かを、全員に見つけてもらいます。

- ワードや支部の他の会員と一つになっているとお互いに感じられるように、既婚者も独身者も、全ての教会員にできることは何でしょうか。

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老が語った次の言葉を見せて、読みます。



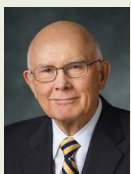
「わたしたちは皆、聖徒の共同体に属し、互いを必要とし、同じ目標に向けて前進しています。わたしたちは一人一人が違った存在ですから、誰でも〔わたしたちのワードファミリーや支部ファミリー〕との交わりを絶つ可能性はあります。しかし、わたしたちは自ら自覚しているそのような違いを理由にして、すばらしい機会に対する扉を閉ざしてはなりません。そうではなく、自分の賜物や才能を人々と分かち合い、希望や喜びを伝え、それによって自らの霊を高めていこうではありませんか。（「ワードという家族の一員となる」『リアホナ』1999年3月号、12）

- 召しを受けたりワードや支部の集会に参加する努力が、どのように他の会員と一つになっていると感じさせてくれましたか。

ヘブル11：1, 6, 8－13, 16

約束された祝福を待ち望む

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の話を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「独身の人は神殿結婚を望み、その実現のために行動することを優先すべきです。結婚し子供を持つことの大切さを軽視する考え方は、たとえこの世が支持しても永遠の見地から見れば誤っています。青少年や若い独身の人たちは、そのような考え方に抵抗すべきです。」（「望み」『リアホナ』2011年5月号、45）

- 「男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものである」という

教義を深く考えるときに、落胆する独身会員もいるのはなぜだと思いますか。（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号，129）

結婚し家庭を持つことは理想ですが、教会の多くのシングルアダルト会員は、自分が結婚できるかどうか確信が持てずにいます。離婚者や伴侶と死別した人たちは、再婚するかどうか迷っているかもしれません。

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の話を読み上げて、結婚や家族の祝福にあずかっていない人たちに対して永遠の祝福を可能にするために、救い主がなされたことを生徒たちに見つけてもらいます。



「結婚と家族に関連する基本的な真理を宣言したからといって、理想とは異なる現状に置かれた皆さんの犠牲や成功を見過ごしにしたり、軽視したりしているわけではありません。皆さんの中には、ふさわしい相手がいないこと、同性に引かれる性質、身体的や精神的な障がい、単に失敗に対する恐れ（恐れは一時的であっても信仰を曇らせる）などの理由で、結婚の祝福にあずかることのできていない人もいます。あるいは結婚したけれども、結婚生活が終わりを迎え、二人一緒でも大変なことを一人でこなさなければならない状況に置かれている人もいます。また、結婚した皆さんの中でも、心の底から望み、神にすがり、祈り求めたにも関わらず、子供に恵まれない人もいます。」

……イエス・キリストの贖罪は、イエス・キリストを頼る全ての人々の喪失や損失を予測し、最終的に、それら全てを補うために成し遂げられたことを、確信をもって証します。御父が子供たちのために準備しておられる全てのうちの一部にしかなずかれない運命にある人は誰一人としていないのです。」（「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号，52）

- 誰が神の最大の祝福を受けるかについて、クリストファーソン長老はどんな教義を教えているのでしょうか。（ホワイトボードに次の教義を書きます。イエス・キリストの贖罪は、わたしたち一人一人が最終的に天の御父が約束された祝福の全てを授かることを可能にしている。）
- この教義に述べられている希望を得るためにしなければならないことは何でしょうか。

スペンサー・W・キンボール大管長（1895—1985年）の次の約束を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「わたしたちは皆さんに、事永遠に関する限り、本人の力でどうにもならない豊かで貴重な永遠の祝福を取り上げられてしまうことにはないとお約束します。主は決して約束を違えられることはありません。義人は皆、最終的にはその資格のある人に与えられる全てのものを受けるのです。つまり、自らの過ちによって失うものがないからです。」（「日の光栄の結婚の重要性」『聖徒の道』1980年7月号，4—5）

神の祝福は時として遅れるが、正しく生きることを求める人々に対して、永遠において、祝福が与えられないことは決してないことを証してください。

アブラハムとサラの例を生徒たちに考えてもらいます。二人は、現世では遅れた、あるいは果たされなかった家族に関する神の約束を受けました。（創世 13：14-17；15：4-7；17：1-8，15-16参照）アブラハムとサラのように、わたしたちの信仰は、現世では遅れたり果たされなかったりする約束によって試されることがあることを生徒たちに覚えてもらいます。

ヘブル11：1，6を一人の生徒に声に出して読んでもらい、**信仰**の定義を全員に見つけてもらいます。

- これらの聖句では、信仰の意味についてどのように教えていますか。（英語の聖書にある、1節の脚注bについて「確信する」と訳される“substance”には、確認する、基盤とする、土台とするという意味もあることを生徒に気づかせます。レッスンの間、聖句ガイドなどの聖文研究補助資料を参照することで、生徒たちが個人の聖文研究の技術を伸ばすよう助けてください。）
- 「まだ見ていない事実を確認する」という言葉は、何を意味していますか。（信仰とは、まだ見ていない現実を確信する、あるいは証することです。望んでいる事柄やまだ見ていない事柄に対するこの確信は、特にそれを行うことが難しいときに、福音の原則に基づいて行動し従うことからのみもたらされます。信仰とは、証という霊的な賜物をもたらす従順な行動です。最初に結果を見なくても主に従うほど十分に主を信じることと信頼することです。）

ヘブル11：8-13，16を数人の生徒たちに順番に声に出して読んでもらい、残りの生徒たちにはアブラハムとサラが、苦難のときにどのように信仰を働かせたかを見つけてもらいます。アブラハムとサラがどのように信仰を働かせたかを示している言葉や表現に、下線を引くことを提案します。

- 13節は、アブラハム、サラ、その他の多くの人が「約束のものは受けて」いないまま死にましたが、「はるかに」約束を見て、これらの約束を果たされる神の能力への信仰を持っていたことが述べられています。これらの古代の聖徒の模範は、約束された祝福を現世で受けていないために、その信仰を試されている現代の聖徒にとってどのような助けとなるでしょうか（たとえ望みどおりのタイミングで祝福が訪れそうになくても、わたしたちは皆、信仰を働かせて主の戒めに従う必要があることを学ばなければなりません。）
- これらの古代の聖徒たちが「地上では旅人であり寄留者」として暮らしたことは、何を意味していると思いますか。（彼らは死すべき命が一時的なもので、この世は永遠の住みかではないと知っていました。）

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を表示します。



「祝福はすぐに来ることも、後から来ることも、また天に召されるまで来ないこともあります。イエス・キリストの福音を頂く人には必ず来ます。そのことを証します。」（「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号，45）

- 信仰の深い者に与えられない祝福はないと知ることは、結婚していなかったり子供がいなかったりするために悲しみや落胆を感じている教会員にとって、どのように助けとなるでしょうか。
- 皆さんの人生で、落胆を感じても信仰をもって行動することを選び、とにかく前進したときのことを思い出すことができますか。

時間が許せば、ダリン・H・オークス長老の次の勧告を紹介します。



「結婚を期待してただじっと待っているなら、待つのをやめてください。ふさわしい結婚の機会はこの人生には決してないでしょう。ですから待つのはやめて行動を開始しましょう。独身生活であっても、教育、経験、計画によって人生に備えてください。ふいに飛び込んで来る幸運を待つのはやめましょう。奉仕と学びに幸福を求めましょう。自分の力で生活してください。そして主を頼ってください。」（“Dating versus Hanging Out,” Ensign, 2006年6月号, 14）

イエス・キリストへの信仰を強め、約束された祝福をもたらす主の力に頼るために、何ができるかを考えるよう生徒たちを励まします。

生徒の読書課題

- 1コリント12：12-20, 25-27；ヘブル11：1, 6, 8-13, 16
- ゴードン・B・ヒンクレー「独身成人との語らい」『聖徒の道』1997年11月号, 16-24

第25課

家族の困難な状況において信仰を行使する

はじめに

「家族—世界への宣言」は、「心身の障害や死別、その他さまざまな〔家族の〕状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要なときに、親族が援助しなければなりま

せん」と述べています（『リアホナ』2010年11月号, 129）。困難な状況が起こると、イエス・キリストの福音は、必要な調整をするための見識と強さを与えることができます。

背景となる読み物

- デビット・A・ベドナー, 「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 12-19
- 「家族を強める—状況に適応する」『リアホナ』2005年12月号, 30-31)

教えるための提案

1ニーファイ16：34-39；17：1-4

家族の困難な状況に適応する

教会の指導者は一般に、理想的な結婚と家族も含めて、理想に到達し維持する方法を教えていることを説明して、レッスンを始めます。しかし、場合によっては、生活の状況はその理想に達することを妨げています。一人の生徒に、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「回復された福音を通してわたしたちは理想の家族というものを知っています。理想の家族は義にかなったメルキゼデク神権者と、彼に結び固められた義にかなった妻と、聖約の下に生まれた子供たち、あるいは、両親に結び固められている子供たちで構成されます。愛と奉仕の精神にあふれる家庭の中に母親がいて、両親が模範と訓戒によって主の道と真理を子供たちに教えるのです。両親は家族の宣言で明らかにされている、神から託された役目を果たします。子供たちは生まれたときから植え付けられる教えに従って成熟します。従順、高潔、神への愛、神の聖なる計画に対する信仰という特質を伸ばしていきます。」（「第一のものを第一に」『リアホナ』2001年7月号, 7）

- 少なくとも一時的に、理想的な家族の状況に到達する妨げになる出来事や状況にはどのようなものがあるでしょうか。（答えは次のことを含むでしょう。死、心身の障害、離婚、不妊、失業、また仕事を掛け持ちする両親。）
- 家族の状況が理想的ではないときに、天父がわたしたちに期待されることを探しながら、家族の宣言の第7段落を生徒に調べてもらいます。

「心身の障害や死別，その他さまざまな状況で，個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また，必要なときに，親族が援助しなければなりません。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号，129）

その後で次の言葉を読み，問題が起こったときに家族がどのような修正を加える必要があるかを，生徒たちに見つけてもらいます。

「理想の世界では，全ての成人が幸せに結婚し，夫婦は全て子供に恵まれ，家族は皆健康で従順で，互いに助け合っているでしょう。しかし，そのような理想的な人生は，めったにあるものではありません。人はそれぞれ苦難を経験します。また現世では，家族に問題は付き物です。……

病や心身の障害，死別，離婚その他の破壊的な要因が，試練を生み出すことがあります。そのような状況の下では，役割分担に関して『個々に修正を加える』必要もあるでしょう。父親が家事や育児の責任をさらに引き受ける必要があるかもしれません。あるいは，専業主婦である母親が勤めに出る必要に迫られることもあるでしょう。子供たちでさえも新たな責任を引き受ける必要があるかもしれません。

生活を揺るがすような事態が起こった場合，親族も援助に加わる必要が生じることもあります。経済的な支援があれば，時間を割いて子供の面倒を見，家事を手伝い，病気や体の不自由な家族の世話をすることでも支えになれるものです。親族がどれほど援助するかは，状況や家族の必要によって決まります。」（「家族を強める—状況に適応する」『リアホナ』2005年12月号，30—31）

- 問題が起こったときに，家族や個人が加える必要があるかもしれない修正とは何でしょうか。
- 困難で破壊的な状況に直面したときに，家族や個人が適応して強さを保つために行った，どのようなことをあなたは見たことがありますか。
- 必要なときに，親族が助けや援助の手を差し伸べるのを見たのはどんなときでしたか。

一人の生徒に，七十人のメリル・J・ベイトマン長老の次の話を声に出して読んでもらいます。困難な状況に直面している家族を助けてくれたのは何だったとベイトマン長老は言っているのか，クラス全員に耳を傾けてもらいます。



「愛する人の死，心に描いていた人とは別の人との結婚，結婚する相手が見つからないこと，離婚，障害を持って生まれた子供，子供が生まれなかったこと，失業，過ちを犯す両親，道を踏み外した息子や娘，病気など，試練と苦難には数え切れないほどさまざまな形があります。神は御自身の計画の中でなぜ落胆や苦痛，苦悩，死の存在を許しておられるのでしょうか。……

救いの計画を理解し，前世と地上の生活と死後の世界を理解することによって，……物の見方を身につけることができます。」（「キリストを中心とした生活を送る」『リアホナ』1999年12月号，20）

- 神の計画を理解することは、家族が問題に立ち向かえるように、どのように備えてくれるでしょうか。（ホワイトボードに次の原則を書きます。主の計画を理解すると、増し加えられた信仰と永遠の物の見方により、家族はこの世の問題に立ち向かえるようになる。）
- 福音の永遠の物の見方は、必要なときに家族の中で修正を加えたり、また新たな責任を引き受けることさえできるように、さらに大きな勇気を与えることがどうしてできるのでしょうか。

問題に直面し、神の助けを得てそれらの問題を克服したり堪え忍んだりできた聖典中の家族を思い出せるか、生徒たちに尋ねます。エルサレムを離れてから荒れ野を旅したリーハイとイシマエルの家族を、生徒たちに思い起こしてもらいます。約束の地への旅でこれらの家族が直面した幾つかの問題について生徒たちに考えてもらい、その後、考えたことをクラスで分かち合ってもらいます。

数人の生徒に、交代で1ニーファイ16：34-39と17：1-4を声に出して読んでもらいます。リーハイとイシマエルの家族の一人一人が、直面した問題にどのように対応したかについて、クラス全員に耳を傾けてもらいます。

- 苦難のためにつぶやいた家族がいたにもかかわらず、リーハイとイシマエルの家族の何人かは、神への信仰と信頼を保つことができたのはなぜだと思いますか。
- 福音の知識と証が、困難を経験している家族をどのように祝福するか、見たことがありますか。

御霊に促されるままに、また生徒たちの必要に応じて、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を紹介するとよいでしょう。



「地上における生涯を通じて、理想の家族を追及することにより、人生の基本的な目的を成し遂げるよう熱心に努めてください。たとえまだこの理想に到達していなくとも、主に従順であり、信仰を行使して、可能な限りこの理想に向かって着実に近づいていくよう全力を尽くしてください。どのようなことがあっても途中で投げ出してはなりません。……神殿での結び固めを実現するために必要なふさわしさを失うようなことをしないでください。永遠の結婚に対するビジョンを失ったら、もう一度その思いを燃え立たせてください。夢の実現に忍耐を求められるのであれば、忍耐してください。」（「第一のものを第一に」7）

箴言3：5-6；マタイ11：28-30；モーサヤ24：8-16；教義と聖約121：7-8

わたしたちがキリストに近づくとき、主はわたしたちを強めてくださるモルモン書の中で、アルマと彼の民がノア王の軍隊から逃れて義の町を築いた話を、生徒たちに思い起こしてもらいます。しばらく平穏に暮らした後、アルマと彼の民はレーマン人の軍隊に発見され、奴隷の状態にされました。アルマと彼の民は信仰を働かせ忍耐したので、主は彼らの苦難を和らげられ、ついには奴隷の状態から救い出されました。

数人の生徒に、交代でモーサヤ24：8-16を声に出して読んでもらいます。これらの聖句の中にある困難が、アルマの家族と彼の民にどのように影響する可能性があったか、全員に想像してもらいます。（想像することは、聖文の中の話を読者にとってより現実的で生き生きとしたものにする聖文研究の技術であることを心に留めてください。）また、苦難に耐えるためにアルマと彼の民は何をしたのかも全員で見つけてもらいます。

- これらの聖句の出来事を想像すると、家族はどのように自分たちの状況に影響されると思いますか。
- アルマの民は、主の助けを得るために何をしましたか。（生徒たちは幾つかの重要な原則を見つけるでしょうが、次のことを強調します。**苦難のときに信仰を働かせて忍耐し、神に呼び求めるなら、神はわたしたちを強めて容易に重荷に耐えられるようにしてくださる。**）
- 「彼らが容易に重荷に耐えられる」ように、主はどのように彼らを強められたと思いますか。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老がアルマの民の話について述べた次の言葉を、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「この出来事の中で、変わったのは何だったでしょうか。彼らが負っていた重荷は変わりませんでした。迫害に伴う問題や困難は、すぐには民から取り除かれませんでした。しかし、アルマと彼に従う人々は強められ、能力と強さが増したことで、負っていた重荷が軽くなったのです。この善人たちは贖罪によって力を授かり、自ら選択し行動する者として行動し、状況に影響を及ぼしました。その後、アルマとその民は『主の力を受けて』安全なゼラヘムラの地に導かれました。」（「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号、16）

- 主が個人や家族の重荷をいつも取り除いて、問題をわたしたちから遠ざけ、理想的な環境にいられるようにしてくださるわけではないと知ることが、なぜ重要なのでしょうか。
- わたしたちが困難な家庭の状況に立ち向かうときに、イエス・キリストとその贖罪の知識は、わたしたちが信仰をもって行動できるようにどのような方法で力づけてくれるのでしょうか。

この質問に答える助けとなるように、七十人のスティーブン・E・スノー長老による次の話を見せて、生徒の一人に読んでもらいます。



「贖罪への希望は、わたしたちに永遠の見識を与えてくれます。このような見識を持つことにより、この世と現在を超えて永遠の未来を考えることができます。」（「希望」『リアホナ』2011年5月号、54）

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。生徒たちにこれらの聖句を研究してもらい、信仰をもって試練を堪え忍ぶ人々への約束を確認してもらいます。

箴言3：5-6

マタイ11：28-30

教義と聖約121：7-8

- これらの約束を思い起こすことは、問題を抱えている家族をどのように助けることができるでしょうか。

レッスンをまとめる際、自分の家族が、困難にもかかわらず、神への信仰により強められたと感じたり、イエス・キリストの福音の知識のおかげで祝福されたりしたときのことを、生徒たちに思い起こしてもらいます。促しを感じた生徒がいたら、クラスで分かち合える経験を話してもらいます。神がどのように祝福され家族を強めることができるかという証を自分の日記に書くように、生徒たちに勧めます。

生徒の読書課題

- 箴言3：5-6；マタイ11：28-30；1ニーファイ16：34-39；17：1-4；モーサヤ24：8-16；教義と聖約121：7-8
- 「家族を強める－状況に適應する」『リアホナ』2005年12月号，30-31)

第26課

神の御前で報告する

はじめに

預言者と使徒は次のように警告しました。「貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）こ

の課は、これらの神の律法に対する重大な違背が、この世と永遠にわたってどのような結果をもたらすかについて調べます。また、イエス・キリストの贖罪が悔い改めに対する希望と癒やしを与えることも強調します。

背景となる読み物

- ジェフリー・R・ホランド「天使の言葉」『リアホナ』2007年5月号, 16–18
- リチャード・G・スコット「虐待の傷を癒す」『リアホナ』2008年5月号, 40–43

教えるための提案

マタイ18：1–6；教義と聖約42：22–25；93：39–44

貞節の聖約を犯す、虐待する、家族の責任を果たさない

前の課で、次のことを含む家族の責任の大切さについて学んだことを生徒たちに思い出してもらいます。(1) 夫と妻は愛と関心を示し合う、(2) 子供たちを愛と義をもって育てる、(3) 両親は家族の必要なものを提供する。

- 伴侶や両親がこれらの責任を怠ったならば、家族にはどんなことが起こるでしょうか。

現代の預言者が、家族の責任を果たすことの大切さについてどんなことを話してきたかが生徒たちに分かるように、一人の生徒に「家族—世界への宣言」の第8段落を声に出して読んでもらいます。以下の原則を強調します。「貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。」

- これらを犯した人々は神の御前に立って報告することになるとは、どういう意味でしょうか。(裁きの日にわたしたちは神の御前に立って、悔い改めなかった罪を神に報告する責任があります。黙示20：11–15；2ニーファイ9：15–16参照)

七十人のデニス・B・ノイエンシュワンダー長老の次の言葉を見せます。



「わたしたちの御父であり創造主としての神への報告の責任は、福音の最も基本的な教えの一つです。」（“The Path of Growth,” Ensign, 1999年12月号, 15）

- わたしたちの行動に関する神への報告責任の原則は、わたしたちが霊的に成長するためにどのような助けとなるでしょうか。

3つの欄の表題として次の言葉をホワイトボードに書きます。

貞節の律法を犯す	伴侶や子供を虐待する	家族の責任を果たさない
----------	------------	-------------

クラスを3つのグループに分けます。クラスの3分の1の生徒に教義と聖約42：22－25，別の3分の1にマタイ18：1－6，最後の3分の1に教義と聖約93：39－44を読んでもらいます。ホワイトボードの表題と一致する聖句を組み合わせてもらいます。これらの罪の重大な本質について教えている言葉や表現も見つけてもらいます。十分な時間を取った後，学んだことを分かち合ってもらいます。（生徒の答えを聞きながら，適切な表題の下に参照聖句を書きます。）

- これらの聖文の中のどの言葉や表現がその罪の重大さを教えていますか。

ホワイトボードに書いたそれぞれの項目を指し示し，それぞれの罪に関連する次の質問をするとよいでしょう。生徒の答えを聞きながら，それぞれの項目の下に彼らの答えを書いていきます。

- もしも抑制されなければ，この罪を犯すに至る態度や行いにはどのようなものがあるでしょうか。（例えば，伴侶や子供への虐待の罪に関する答えとしては，他者に対する忍耐のなさ，他者を批判する傾向，また男性や女性についての誤った思い込みなどが含まれるでしょう。）
- これらの態度や行いをする人に，あなたならどんな助言をしますか。
- これらの態度や行いを，教会員はどのように克服できるでしょうか。（生徒たちが自分の答えを分かち合う際，次のことが理解できるように助けます。悔い改め，キリストのような奉仕，共感，忍耐，また赦しのような福音の原則を実行するとき，わたしたちは贖罪を持つ，人に能力を授ける力を受けることができます。）

2コリント5：17－21

悔い改め，赦し，変わることへの希望

イエス・キリストの福音は，個人や家族が実りある豊かな生活を楽しむための方法をもたらすことを証します。しかし，わたしたちは誰でも誤った選択します。そしてそのような選択の一部は，自分自身や他の人々に多大な影響を及ぼすものもあります。幸いなことに希望はあります。

教会員は他者（不貞な伴侶や，虐待をする伴侶や親など）の犠牲になることがあり，自分の状況に関して何ができるか考えることを説明します。一人の生徒に，十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読んでもらいます。



「もしあなたが虐待を受けているとしたら、サタンは逃れる道はないとあきらめさせようとするでしょう。しかし、サタンは逃れる道があることを確かに知っています。子らに対する御父の揺るぎない愛から癒やしを受けられることを知っています。癒やしの力がイエス・キリストの贖いと結びついていることも理解しています。だからこそ、あなたをどうにかして御父と御子から引き離そうとするのです。助かる方法がないと信じ込ませるサタンの策略に乗せられてはなりません。」（「虐待の傷を癒す」『リアホナ』2008年5月号, 41）

- 虐待されている人たちに、サタンはなぜ問題の解決策は何もないと信じ込ませようとするのでしょうか。
- 自分が抱えている問題には何の希望も解決策もないと思いつくとき、どんな結果になるのでしょうか。

リチャード・G・スコット長老の次の証と勧告を紹介します。



「ひどい虐待を受けたにもかかわらず、つらい旅路を歩み通して、贖いの力により完全に癒やされた人たちをわたしは知っています。かつて父親から激しい虐待を受けていた一人の若い女性は、贖いの持つ癒やしの力を信じる信仰によって、自身の問題を解決しました。その後彼女は、年配の夫婦を伴って、もう一度面接してほしいと言ってきました。彼女が二人を心から愛していることが分かりました。幸福に満ちた様子でした。そして、こう話し始めました。『スコット長老、こちらはわたしの父です。父を愛しています。わたしが幼かったころに起きたことについて、父は心を痛めているのです。わたしにとってはもう終わったことなのですが、父を助けてくださいませんか。』」救い主の癒やしの力に対して、何と絶大な確信を抱いていることでしょうか。主の贖いを正しく理解し、十分な信仰を持ち、主の律法に従順だったため、彼女は虐待の傷を引きずっていませんでした。皆さんも贖いについてよく研究し、イエス・キリストが自分を癒やす力をお持ちであることについて信仰を働かせるときに、同様のすばらしい慰めを得ることができます。……

思慮深いビショップ、ステーク会長あるいは専門のカウンセラーとともに癒やしの最初の段階を歩むべき場合もあります。もし足を骨折したとしたら、自分で治そうとはしないでしょ。う。深刻な虐待も専門家の助けを借りることができます。」（「虐待の傷を癒す」40-42）

- スコット長老の靈感あふれる勧告は、虐待に苦しむ人をどのように助けることができるのでしょうか。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の話を見せて、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「イエス・キリストの憐れみと恵みは、間違っただけをした罪や正しいことをしなかった罪に限定されるものではなく、主と主の教えを受け入れ、従う全ての人に永遠の平安の約束が与えられることも含みます。主の憐れみには力強い癒やしの力があり、それは他の人が犯した罪の犠牲になった人にさえ及びます。」（「わたしたちに希望がある理由」『リアホナ』2014年11月号, 7）

- イエス・キリストの贖罪は、どうして希望と癒やしをもたらすのでしょうか。（生徒たちが答えを発表する際、次の原則を理解できるように助けます。イエス・キリストとその教えに従う全ての人々は、主の憐れみと恵みを通して癒やしと永遠の平安を得ることができる。）

イエス・キリストの贖罪は、誰かを虐待したり、その他の方法で傷つけたりした人たちをどのように助けることができるのかを生徒たちに教えるために、2コリント5：17-21をクラス全員で読みます。

- キリストにあって「新しく造られた者」になるとはどういう意味でしょうか。（「主の戒めに対するわたしたちの熱心な従順さに応えて、主が神聖な属性である聖霊の賜物で祝福してくださる」などの意見が挙げられるでしょう。これらの賜物はわたしたちの中に根本的な変化を生じさせ、より神に似た新しく造られた者になるのです。）
- 21節によると、これはどのようにして生じるのでしょうか。（イエスは完全に罪がないのに、わたしたちの罪を御自身に負われたので、わたしたちが悔い改めることを条件として、わたしたちは主を通して義となることができます。）主はわたしたちの身代わりとして犠牲となりました。わたしたちが悔い改めて主の模範に従おうとするときに、新しく造られた者になれるように主の力に頼ることができます。）
- 18節の**和解**という言葉はどんな意味でしょうか。（「和解とは、罪や霊的な暗闇の状態から人を贖い、神と調和し一致した状態に回復する過程です。和解を通して神と人は敵対する者ではなくなるのです。」〔ブルース・R・マッコンキー、**Doctrinal New Testamentary Commentary**, 全3巻（1965-1973年）、第2巻、422〕）

イエス・キリストの贖いによって可能になった、希望や癒やしを経験したことのある人を誰か知っているかどうか、生徒たちに尋ねます。生徒本人にとって分かち合うのが心地よく、個人的すぎない事例を、数人の生徒に分かち合ってもらいます。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の話を読みます。



「今日この〔ぶどう園の労働者たちの話；マタイ20：1-15参照〕を聞いている多くの人の中で、誰がこのたとえにある赦しのメッセージを必要としているか分かりませんが、自分でもう手遅れだと思ひ込み、機会を逃したと考え、多くの過ちを犯してしまったと感じていても、あるいは自分には才能がないと思ひ、家庭や家族からも、神からも、遠く離れてしまったと感じていても、わたしは証します、

あなたは神の愛が及ばないほど遠くにいるわけではありません。キリストの贖いの無限の光が届かない深みなどあり得ないのです。……

ですから、聖約を交わした人は守ってください。まだの人は聖約を交わしてください。交わした聖約を破っている人は、悔い改めて、正してください。ぶどう園の主人がまだ時間があると言われるかぎり、遅すぎることは決してないのです。まさに今この瞬間に告げる聖なる御霊の促しにどうぞ耳を傾けて、主イエス・キリストの贖いの賜物を受け入れ、喜んで主とともに働いてください。」（「ぶどう園の労働者たち」『リアホナ』2012年5月号, 33）

生徒たちに、今日聖霊が自分たちに証したことを記録してもらいます。

生徒の読書課題

- マタイ18：1-6；2コリント5：17-21；モーサヤ4：30；アルマ5：15-22；12：14；教義と聖約42：22-25；93：39-44
- リチャード・G・スコット「虐待の傷を癒す」『リアホナ』2008年5月号, 40-43

第27課

家族に関する預言者の警告

はじめに

現代の預言者は次のように警告しています。「家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことであろう。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010

年11月号, 129) この課は、神の戒めに従うならば家族は守られることを強調します。義にかなった両親は、末日に子供を育てる際に御霊の力によって助けることが約束されています。

背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン, “Faith and Families,” *Ensign*, 2007年3月号, 36–41
- クエンティン・L・クック「エレミヤの哀歌—束縛に注意する」『リアホナ』2013年11月号, 88–91
- ボニー・L・オスカーソン「家族の宣言の擁護者」『リアホナ』2015年5月号, 14–17

教えるための提案

2テモテ3：1–7, 13

家族が軽視される時代の行く末

警告が掲示されている状況や場所の例を生徒たちに発表してもらいます（例としては、交通標識、薬瓶、また危険物のコンテナなどがあるでしょう。）

- これらの警告を無視すると、どのような結果になりかねないでしょうか。
- 現代に存在する身体的および霊的な危険について、預言者が与えた警告にはどのようなものがあるでしょうか。

2テモテ3：1–7および13を一人の生徒に声に出して読んでもらい、使徒パウロが警告した末日に存在する危険をクラス全員で見つけてもらいます。

- パウロが述べている危険のうちのどれを、あなたは見たり聞いたりしましたか。
- これらの危険は、個人、結婚、家族に対してどのような影響を及ぼすでしょうか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を読んでもらいます。他の生徒には、家庭を崩壊させることにサタンがそれほど力を注いでいる理由に耳を傾けてもらいます。



「永遠の幸福の計画において家族がきわめて大切な位置にあるため、サタンは家族の神聖さを打ち破ろうとして躍起になっています。男女の役割の重要性をおとしめ、不道德な行為をするようそそのかして神聖な純潔の律法を破らせ、子供を産み育てる務めを最優先させないように親たちをけしかけています。

救いの計画の基盤は家庭であるので、家庭の崩壊は、個人や地域社会、そして国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすであろうと神は警告なさいました。」（“The Eternal Family,” Ensign, 1996年11月号, 65）

以下の原則を強調します。「家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）この警告は家族の宣言にあることを生徒たちに思い出してもらいます。

ホワイトボードに次のように書きます。

家庭の崩壊	行く末
-------	-----

生徒たちが見た「家庭の崩壊」が世界中に起こっていることを示す証拠について考えてもらいます。（これらは次のことが含まれるかもしれませんが。離婚、中絶、虐待の増加；結婚の減少や夫婦に生まれてくる子供の減少；家族としての機能の衰え。）生徒たちに、ホワイトボードの「家庭の崩壊」という表題の下に、証拠を列挙してもらいます。

家庭の崩壊の結果として起こり得る個人や社会の行く末の例について、生徒たちに考えてもらいます。（これらには次のことが含まれるかもしれませんが。御霊の喪失、悲しみや不幸、犯罪率の増加、青少年の非行、社会の平安と安定の喪失。）生徒たちに、ホワイトボードの「行く末」という表題の下に、例を列挙してもらいます。

その後、次の質問をします。

- 家族の宣言にある教義と原則を支持することは、個人、家族、地域社会、国家がこのような行く末になることを避けるためにどんな助けとなりますか。

1ニーフアイ14：14－17；22：16－17；教義と聖約97：22－28

家族にとって希望がある

今日の世界にはびこる邪悪にもかかわらず、家族を強めるのに遅すぎるということはないことを、生徒たちに説明します。生徒たちは、自分の家族、ワードや支部、また地域社会において変化をもたらすことができます。主の戒めに従う個人や家族には希望があることを証してください。

生徒に、教義と聖約97：22－28を黙読し、罪のゆえにもたらされる主の報復と行く末を避けるためにできることを見つけてもらいます。（これらの聖句において、シオンは末日聖徒イエス・キリスト教会とその会員を指していることを明らかにします。）これらの節で「～ならば」や「～なければ」という表現が出てきたら印を付けるように生徒に勧めるとよいでしょう。（「原因と結果」や「もし～なら、～である」という言葉を認識することは、有益な聖文研究の技術であることを生徒たちが理解できるように助けます。）

- この聖句に含まれる原則を、あなたはどのような簡潔な言葉にまとめますか。（生徒たちの答えは、次の原則を表しているでしょう。わたしたちが**全ての戒めに従順ならば、豊かな祝福を受けて主の報復から逃れることができる。**）

十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老（1915－1985年）の次の言葉を読みます。



「来るべき滅亡の日に全ての聖徒が救われるとは断言できません。しかし、ここで申し上げられるのは、主を愛し、主から命じられた全てのことを行おうと努めている人々以外に、安全や保護を約束される人はいないということです。……

そこで、わたしたちは警告の声を挙げて申し上げます。『警戒しなさい。備えなさい。目を覚まして準備しなさい。』従順と一致と正義意外に安全な道はありません。

主は次のように言われました。『主の懲らしめは夜も昼も通り行き、その知らせはすべての人を悩ます。すなわち、主が来るまで、それはとどめられないであろう。……

それでも、シオンがわたしの命じたすべてのことを努めて行うならば、シオンは免れるであろう。』」（教義と聖約97：23, 25）「一切の生くる者の上に自立せん」『聖徒の道』1979年10月号, 135)

- この言葉は、家族が主の戒めに従順であろうとする気持ちをどのように高める助けになりますか。

ニーファイが幾つかの末日の示現を見たことを生徒たちに思い出してもらいます。それらの示現で、ニーファイは義人が守られるのを見ました。

聖徒たちが守られる方法を探しながら、1ニーファイ14：14－17と22：16－17を生徒たちに読んでもらいます。（注－これらの聖句は、従順は主が約束された防御をもたらすという、共通の聖文テーマを強調しています。デビッド・A・ベドナー長老は、そのような聖文の「関連性、パターン、テーマ」を調べることの重要性を強調しています〔「生ける水の源」（ヤングアダルトのためのCESファイヤサイド、2007年2月4日）、2lds.org/media-library〕。このテーマやパターンは、特にモルモン書において共通しています。）

- ニーファイの記録は、どのように皆さんに希望を与えていますか。

七十人のブルース・D・ポーター長老の次の言葉を読みます。末日における信仰深い両親に与えられる祝福について、生徒たちに耳を傾けてもらいます。



「未来がどんなものであるかにかかわらず、神は時満ちる神権時代に、教会員である両親が、取り巻く暗闇から子供たちを守ることでできる力を授けられると定められました。父親と母親の心をその子供たちに向かわせ、子供たちの心をその両親に向かわせ、ついにはわたしたちは、主の再臨の時に救い主にまみえる、鍛錬され備えられた世代の台頭を目の当たりにするでしょう。末日における神の王国の勝利は、組織としての教会の勝利であるばかりでなく、信仰によりこの世に打ち勝った無数の家族一つ一つの勝利となるのです。」（“Defending the Family in a Troubled World,” Ensign, 2011年6月号, 18）

- 義の中で自分の子供たちを育てようと努める、この神権時代の両親には、どんな祝福が約束されているでしょうか。
- 子供たちを強め、この世の暗闇から子供たちを守るために力を尽くす両親を、どのように主が力づけるのを見ましたか。

どんな影響力や力が生徒たちの家族を破壊しようとしているか、また、生徒が将来家族を持とうとするのをサタンはどのように妨げようとしているか、生徒たちに考えてもらいます。自分自身を強め家族を守るために、主の助けを得るには何ができるのかを深く考えるように、生徒たちに勧めます。

生徒の読書課題

- 2テモテ3：1-7, 13；1ニーファイ14：14-17；22：16-17；教義と聖約97：22-28
- ボニー・L・オスカーソン「家族の宣言の擁護者」『リアホナ』2015年5月号, 14-17

第28課

社会の基本単位である 家族の地位を高める

はじめに

現代の預言者は次のように宣言しています。「わたしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を押し進めてくださるよう呼びかけるものであります。」（「家族

—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129）この課は、生徒たちがどのようにこの預言者の勧告に従い、またそれを守ればよいのかを理解する助けとなるでしょう。

背景となる読み物

- トーマス・S・モンソン「強く、また雄々しくあれ」『リアホナ』2014年5月号, 66–69
- ダリン・H・オクス「真理と寛容のバランスを取る」『リアホナ』2013年2月号, 29–35
- L・トム・ペリー「世界中どこでも—なぜ結婚と家族が大切なのか」『リアホナ』2015年5月号, 39–42
- “Transcript of News Conference on Religious Freedom and Nondiscrimination” (2015年1月27日), mormonnewsroom.org/article/publicstatement-on-religious-freedom-and-nondiscrimination

教えるための提案

アルマ43：9, 30, 45, 48

家族の教義と道徳的基盤を守るというわたしたちの務め

この課で家族を守るというわたしたちの責任に焦点を当てることを生徒に伝えることで、このレッスンに対する生徒の準備を行います。七十人のブルース・D・ポーター長老の次の言葉を紹介します。



「教会はこの世界全体と比べたら小さな組織です。しかし、末日聖徒は一つの民として、自分たちの模範の力や世論を説得する能力を過小評価するべきではなく、否定的な傾向を逆転させ、主の門に入り、主の選ばれた道を歩むよう、神を求める者に勧めるべきです。わたしたちは、一致した考えを持つ人々や組織と協力して、家族を守り、世界に向けて警告の声を上げ、人々を招き入れるために、できる限りの努力をしなければなりません。」（“Defending the Family in a Troubled World,” *Ensign*, 2011年6月号, 18）

- 今日の世の中において家族を守るための末日聖徒の責任について、皆さんはどんな考えを持っていますか。

ニーファイ人が彼らの宗教の自由や家族重視の価値観をレーマン人によって脅かされたときが多くあったことを、生徒たちに話します。彼らの経験を研究することで、わたしたちの時代に当てはめることのできる原則を学ぶことができます。（聖文をわたしたち自身に当てはめることは、あなたがこの課で強調できる聖文研究の技術です。）アルマ43章に記録されているニーファイ人の経験の一つを説明します。

アルマ43：9, 30, 45, 48をホワイトボードに書き、今日の世の中で家族重視の価値観や宗教の自由を守る重要性を理解する助けとなる言葉や表現を、生徒たちに探してもらいます。それらの言葉や表現に印を付けるように、生徒たちに勧めます。

- わたしたちの家族重視の価値観や宗教の自由を守ることの重要性を示しているのは、どの言葉や表現でしょうか。わたしたちの家族重視の価値観や宗教の自由を守ることの重要性について、どんな原則を学びましたか。
（答えには次の原則が含まれるでしょう。わたしたちには、**家族重視の価値観や宗教の自由を守り、その地位を高める神聖な務めがある。**）
- 教会員が自分の地域社会の中で家族の地位を高め、守ることが、なぜ重要だと思いますか。
- ソーシャル・メディアを使って、どのように家族の地位を高め、守ることができるでしょうか。

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老（1922–2015年）による次の言葉を掲示します。



「わたしたちは、神御自身が設けられた家族の組織に取って代わろうとする偽りの新しいライフスタイルにことごとく反対する主張を発信していこうと思っています。また、伝統的な家族関係から喜びと達成感が得られるという主張を発信していこうと思っています。わたしたちは全世界の人々に向かって声を上げ続け、なぜ結婚と家族がこんなにも大切なのか、なぜ現在もこれから先も大切なのか、主張していかなければなりません。」（「世界中のどこでも—なぜ結婚と家族が大切なのか」『リアホナ』2015年5月号, 42）

- ペリー長老によると、わたしたちは家族について何を宣言するべきでしょうか。
- あなたがこれまでに気付いた中で、家族の重要性を断言し、家族に対する攻撃を防御するために、他の人々は立ち上がって何を行ってきましたか。
（家族を守ることは、必要なときに家族を公的に守るだけでなく、強い家族を育てることもあることを指摘します。）

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が語った次の経験を紹介します。



「先日わたしは、アメリカ合衆国出身の、あるローレルの若い女性と話しました。彼女の電子メールから引用します。

『この1年間、フェイスブックで友達になった人たちが結婚についての意見を投稿し始めました。多くの人が同性結婚に賛成し、末日聖徒の青少年の数人がそうした意見に対して「いいね」（訳注－フェイスブックで他の人の投稿に対する好意的な気持ちや同意を示すための機能）を押していました。わたしは何も書きませんでした。

わたしは従来の結婚観を信じているということに注意深く述べることにしました。

自分のプロフィール写真のキャプションとして、「わたしは男女間の結婚が正しいと信じています」と書きました。ほぼ即座にメッセージが返ってきました。

「あなたは利己的よ。」「独善的ね。」「奴隷所有者に例えた人もいました。活発な教会員の親友からは、こう書かれました。「時代遅れにならないようにね。世の中が変わっているのだから、あなたも変わらなくては。」

わたしは反論しませんでした。自分の意見を削除しませんでした。』

最後に彼女はこう言いました。『モンソン大管長がおっしゃったように、時には「一人でも気高く立たなくてはなりません。」わたしたち教会の青少年が一致して、神と神の生ける預言者の教えに忠実に従うよう願っています。』（「霊を滅ぼす嵐」2014年5月号、19）

- 家族の地位を高め、守ることについて、どんな経験をしたことがありますか。
- あなたの言葉や行いは、隣人にどのような影響を及ぼしたでしょうか。

わたしたちが家族を強める事柄を推し進め、擁護するとき、地域社会に肯定的な影響を与え、天の御父の計画の目的を前進させることができることを証してください。

アルマ46：10－13、16；48：7－13

神の助けを受け、隣人へ敬意を払うことで家族を守る

アルマ46章および48章は、ニーファイ人が再びレーマン人に脅かされたことが記録されていることを生徒たちに話します。クラスを二つのグループに分けます。クラスの半分にはアルマ46：10－13、16、他の半分にはアルマ48：7－13を研究してもらいます。家族を維持し強める事柄を推し進めるのに、どのように適切に司令官モロナイの模範に従えるのかを、生徒たちに見つけてもらいます。十分に時間を取ってから、これらの聖句を自分たちの時代に当てはめるのを助けるために、次の質問をします。

- アマリキヤと彼の部下の奮闘は、今日家族を攻撃する人々の奮闘にどう当てはめることができるでしょうか。
- 司令官モロナイの行動からどのようなことを学べるでしょうか。（生徒たちが次の原則を理解できるように助けます。神の助けを求め、わたしたちの持てる全てを尽くして励むときに、わたしたちは自分の家族、宗教、自由を守るための知恵と力を授かる。）

- 家族を守り強める事柄を推し進めるのにふさわしい方法には、どんなものがあるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910－2008年）と十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の話を用いて、前の質問の話し合いを助けてもよいでしょう。



「地域社会の良い活動に参加しましょう。重大な道徳的問題が関係していて、わたしたちの原則を曲げることはできない状況もあるかもしれませんが、そのような場合、無愛想にならずに丁寧に反対することができます。わたしたちが受け入れることのできない立場の人々の誠実さを感謝することができます。人柄ではなく原則について話すことができます。」（Teachings of Gordon B. Hinckley

〔1997年〕， 131）



「信仰のある人々が公の場で自分の見解を広めようとする場合、その方法と主張は、信条を共有しない人々の意見と見解を常に許容するものでなければなりません。信仰のある人として常に愛をもって語り、敵対する人に忍耐と理解と思いやりを示さなければなりません。キリスト教の信仰を持つ人々は、隣人を愛し（ルカ10：27参照）、赦すように命じられています（マタイ18：21－35参照）。

『〔わたしたちを〕呪う者を祝福し、〔わたしたちを〕憎む者に善をなし、〔わたしたちを〕不当に扱い迫害する者のために祈りなさい』という救い主の教えをいつも心に留めていなければなりません（マタイ5：44）。」（ダリン・H・オークス「真理と寛容のバランスを取る」『リアホナ』2013年2月号， 34－35）。

- ヒンクレー大管長やオークス長老が教えた原則をどのように実践できると思いますか。

以下の原則を強調します。わたしたちが家族を守り強める事柄を推し進めるときに、隣人に対する敬意と彼らの考えに対する寛容を示さなければならない。

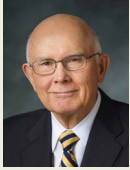
家族を強める事柄を推し進める

次の言葉を提示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「わたしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を推し進めてくださるよう呼びかけるものであります。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号， 129）

2015年1月に、教会の指導者たちは公式に記者会見を開き、宗教の自由を守り、家族の尊厳を擁護する法律を通過させるために、政府高官を招いたことを生徒たちに話します。教会の指導者たちはこの声明の中で特に宗教の自由を守ることにについて述べましたが、それらの言葉は家族重視の価値観を守ることに当てはまるものでした。多くの宗教の自由は、結婚の尊厳など、家族のことに直接関連しています。

その記者会見で発表されたことの要約として、ダリン・H・オークス長老の次の言葉を生徒たちに紹介します。



「末日聖徒イエス・キリスト教会は、イエス・キリストの教えと信仰を持つ人々を含む全ての人に対する公平さに基づき、以下の原則を明言いたします。

1. わたしたちは、他の人の健康または安全を害することなく、自分の良心の命じるとおりに信仰を実践するために、全ての人に神から授かった憲法上の権利を与えるよう主張します。
2. わたしたちは、同じ良心の自由が、自分で選んだ宗教上の信念に従う全ての男女、またはそうすることを選べば全く何の宗教にも属さない全ての男女にも当てはまることを認めます。
3. 法律は、価値観の異なる人々を尊重しながらも、全ての人々の自由を守るという均衡を保つ形で起草されなければならないとわたしたちは信じています。
4. わたしたちは、人種、民族、宗教的信条、経済状況、あるいは性別や性的嗜好の違いに基づく迫害を含む、あらゆる種類の迫害と報復に反対します。」（ダリン・H・オークス, “Transcript of News Conference on Religious Freedom and Nondiscrimination” [2015年1月27日], mormonnewsroom.org/article/publicstatement-on-religious-freedom-and-nondiscrimination)

- この宣言から、皆さんが社会の基本単位である家族を強める事柄を推し進める助けとなるような、どんなことを学びましたか。（この話し合いの一部として、主の方法で子供を育てること、隣人の家族を支援すること、教会の召しを尊んで大いなるものとする、地域社会を強化することは、全て家族の地位を高める事柄であることを強調します。）

家族を守り強める事柄を推し進めるために何ができるかを生徒たちに考えてもらいます。

生徒の読書課題

- アルマ43：9, 30, 45, 48；46：11–16；48：9–13
- ダリン・H・オークス「真理と寛容のバランスを取る」『リアホナ』2013年2月号, 29–35
- L・トム・ペリー「世界中どこでも—なぜ結婚と家族が大切なのか」『リアホナ』2015年5月号, 39–42



宗教教育
セミナー・インスティテュート

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

